

目黒区美術館年報 平成24<sup>(2012)</sup>・25<sup>(2013)</sup>・26<sup>(2014)</sup>年度

# 目黒区美術館年報

平成24(2012)・25(2013)・26(2014)年度

# 目次

I 展覧会		
【平成24(2012)年度】	シャルロット・ペリアンと日本	4
	開館25周年記念 古茂田守介ふたたび、蘇った絵画展+古茂田美津子のワンダーランド	14
	もうひとつの川村清雄展—加島虎吉と青木藤作・二つのコレクション	17
	めぐろの子どもたち展	25
	記憶写真展—お父さんの撮った写真、面白いものが写ってますね	
	同時開催:特集展示 秋岡芳夫全集1—秋岡芳夫とKAKの写真	26
【平成25(2013)年度】	佐脇健一展 未来の記憶	32
	PAPER—紙と私の新しいかたち—展	36
	土屋幸夫展—美術家、デザイナー、教育者	39
	めぐろの子どもたち展	42
	岡田謙三&目黒界隈のモダンな住人たち展	
	同時開催:特集展示 秋岡芳夫全集2—童画とこどもの世界	43
【平成26(2014)年度】	マルク・シャガール—版画の奇跡 無限大の色彩	48
	ジョージ・ネルソン展—建築家、ライター、デザイナー、教育者	50
	ふたつの時代—所蔵品でたどる「パリの日本人」	
	第一部 フジタのいる街角—巴里の誘惑、1910~30年代	56
	めぐろの子どもたち展	62
	ふたつの時代—所蔵品でたどる「パリの日本人」	
	第二部 戦後世代の横顔—パリの革新、1950~60年代	
	同時開催:特集展示 秋岡芳夫全集3—版画	63
II 教育普及事業		
(1) ワークショップ活動		
【平成24(2012)年度】	1.ワークショップ夏「からだのワークショップIV〈身体で見る展覧会〉」	69
	2.ワークショップ春「写真と遊ぶ」	69
【平成25(2013)年度】	1.ワークショップ夏「PAPER+(ペーパープラス)」	70
	2.ワークショップ春「色」と「絵具」	71
【平成26(2014)年度】	1.ワークショップ夏「ジョージ・ネルソンとデザイン」	71
	2.ワークショップ春「積み木から摩天楼まで」	72
(2) アウトリーチ   トイの日		73
(3) ギャラリーツアー		73
(4) 目黒区総合庁舎建築ガイドツアー		74
(5) デザインキャンプ		74
(6) めぐろアートウィーク		75
(7) その他		76
III 新収蔵作品		77
IV 入館状況		91
V 作品等貸出		94
VI 区民ギャラリー		96
VII ボランティア		99
VIII 博物館実習		100
IX 名簿		101
X 施設		102
XI 沿革		103
XII 案内		103

## I 展覧会

### シャルロット・ペリアンと日本

会期:2012年4月14(土)~6月10日(日) 51日間

会場:展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ

主催:(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館、読売新聞社、  
美術館連絡協議会

後援:フランス大使館、日仏工業技術会、日仏美術学会、日本建築学会、  
日本建築家協会、日本インテリア学会

協賛:ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン、日本テレビ放送網

特別協力:Archives Charlotte Perriand, Paris

協力:AIR FRANCE,CASSINA IXC. Ltd.

巡回:神奈川県立近代美術館 鎌倉 [2011年10月22日(土)~2012年1月9日(月・祝)]/

広島市現代美術館 [2012年1月21日(土)~3月11日(日)]

入場者数:8,224人

担当学芸員:佐川夕子



20世紀の建築とデザインに革新をもたらしたシャルロット・ペリアン(1903-99)は、巨匠ル・コルビュジエとその従弟ピエール・ジャンヌレとの共同作業を経て、建築とインテリアに数々の優れた作品を残したフランスの女性デザイナーである。1940年の初来日以降、戦後もたびたび日本を訪れたペリアンは、日本を愛し、また、多くの日本人に愛されてきた。本展では、戦前戦後を通じて日本のデザイン界に多大な影響を与えたシャルロット・ペリアンと日本の関係に注目し、彼女の功績を振り返った。

パリにあるシャルロット・ペリアン・アーカイヴの全面的な協力を得て開催された本展では、家具、インテリアに関する図面、写真資料のほか、ペリアンが撮影した写真、日本の友人たちと交わした書簡など約500点を展覧した。ペリアンと日本人との間に生まれた感性の共鳴とその波及をたどった。

#### ●カタログ

サイズ:26.0×18.5cm、328ページ

デザイン:山口デザイン事務所

発行:鹿島出版会

印刷:三美印刷株式会社

内容:

メッセージ(ペルネット・ペリアン=バルサク、ジャック・バルサク) | 序文(ジャック・バルサク) | 第1章 日本との出会い1929-1940年 | 第2章 日本発見1940-1946年 | 第3章 戦後—日本との再会1949-1960年 | 第4章 フランス—暮らしの中の日本1952-1993年 | 第5章 生活と芸術—ペリアンからのメッセージ1993-1999年 |

Columns:ファシズムの台頭から敗戦へ(加藤晴康) | ペリアンの展覧会をみて(柳宗悦) | ペリアンのこと(柳宗理) | シャルロット・ペリアンの面影(進来廉) | シャルロット・ペリアンのこと(坂倉ユリ) |

論考:戦前期日本「工芸」の進運と岐路(森仁史) | 近代建築に託されていたこと(松隈洋) | 丹下健三とペリアン(豊川斎赫) | 出会いと共鳴(アンヌ・ゴッソ、ジャック・バルサク) | 柳宗悦—ペリアン—柳宗理(土田真紀) | ペリアンの「生きた言葉」(畑由起子) |

「シャルロット・ペリアンと日本」年譜(佐川夕子編) | 「シャルロット・ペリアンと日本」に関する文献(「シャルロット・ペリアンと日本」研究会編) | 作品リスト

#### ●広報印刷物

ポスター:B2/チラシ:A4 デザイン:山口デザイン事務所

#### ●関連催事

1. 当館学芸員によるギャラリートーク

4月22日(日)、5月20日(日) 14:00~15:00/参加者:計41名

2. ゲストによるギャラリートーク

4月27日(金) 14:00~15:00/講師:長門佐季(本展企画者、神奈川県立近代美術館学芸員)/参加者:28名

5月12日(土) 14:00~15:00/講師:森仁史(日本近現代デザイン史、金沢美術工芸大学教授)/参加者:31名

5月27日(日) 14:00~15:00/講師:岡部憲明(建築家)/参加者:39名

3. デザイン・トーク

5月25日(金) 18:30~20:00/講師:八木保(アート・ディレクター)/参加者:39名

4. スペシャルプログラム「ペルネット・ペリアン=バルサク、ジャック・バルサク夫妻によるギャラリートーク」

6月3日(日)/講師:ペルネット・ペリアン=バルサク(シャルロット・ペリアン・アーカイブ代表)、ジャック・バルサク(ペリアン研究美術史家)/参加者:41名

## 出品リスト

## 凡例

- ・当館会場で展示した資料のみリストに記載した。
- ・各資料データは、出品番号(No.)、資料区分、資料名称、制作年等、所蔵先、図録掲載番号の順に記載した。
- ・資料区分は、〈作〉=作品等立体資料、〈資〉=書簡、印刷物等の資料、〈写〉=写真、〈図〉=図面・スケッチ等とした。
- ・所蔵先は、特に記載のないものは、すべてシャルロット・ペリアン・アーカイブ(Archives Charlotte Perriand, Paris)である。
- ・本展図録に掲載のある資料については、末尾に図録掲載番号を付した。

No.	資料区分	資料名称等
1-001	〈写〉	シャルロット・ペリアンとプレートをもつル・コルビュジエの手、サン・シュルピスの「屋根裏のバー」にて 撮影:ピエール・ジャンヌレ   [Cat.No.001]
1-002	〈写〉	シャルロット・ペリアン、パリのサン・シュルピス広場のアトリエにて   1927年   [Cat.No.004]
1-003	〈写〉	パリのサロン・ドートンヌに出品したペリアンの「屋根裏のバー」 撮影:Rep   1927年   [Cat.No.005]
1-005	〈写〉	パリのサン・シュルピス広場のシャルロット・ペリアンのアトリエ「屋根裏のバー」にて 撮影:ピエール・ジャンヌレ   1927年   [Cat.No.002]
1-006	〈写〉	《シェーズ・ロング》に横たわるシャルロット・ペリアン   1930年頃   [Cat.No.006]
1-007	〈作〉	シャルロット・ペリアン《ル・コルビュジエ、ピエール・ジャンヌレ、ペリアンの共同製作、サロン・ドートンヌの「住宅のインテリア設備」展示ブースプランのためのフォトコラージュ》   1929年   [Cat.No.009]
1-011	〈作〉	シャルロット・ペリアン《OSPITE》[テーブル・エクスタンシーブル(延長テーブル)]、クロムメッキ鋼鉄、ゴム/カッシーナ版   2004年   Cassina蔵
1-012	〈作〉	シャルロット・ペリアン《LC7》[フォトウイユ・ピヴォタン(肘掛回転椅子)]、クロムメッキ鋼管、レザー/カッシーナ版   1979年   Cassina蔵
1-013	〈作〉	シャルロット・ペリアン《LC8》[テーブル・ピヴォタン(回転椅子)]、クロムメッキ鋼管/カッシーナ版   1979年   Cassina蔵
1-014	〈作〉	ル・コルビュジエ、ピエール・ジャンヌレ、シャルロット・ペリアン《LC4》[シェーズ・ロング(長椅子)]、クロムメッキ鋼管、レザー/カッシーナ版   1964年   Cassina蔵
1-015	〈作〉	ル・コルビュジエ、ピエール・ジャンヌレ、シャルロット・ペリアン《LC2》[フォトウイユ・グラン・コンフォール(安楽椅子・小)]、カッシーナ版   1964年   Cassina蔵
1-016	〈作〉	ル・コルビュジエ、ピエール・ジャンヌレ、シャルロット・ペリアン《LC3》[フォトウイユ・グラン・コンフォール(安楽椅子)]、カッシーナ版   1964年   Cassina蔵
1-017	〈作〉	ル・コルビュジエ、ピエール・ジャンヌレ、シャルロット・ペリアン《LC1》   Cassina蔵
1-018	〈資〉	シャルロット・ペリアン「木か金属か?」『The Studio(ステュディオ)』第97巻433号   1929年4月   京都大学工学研究科建築系図書室蔵   [Cat.No.011]
1-019	〈資〉	ウキリアム・ダブリュー・ウィルソン「MADAME PERRIAND」『デザイン』第4年11月号   1930年11月   京都大学工学研究科建築系図書室蔵   [Cat.No.012]
1-020	〈資〉	『アトリエ』第7巻第12号   1930年12月   山鬼文庫蔵   [Cat.No.013]
1-021	〈写〉	《魚の脊椎》 撮影:シャルロット・ペリアン   1933年   [Cat.No.022]
1-022	〈写〉	《槐の切り株》 撮影:シャルロット・ペリアン   1933年   [Cat.No.024]
1-023	〈写〉	[アシカ、火打石のノジュール no.1] 撮影:シャルロット・ペリアン   1933年
1-024	〈写〉	《火打石のノジュール》 撮影:シャルロット・ペリアン   1933年頃
1-025	〈写〉	《倒れた小檜》 撮影:シャルロット・ペリアン   1933年
1-027	〈写〉	《横になった火打石のノジュール》 撮影:シャルロット・ペリアン   1933年
1-028	〈写〉	《堆積した岩石と頭蓋骨》 撮影:シャルロット・ペリアン   1933年
1-029	〈写〉	《流木》 撮影:シャルロット・ペリアン   1933年
1-030	〈写〉	撮影:シャルロット・ペリアン
1-032	〈写〉	[岩場の雪] 撮影:シャルロット・ペリアン   1934年頃
1-033	〈写〉	[岩場の雪] 撮影:シャルロット・ペリアン   1934年頃
1-034	〈写〉	[氷の塊、フォンテーヌブローの森] 撮影:シャルロット・ペリアン   1935年頃
1-035	〈写〉	《四本の手によって掲げられた氷の塊、フォンテーヌブローの森》 撮影:シャルロット・ペリアン   1935年頃   [Cat.No.025]
1-036	〈写〉	《採石場の砂岩》 撮影:シャルロット・ペリアン   1935年頃   [Cat.No.023]
1-038	〈写〉	前川國男とシャルロット・ペリアン ル・コルビュジエとピエール・ジャンヌレのアトリエにて(セーヴル街、パリ) 撮影:ノーマン・ライス   1930年頃   [Cat.No.016]
1-039	〈写〉	坂倉準三とピエール・ジャンヌレ ル・コルビュジエとピエール・ジャンヌレのアトリエにて(セーヴル街、パリ)   1933年頃   [Cat.No.014]
1-040	〈写〉	坂倉準三の証明写真   1935年頃   [Cat.No.017]
1-041	〈資〉	『国際建築』(特輯・日本建築再検・第二輯・日本民家) 第10巻第7号   1934年7月   山鬼文庫蔵   [Cat.No.021]
1-042	〈資〉	坂倉準三「日本の東北地方の農家」『L'Architecture d'aujourd'hui』第1号   1935年1月   京都大学工学研究科建築系図書室蔵   [Cat.No.022]
1-043	〈写〉	アルプスに仲間とスキーにいった際の坂倉準三とシャルロット・ペリアン   1935年頃   [Cat.No.015]
1-044	〈写〉	スキーをする坂倉   1933年頃
1-045	〈写〉	ポール&アンジュ・グットマンとともにスキーにいった際   1933年頃
1-046	〈資〉	坂倉準三設計の日本館のコラージュ写真   1936年頃   [Cat.No.018]
1-047	〈図〉	ピエール・ジャンヌレ《プレハブ建築のための「コンパス・フレーム」原理についてのスケッチ》(ジャン・ブルーヴェ苑)   1939年11月7-8日   [Cat.No.028]
1-048	〈図〉	ジャン・ブルーヴェ《ピエール・ジャンヌレの「コンパス・フレーム」原理にコメントしたスケッチ》   日付なし(1939年11月8-22日の間の作成)   [Cat.No.029]
1-049	〈写〉	イソワールのSCALアルミニウム工場のためのプレハブ建築   1940年   [Cat.No.030]
1-050	〈図〉	ピエール・ジャンヌレ、シャルロット・ペリアン《イソワールのためのプレハブ建築図面》   1940年1月26日   [Cat.No.031]
1-052	〈写〉	戦争組立建築 巡回展示モデル(設計:坂倉準三)   1942年   坂倉建築研究所蔵   [Cat.No.032]

No.	資料区分	資料名称等
1-053	〈資〉	坂倉準三からシャルロット・ペリアン宛「商工省の装飾芸術顧問デザイナーとして招聘を要請する無線電報」  1940年2月8日付   [Cat.No.038]
1-054	〈資〉	坂倉準三からシャルロット・ペリアン宛の手紙[封書]   1940年2月10日付   [Cat.No.033]
1-055	〈資〉	シャルロット・ペリアンから坂倉準三宛の手紙[封書]   1940年2月24日付   [Cat.No.034]
1-056	〈資〉	シャルロット・ペリアンから坂倉準三宛の手紙[封書]   1940年3月8日付   [Cat.No.035]
1-057	〈資〉	シャルロット・ペリアンから坂倉準三宛の手紙[封書]   1940年3月13日付
1-058	〈資〉	坂倉準三からシャルロット・ペリアン宛の手紙[封書]   1940年5月7日付   [Cat.No.036]
1-059	〈資〉	シャルロット・ペリアンから坂倉準三宛の手紙[封書]   1940年5月8日付   [Cat.No.037]
1-060	〈資〉	[映像資料] 棟方志功の書による、シャルロット・ペリアン招聘確認の手紙(坂倉準三の文章、東京高島屋の補遺付)(長さ8.3メートル)   1940年3月13日付   [Cat.No.042]
1-064	〈写〉	白山丸船上の松平斉光とシャルロット・ペリアン   1940年6-8月   [Cat.No.043]
1-065	〈写〉	松平斉光とにわとり、白山丸の船上にて 撮影:シャルロット・ペリアン   1940年6-8月   [Cat.No.044]
1-066	〈写〉	マルセイユから神戸へ向かう白山丸の甲板(デッキ) 撮影:シャルロット・ペリアン   1940年6-8月   [Cat.No.046]
1-067	〈写〉	マルセイユから神戸へ向かう白山丸の甲板(デッキ) 撮影:シャルロット・ペリアン   1940年6-8月   [Cat.No.047]
1-068	〈資〉	白山丸の絵葉書   山鬼文庫蔵   [Cat.No.045]
1-069	〈写〉	日本へ向かう途中の寄港地、上海でのシャルロット・ペリアンと前川國男、後方の建物は華興商業銀行総社   1940年8月   [Cat.No.048]
1-070	〈写〉	日本へ向かう途中の寄港地、上海でのシャルロット・ペリアン 撮影:前川國男   1940年8月   [Cat.No.050]
1-071	〈写〉	日本へ向かう途中の寄港地、上海でのシャルロット・ペリアン 撮影:前川國男   1940年8月   [Cat.No.049]
2-001	〈資〉	シャルロット・ペリアン「日本到着時に書いたメモ「第一印象」(帝國ホテルの便箋)   1940年8月22日付   [Cat.No.055]
2-002	〈写〉	坂倉準三とシャルロット・ペリアン、東京の路上にて   1940年   [Cat.No.051]
2-003	〈資〉	貿易局「シャルロット・ペリアン 本邦工藝品意匠圖案ノ改善ニ関スル事務取扱ヲ囑託シテ一箇月金六百五十円給与ス」   1940年6月29日付   [Cat.No.053]
2-004	〈資〉	貿易局「証明書 シャルロット・ペリアン 右ハ仏蘭西人ニシテ本邦工藝品意匠圖案ノ改善ニ関スル事務ヲ囑託(囑託期間自昭和十五年六月二十九日至昭和十六年三月末日)セル者ニ有之右証明ス」   1940年9月4日付   [Cat.No.054]
2-005	〈資〉	警視總監「滞邦許可証」   1940年12月27日付   [Cat.No.052]
2-006	〈写〉	《注連縄の張られた大樹》 撮影:シャルロット・ペリアン   1940年頃   [Cat.No.059]
2-007	〈写〉	《旅籠》 撮影:シャルロット・ペリアン   1940年   [Cat.No.056]
2-008	〈写〉	《庭園から見た日本家屋》 撮影:シャルロット・ペリアン   1940年   [Cat.No.057]
2-009	〈写〉	《旅籠の軒先》 撮影:シャルロット・ペリアン   1940年頃   [Cat.No.060]
2-010	〈写〉	《伝統的日本家屋の室内に座る人物》 撮影:シャルロット・ペリアン   1940年   [Cat.No.058]
2-011	〈写〉	[柳宗理、東京の料亭にて] 撮影:シャルロット・ペリアン   1940年頃
2-012	〈資〉	[映像資料] シャルロット・ペリアンの「手帳(ページ)」   1940年9-10月   [Cat.No.061]
2-013	〈資〉	[映像資料] シャルロット・ペリアンの「手帳(赤)」   1940年   [Cat.No.062]
2-014	〈写〉	柳宗理、三神知、ペリアン、坂倉準三 河井寛次郎邸にて 撮影:大原毎日京都支局森田   1940年9月29日   河井寛次郎記念館蔵   [Cat.No.063]
2-015	〈写〉	大原野の道標 京都近郊にて 撮影:坂倉準三(推定)   1940年9月30日頃   坂倉建築研究所蔵   [Cat.No.065]
2-016	〈写〉	シャルロット・ペリアン 京都近郊にて 撮影:坂倉準三(推定)   1940年9月30日   坂倉建築研究所蔵
2-017	〈写〉	シャルロット・ペリアンと河井寛次郎 京都近郊にて 撮影:坂倉準三(推定)   1940年9月30日   坂倉建築研究所蔵
2-018	〈写〉	土庫のまへのシャルロット・ペリアン 京都近郊にて 撮影:坂倉準三(推定)   1940年9月30日   坂倉建築研究所蔵   [Cat.No.064]
2-019	〈写〉	シャルロット・ペリアンと河井寛次郎 京都近郊にて 撮影:坂倉準三(推定)   1940年9月30日   坂倉建築研究所蔵
2-020	〈写〉	シャルロット・ペリアン 京都近郊にて   1940年9月30日 撮影:坂倉準三(推定)   坂倉建築研究所蔵   [Cat.No.066]
2-021	〈写〉	柳宗理、三神知と食事するシャルロット・ペリアン 料亭にて   1940年   [Cat.No.068]
2-022	〈資〉	著:岩井武俊、装丁:河井寛次郎『京都民家譜』、『続京郊民家譜』   1931年・1934年、発行:京都便利堂印刷   河井寛次郎記念館蔵   [Cat.No.070]
2-023	〈資〉	竹善「価格等制統令施行規則第三条(第二項ニ依リ額ノ指示ニ関スル申請書)」   1941年3月20日   河井寛次郎記念館蔵   [Cat.No.074]
2-024	〈図〉	河井寛次郎「竹製家具スケッチ」   1940年頃   河井寛次郎記念館蔵   [Cat.No.075]
2-026	〈資〉	河井寛次郎写真帖『竹家具』   1940年頃   河井寛次郎記念館蔵
2-027	〈資〉	河井寛次郎『竹材新生活具展覧』展目録   1940年   河井寛次郎記念館蔵   [Cat.No.073]
2-028	〈資〉	河井寛次郎『竹材新生活具展覧』展目録(1940年7月1-6日) 製作:大八木治一   1940年   河井寛次郎記念館蔵   [Cat.No.071]
2-029	〈資〉	河井寛次郎『竹材新生活具展覧』展目録   1940年   河井寛次郎記念館蔵   [Cat.No.072]
2-030	〈資〉	柳宗悦から河井寛次郎宛書簡「書留速達封書」   1940年9月10日付   河井寛次郎記念館蔵   [Cat.No.078]
2-031	〈資〉	柳宗悦から河井寛次郎宛書簡「書留速達封書」   1940年10月1日付   河井寛次郎記念館蔵   [Cat.No.079]
2-032	〈資〉	河井寛次郎から柳宗悦宛書簡「葉書」   1941年1月29日付   日本民藝館蔵   [Cat.No.080]
2-033	〈写〉	山形県新庄の雪害調査所を訪問した時のシャルロット・ペリアン   1940年11月   雪の里情報館蔵   [Cat.No.081]
2-034	〈写〉	積雪地方農村経済調査所 外観入口   1938年   雪の里情報館蔵   [Cat.No.084]
2-035	〈写〉	積雪地方農村経済調査所 施設全景   1945年以前   雪の里情報館蔵   [Cat.No.083]
2-036	〈写〉	民芸資料室外観   雪の里情報館蔵   [Cat.No.085]
2-037	〈写〉	東北民芸製作伝習会の記念撮影 柳宗悦(中央右)、山口弘道(左)   1938年   雪の里情報館蔵   [Cat.No.087]
2-038	〈写〉	東北民芸座談会 日本民藝館にて 柳宗悦(右)、棟方志功(中央)   1939年5月   雪の里情報館蔵   [Cat.No.088]
2-039	〈写〉	積雪地方農村経済調査所2階に置かれたペリアンの《三角脚低座卓》(1937年のモデル)   雪の里情報館蔵   [Cat.No.086]

No.	資料区分	資料名称等
2-040	<写>	シャルロット・ペリアン、松平斉光、三神知 仙台の指導所座談会にて   1940年11月12日   独立行政法人産業技術総合研究所 東北センター蔵
2-041	<写>	シャルロット・ペリアン(中央)、松平斉光(右) 仙台の指導所座談会にて   1940年11月12日   独立行政法人産業技術総合研究所 東北センター蔵   [Cat.No.089]
2-042	<写>	シャルロット・ペリアンと工芸指導所員たち 松金屋旅館にて、蔵王高湯温泉、山形 撮影:白井正夫   1941年1月1日   特例財団法人工芸財団蔵   [Cat.No.091]
2-043	<写>	山形、蔵王高湯温泉にて シャルロット・ペリアンと工芸指導所員 撮影:白井正夫   1941年1月   特例財団法人工芸財団蔵
2-044	<写>	東原卓馬、シャルロット・ペリアン、柳宗理、福岡正雄 蔵王高湯温泉の旅館にて 撮影:白井正夫   1941年1月   特例財団法人工芸財団蔵   [Cat.No.092]
2-045	<写>	東北でスキーをするシャルロット・ペリアン   1941年頃   [Cat.No.093]
2-046	<写>	東北でスキーをするシャルロット・ペリアン   1941年頃   [Cat.No.095]
2-048	<写>	シャルロット・ペリアンとエティエンヌ・シカール 東北にて   1941年頃   [Cat.No.096]
2-051	<写>	神輿巡行(シャルロット・ペリアンが収集した写真資料より)   [Cat.No.098]
2-052	<写>	創飾りのある農家の室内(シャルロット・ペリアンが収集した写真資料より)
2-053	<写>	祭礼飾りのある街並み(シャルロット・ペリアンが収集した写真資料より)
2-054	<写>	正月飾り(シャルロット・ペリアンが収集した写真資料より)   [Cat.No.102]
2-055	<写>	芹澤銚介所蔵の鷹の絵馬、天保14年作(シャルロット・ペリアンが収集した写真資料より)   [Cat.No.100]
2-056	<写>	京都 提灯屋 撮影:木村伊兵衛(シャルロット・ペリアンが収集した写真資料より)   [Cat.No.099]
2-062	<写>	岐阜、白川郷の家屋のいろり(シャルロット・ペリアンが収集した写真資料より)   [Cat.No.101]
2-063	<写>	藁束をかつく農民(シャルロット・ペリアンが収集した写真資料より)   [Cat.No.106]
2-064	<写>	稲を刈る女性(シャルロット・ペリアンが収集した写真資料より)
2-065	<写>	田植えの風景(シャルロット・ペリアンが収集した写真資料より)
2-068	<写>	田舎の家屋(シャルロット・ペリアンが収集した写真資料より)   [Cat.No.107]
2-069	<写>	田舎の農家の前のむしろの上で干される収穫物(シャルロット・ペリアンが収集した写真資料より)   [Cat.No.104]
2-070	<写>	大谷石切り場(シャルロット・ペリアンが収集した写真資料より)
2-074	<写>	桂離宮御殿外観東面(シャルロット・ペリアンが収集した写真資料より)
2-076	<写>	角屋玄関(中戸口) 撮影:入江泰吉(シャルロット・ペリアンが収集した写真資料より)
2-079	<写>	京都御所清涼殿孫尻 撮影:佐藤辰三(便利堂)(シャルロット・ペリアンが収集した写真資料より)   [Cat.No.112]
2-080	<写>	角屋月見の間障子窓 撮影:入江泰吉(シャルロット・ペリアンが収集した写真資料より)
2-081	<写>	枯山水の白砂(シャルロット・ペリアンが人類博物館と執筆のために収集した写真資料より)
2-082	<写>	テーブルを製作する林二郎とペリアン   1940年   個人蔵   [Cat.No.118]
2-083	<写>	テーブルの修正を指示をするシャルロット・ペリアン、坂倉準三(左奥)、林二郎(左手前)   1940年   [Cat.No.117]
2-084	<写>	木製「折りたたみ寝台」のプロトタイプを製作中のシャルロット・ペリアン   1940年   [Cat.No.116]
2-085	<図>	シャルロット・ペリアン「林二郎への作品制作依頼メモ」   1940年12月6日付   [Cat.No.120]
2-086	<図>	シャルロット・ペリアン「林二郎への作品制作依頼メモ」   1940年12月6日付   [Cat.No.121]
2-087	<図>	シャルロット・ペリアン「竹興社への依頼作品メモ」   1940年12月6日付   [Cat.No.119]
2-088	<図>	シャルロット・ペリアン「横田製作への依頼メモ「非常に美しい竹仕事」」   1940年12月18日付   [Cat.No.122]
2-089	<図>	シャルロット・ペリアン「龍村織物美術研究所への依頼作品メモ 布について」   1940年12月26日付   [Cat.No.123]
2-090	<資>	「ペリアン女史 日本創作作品展覧会 2601年住宅内部装飾への一示唆 選擇 傳統 創造」展 大阪会場 リーフレット   1941年   西宮市大谷記念美術館蔵   [Cat.No.126]
2-091	<資>	「選擇 傳統 創造」展 大阪会場 ポスター   1941年   [Cat.No.125]
2-092	<資>	「選擇 傳統 創造」展 東京 招待状 1941年3月27日レセプション   1941年
2-093	<資>	シャルロット・ペリアン、坂倉準三 共著『選擇 傳統 創造—日本藝術との接觸』   1941年12月25日、小山書店発行   個人蔵   [Cat.No.186]
2-094	<写>	「選擇 傳統 創造」展 東京会場での展覧会オープニング   1941年3月27日   [Cat.No.180]
2-096	<写>	「選擇 傳統 創造」展 東京会場 高島屋 撮影:フランシス・ハール   1941年/2011年プリント   個人蔵   [Cat.No.127]
2-097	<写>	「選擇 傳統 創造」展 東京会場 入口 撮影:フランシス・ハール   1941年/2011年プリント   個人蔵   [Cat.No.124]
2-098	<写>	「選擇 傳統 創造」展 東京会場 長谷川三郎製作の《タピスリー》と《テーブル》 撮影:フランシス・ハール   1941年/2011年プリント   個人蔵   [Cat.No.130]
2-099	<写>	「選擇 傳統 創造」展 東京会場 藤越しのタピスリーとテーブル 撮影:フランシス・ハール   1941年/2011年プリント   個人蔵   [Cat.No.151]
2-100	<写>	「選擇 傳統 創造」展 東京会場 食堂 撮影:フランシス・ハール   1941年   個人蔵   [Cat.No.224]
2-102	<写>	「選擇 傳統 創造」展 大阪会場 寝室   1941年   [Cat.No.158]
2-103	<写>	「選擇 傳統 創造」展 大阪会場 食堂   1941年
2-104	<写>	「選擇 傳統 創造」展 大阪会場 《折りたたみ椅子》   1941年
2-105	<写>	「選擇 傳統 創造」展 大阪会場 居間   1941年   [Cat.No.155]
2-106	<写>	「選擇 傳統 創造」展 大阪会場 《食卓》   1941年   [Cat.No.162]
2-109	<資>	《綱引き》(子どもが描いたタピスリーの原画)   1940年   [Cat.No.133]
2-110	<写>	子どもの絵   1941年以前   [Cat.No.167]
2-111	<写>	白山丸の甲板で水兵がチョークで描いたデッサン [絨毯の原画に使用]   1940年   [Cat.No.156]
2-112	<作>	シャルロット・ペリアン《竹製シェーズ・ロング》   1940年   [Cat.No.115]

No.	資料区分	資料名称等
2-113	〈作〉	シャルロット・ベリアン《寝台敷》  1940年   山形県立博物館蔵   [Cat.No.139]
2-114	〈作〉	「簾」試作 製作:龍村織物美術研究所   1940年   龍村美術織物蔵   [Cat.No.153]
2-115	〈作〉	シャルロット・ベリアン指示による「簾」試作 製作:龍村織物美術研究所   1940年   龍村美術織物蔵   [Cat.No.154]
2-116	〈作〉	シャルロット・ベリアン《白山丸の甲板で撮影した、水兵がチョークで描いたデッサンをもとにした絨毯》  2011年再制作(オリジナル製作:東北絨毯株式会社、1940年)
2-117	〈作〉	シャルロット・ベリアン《刺繍入り巻き上げ窓掛け》 製作:長谷川三郎、龍村織物美術研究所   1941年   龍村美術織物蔵   [Cat.No.132]
2-118	〈作〉	シャルロット・ベリアン《折りたたみ寝台》と《クッション》  1940年   山形県立博物館蔵   [Cat.No.134]
2-119	〈作〉	シャルロット・ベリアン《ゲリドン》(小型円卓)   SIGN蔵   [Cat.No.145]
2-120	〈作〉	シャルロット・ベリアン《三角脚低座卓用盆》  1940年   山形県立博物館蔵   [Cat.No.146]
2-121	〈作〉	シャルロット・ベリアン《三角脚低座卓台》  1940年   山形県立博物館蔵   [Cat.No.147]
2-122	〈作〉	シャルロット・ベリアン《三角脚低座卓と竹編み天板テーブル》  1940年   個人蔵   [Cat.No.150]
2-123	〈作〉	《クッション付き椅子》のための生地「春正芒」(蓬地に銀・白糸) 製作:龍村織物美術研究所   龍村美術織物蔵   [Cat.No.143]
2-124	〈作〉	《クッション付き椅子》のための生地「春正芒」(濃緑地に金・銀糸) 製作:龍村織物美術研究所   龍村美術織物蔵   [Cat.No.142]
2-125	〈作〉	シャルロット・ベリアン《メアンドル》[ベンチと規格テーブルシリーズの組み合わせ]   2011年 カッシーナによる再制作(オリジナルモデル:パリ、1937年)   Cassina蔵
2-126	〈作〉	シャルロット・ベリアン《食卓》  1940年   光原社蔵   [Cat.No.163]
2-127	〈作〉	台湾の竹製椅子をもとに河井寛次郎がつくった《竹製子ども用腰掛》  1940年頃   河井寛次郎記念館蔵   [Cat.No.077]
2-128	〈写〉	『選擇 傳統 創造—日本藝術との接觸』(書籍) 掲載写真   1941年   個人蔵
2-129	〈写〉	「選擇 傳統 創造」展 展示ケースとベリアン撮影の《四本の手によって掲げられた氷の魂、フォンテースブローの森》パネル 撮影:フランシス・ハール   1941年   [Cat.No.168]
2-130	〈写〉	「選擇 傳統 創造」展 展示ケースと子どもの絵   1941年   [Cat.No.166]
2-135	〈写〉	シャルロット・ベリアンが収集した写真(土瓶)
2-136	〈写〉	ティーセットとサービストレイ   [Cat.No.172]
2-138	〈図〉	シャルロット・ベリアン《折りたたみ寝台の背焼き図面》  1940年10月20日   [Cat.No.135]
2-139	〈図〉	シャルロット・ベリアン《スケッチ I 木と竹の三角脚低座卓》  1940年   [Cat.No.149]
2-140	〈図〉	シャルロット・ベリアン《スケッチ IV 木製食卓のスケッチ》  1940年   [Cat.No.165]
2-141	〈図〉	シャルロット・ベリアン《スケッチ V 竹製寝台と背もたれ》  1940年   [Cat.No.161]
2-142	〈図〉	シャルロット・ベリアン《スケッチ XII 金属三本脚テーブル》  1940年
2-144	〈図〉	シャルロット・ベリアン《スケッチ IV シューズ・ロング、竹と木》  1940年   [Cat.No.113]
2-145	〈図〉	シャルロット・ベリアン《スケッチ XI 竹製掛椅子のスケッチ》  1940年   [Cat.No.164]
2-146	〈図〉	シャルロット・ベリアン《スケッチ XV 木と竹製椅子》  1940年
2-147	〈図〉	シャルロット・ベリアン《皿とアルミ製灰皿のスケッチ》  1940年   [Cat.No.160]
2-148	〈図〉	シャルロット・ベリアンが1941年展で選んだ「東北の染め物」   光原社蔵
2-149	〈図〉	シャルロット・ベリアン《スケッチ:「作ること」》  1940年   [Cat.No.159]
2-150	〈図〉	シャルロット・ベリアン《紅房(漆)と焼き物皿のスケッチ》  1940年   [Cat.No.179]
2-151	〈図〉	シャルロット・ベリアン《三角脚低座卓、照明と天板のスケッチ》  1941年   [Cat.No.148]
2-152	〈作〉	山形地方の《背当》  1934年   日本民藝館蔵   [Cat.No.138]
2-153	〈作〉	《箔桃 菱四ツ目文》  江戸後期   日本民藝館蔵   [Cat.No.176]
2-154	〈作〉	《朱菊紋・黒丹朱 ひあげ》[陸中産菊模様肩口提子]   日本民藝館蔵   [Cat.No.175]
2-155	〈作〉	琉球酒家《酒器 白 ちゅうかめ》   日本民藝館蔵   [Cat.No.173]
2-156	〈作〉	河井寛次郎《草絵扁壺》   1939年頃   京都国立近代美術館蔵   [Cat.No.170]
2-157	〈作〉	河井寛次郎《欵船抜絵花文丸小鉢》   1936年   日本民藝館蔵   [Cat.No.171]
2-158	〈作〉	柏崎栄助デザイン《足跡形朱漆盛器》   1934-41年   福岡県立美術館蔵   [Cat.No.177]
2-159	〈作〉	柏崎栄助デザイン《足跡形色漆盛器》   1934-41年   福岡県立美術館蔵   [Cat.No.178]
2-160	〈写〉	1941年展(「選擇 傳統 創造」展)でシャルロット・ベリアンがよくないものの例として挙げた作例   [Cat.No.184]
2-161	〈写〉	1941年展でシャルロット・ベリアンがよくないものの例として挙げた作例   [Cat.No.181]
2-162	〈写〉	1941年展でシャルロット・ベリアンがよくないものの例として挙げた作例   [Cat.No.182]
2-163	〈写〉	1941年展でシャルロット・ベリアンがよくないものの例として挙げたものの作例
2-165	〈写〉	1941年展でシャルロット・ベリアンがよくないものの例として挙げた作例   [Cat.No.183]
2-166	〈写〉	1941年展でシャルロット・ベリアンがよくないものの例として挙げたものの作例:津田信夫(願張囃目)
2-167	〈写〉	1941年展でシャルロット・ベリアンがよくないものの例として挙げたものの作例 写真(ボルト台)
2-168	〈写〉	1941年展でシャルロット・ベリアンがよくないものの例として挙げたものの作例:工芸指導所試作「竹材合板製カトラリー(ニューヨーク万博山品)
2-169	〈写〉	1941年展でシャルロット・ベリアンがよくないものの例として挙げた作例   [Cat.No.185]
2-170	〈資〉	『NIPPON』第26号   1941年 [複製版を展示]   神奈川県立近代美術館蔵、目黒区美術館蔵   [Cat.No.189]
2-171	〈資〉	『月刊民藝』第3巻第3号   1941年4月   河井寛次郎記念館蔵   [Cat.No.187]
2-172	〈資〉	『造形藝術』第3巻第5号   1941年5月   山鬼文庫蔵   [Cat.No.190]
2-173	〈資〉	『工芸ニュース』第10巻第1号   1941年1月   山鬼文庫蔵   [Cat.No.090]



No.	資料区分	資料名称等
2-174	〈資〉	『工芸ニュース』第10巻第4号   1941年   山鬼文庫蔵
2-175	〈資〉	『工芸ニュース』第10巻第5号   1941年   山鬼文庫蔵   [Cat.No.188]
2-176	〈資〉	『輸出工芸』第6号   1942年   独立行政法人産業技術総合研究所 中部センター蔵
2-177	〈資〉	『輸出工芸』第7号   1942年   独立行政法人産業技術総合研究所 中部センター蔵   [Cat.No.191]
2-178	〈資〉	『輸出工芸』第8号   1942年   独立行政法人産業技術総合研究所 中部センター蔵
2-179	〈資〉	『新建築』第17巻第5号   1941年5月   独立行政法人産業技術総合研究所 中部センター蔵
2-180	〈写〉	エティエンヌ・シカール邸(東京) 食堂 撮影:フランシス・ハール   1942年   坂倉建築研究所蔵   [Cat.No.192]
2-181	〈写〉	エティエンヌ・シカール邸(東京) 撮影:フランシス・ハール   1941年   [Cat.No.194]
2-182	〈写〉	エティエンヌ・シカール邸(東京) 居間 撮影:フランシス・ハール   1941年   [Cat.No.193]
2-183	〈作〉	シャルロット・ベリアン《木と藁の椅子》[シカール邸のための椅子、オリジナルモデル]   1941年   特別財団法人工芸財団蔵(家具の博物館寄託)
2-184	〈作〉	シャルロット・ベリアン《木と藁の椅子》[1941年作シカール邸のための椅子の復刻版]   1950年代   雪の里情報館蔵   [Cat.No.321]
2-185	〈作〉	シャルロット・ベリアン《木と藁の椅子》[1941年作シカール邸のための椅子の復刻版]   1950年代   雪の里情報館蔵
2-186	〈作〉	シャルロット・ベリアン《木と藁の椅子》[シカール邸のためのモデル]   1941年   個人蔵   [Cat.No.195]
2-188	〈写〉	シカール邸でハーモニカを吹くシャルロット・ベリアンとフランシス・ハール   1941年   個人蔵   [Cat.No.196]
2-189	〈写〉	フランシス・ハールのフォトスタジオ(東京)、戦前 撮影:フランシス・ハール   1942年   個人蔵   [Cat.No.199]
2-190	〈写〉	フランシス・ハールのフォトスタジオ(東京)、戦前 撮影:フランシス・ハール   1942年   個人蔵
2-191	〈写〉	フランシス・ハールのフォトスタジオ(東京)、戦前 撮影:フランシス・ハール   1942年   個人蔵   [Cat.No.200]
2-192	〈写〉	《竹製子ども用腰掛》に座るトム・ハール 撮影:フランシス・ハール   1941年頃   個人蔵   [Cat.No.076]
2-193	〈写〉	フランシス・ハール、エティエンヌ・シカール、シャルロット・ベリアン、坂倉準三、ハール撮影の《能「狸々」舞台写真》の前で 撮影:フランシス・ハール   1941年   個人蔵   [Cat.No.198]
2-194	〈写〉	(左から)フランシス・ハール、ベリアン、小島淑子、坂倉百合、川添紫郎 (手前右から)小島威彦、イレヌ・ハール、原智恵子、坂倉準三、鈴木啓介邸でのすぎ焼きパーティーの席にて   1940年頃   個人蔵   [Cat.No.197]
2-195	〈写〉	能「狸々」舞台写真 撮影:フランシス・ハール   1940年頃   個人蔵   [Cat.No.205]
2-196	〈写〉	新年の漁船 撮影:フランシス・ハール   1953年   個人蔵   [Cat.No.207]
2-197	〈写〉	文楽人形と人形遣い 撮影:フランシス・ハール   個人蔵   [Cat.No.204]
2-198	〈写〉	相撲 横綱の土俵入り 撮影:フランシス・ハール   個人蔵   [Cat.No.203]
2-199	〈写〉	東大寺 撮影:フランシス・ハール   1949年   個人蔵   [Cat.No.206]
2-200	〈写〉	フランシス・ハールのフォトスタジオ(東京)の廊下、戦後 撮影:フランシス・ハール   個人蔵   [Cat.No.201]
2-201	〈写〉	フランシス・ハールのフォトスタジオ(東京)、戦後 撮影:フランシス・ハール   個人蔵
2-202	〈写〉	フランシス・ハールのフォトスタジオ(東京)、戦後 撮影:フランシス・ハール   個人蔵   [Cat.No.202]
2-203	〈資〉	貿易局「嘱託員シャルロット・ベリアン 本邦工芸品意匠圖案ノ改善ニ関スル事務取扱ノ嘱託ヲ解ク」   1941年3月31日付   [Cat.No.208]
2-204	〈資〉	貿易局「嘱託員シャルロット・ベリアン 手当シテ金二千円給与ス」   1941年3月31日付   [Cat.No.209]
2-205	〈資〉	貿易局長官 石黒武重:ベリアン宛「1941年4月16日午後6時から 赤坂星ヶ丘茶寮にて開かれる宴への招待状」   1941年4月12日付   [Cat.No.210]
2-206	〈資〉	財団法人国際文化振興會理事 永井松三「昭和16年12月から1942年1月河内で開催の商工博覧会に際し、日本工芸美術を紹介する講演に関する証明書」   1941年10月20日付   [Cat.No.211]
2-207	〈資〉	在仏印(河内)日本特派大使府から帝国諸官憲御中「便宜供与依頼ノ件」   1942年1月24日付   [Cat.No.212]
2-208	〈写〉	仏印商工会議所 外観   山鬼文庫蔵   [Cat.No.223]
2-209	〈資〉	シャルロット・ベリアン『日本芸術との接触』[1942年1月8日インドシナ大学での講演)を収録]   1942年   [Cat.No.214]
2-210	〈写〉	日本工芸品展会場風景 [1941年12月—1942年1月、ハノイ]   1942年頃   [Cat.No.213]
2-211	〈写〉	仏領インドシナハノイ共進会見本市(1941年12月)での日本展示会場 外観   1941年12月   山鬼文庫蔵   [Cat.No.215]
2-212	〈資〉	『輸出工芸』第9号   1942年8月   山鬼文庫蔵   [Cat.No.216]
2-213	〈資〉	警視総監「滞邦許可証」   1942年8月20日付   [Cat.No.217]
2-214	〈資〉	警視総監「旅行許可証」   1942年12月15日   [Cat.No.218]
2-215	〈資〉	内務大臣「立入(居住)許可証」   1942年12月15日   [Cat.No.219]
2-216	〈写〉	ハノイ工芸館 [設計:シャルロット・ベリアン、設計オペレーション:ポール・モンゼ] 外観   1943年   [Cat.No.220]
2-217	〈写〉	ハノイ工芸館 中庭   1943年   [Cat.No.221]
2-218	〈写〉	「応用芸術展」1944年11月13日-20日、ハノイ工芸館   [Cat.No.222]
3-001	〈資〉	シャルロット・ベリアンから坂倉準三宛の手紙 [封書]   1948年5月22日付   [Cat.No.225]
3-002	〈資〉	シャルロット・ベリアンから坂倉準三宛の手紙 [封書]   1949年4月25日付   [Cat.No.226]
3-003	〈資〉	坂倉準三からシャルロット・ベリアン宛の手紙 [封書]   1949年7月3日付   [Cat.No.227]
3-004	〈資〉	坂倉準三からシャルロット・ベリアン宛の手紙 [封書]   1949年7月31日付   [Cat.No.228]
3-005	〈資〉	『Art & Décoratio』9号   1948年   山鬼文庫蔵
3-006	〈資〉	シャルロット・ベリアン「日本における身ぶりの危機」『Casabella』210号   1956年   [Cat.No.325]
3-008	〈資〉	『l'Architecture d'aujourd'hui』65号「日本特集号」   1956年5月   山鬼文庫蔵
3-009	〈写〉	石元泰博《桂離宮 古書院前延段と飛石》   1954年
3-010	〈函〉	シャルロット・ベリアン《ユニットバス》のためのドローイング   1951年   [Cat.No.230]
3-011	〈写〉	シャルロット・ベリアン《ユニットバス》   1952年   [Cat.No.233]

No.	資料区分	資料名称等
3-012	〈写〉	日本の岩風呂(ペリアンの収集した写真より)   [Cat.No.232]
3-013	〈資〉	リーフレット『瓦葺風呂』(東京瓦斯株式会社指定 株式会社瀬谷商會)   1953-54年頃   [Cat.No.231]
3-014	〈写〉	ジャック・マルタンとペリアン邸(東京・赤坂見附) 撮影:シャルロット・ペリアン   1953-54年頃   [Cat.No.234]
3-015	〈写〉	ジャック・マルタンとペリアン邸 居間 撮影:シャルロット・ペリアン   1953-54年頃   [Cat.No.237]
3-016	〈写〉	ジャック・マルタンとペリアン邸 居間 撮影:シャルロット・ペリアン   1954年   [Cat.No.238]
3-017	〈写〉	ジャック・マルタンとペリアン邸 2階 撮影:シャルロット・ペリアン   1954年頃   [Cat.No.236]
3-018	〈図〉	ジャック・マルタンとペリアン邸の手描きの平面図   1953-56年頃   [Cat.No.235]
3-019	〈写〉	ヴァルター・グロピウス、イザ・グロピウス、マルタ・ウィリガー、ペルネット・マルタン＝ペリアン、シャルロット・ペリアン 銚子、岨鶏館にて 撮影:ジャック・マルタン   1954年   [Cat.No.243]
3-020	〈写〉	ヴァルター・グロピウス、銚子海岸にて 撮影:シャルロット・ペリアン   1954年   [Cat.No.242]
3-021	〈写〉	シャルロット・ペリアン、銚子海岸にて 撮影:ジャック・マルタン   1954年   [Cat.No.244]
3-022	〈写〉	剣持勇、シャルロット・ペリアン、坂倉準三、豊口克平 工芸指導所にて 撮影:白井正夫   1954年   特例財団法人工芸財団蔵
3-023	〈写〉	剣持勇、ペリアン、坂倉準三、工芸指導所にて 撮影:白井正夫   1954年   特例財団法人工芸財団蔵   [Cat.No.304]
3-024	〈写〉	国際デザインコミッティーのメンバー クラブ関東にて   1954年頃   [Cat.No.307]
3-025	〈写〉	シャルロット・ペリアン(後ろ向き)、岡本太郎(上) クラブ関東にて   1954年頃   個人蔵
3-026	〈写〉	(左から)坂倉準三、シャルロット・ペリアン、柳宗理、清家清 クラブ関東にて   1954年頃   個人蔵   [Cat.No.319]
3-027	〈写〉	(左から)岡本太郎、(一人おいて)亀倉雄策、吉阪隆正、渡辺力 クラブ関東にて   1954年頃   個人蔵   [Cat.No.308]
3-028	〈写〉	坂倉準三(左)、シャルロット・ペリアン(中央)、クラブ関東にて   1954年頃   個人蔵   [Cat.No.306]
3-029	〈写〉	(左から)一人おいて前川國男、シャルロット・ペリアン、坂倉準三、手前右から、清家清、柳宗理 クラブ関東にて   1954年頃   個人蔵   [Cat.No.305]
3-030	〈写〉	シャルロット・ペリアン、坂倉準三ほか大勢 「巴里1955年:芸術の総合への提案」展開会前夜、友人や協力者たちと一緒に準備の終了を喜ぶ   1955年3月30日   坂倉建築研究所蔵
3-032	〈資〉	「国際デザインコミッティーについて」書類   [Cat.No.303]
3-033	〈資〉	柳宗理からシャルロット・ペリアン宛の手紙(国際デザインコミッティーのレターヘッド付用紙にて)   1956年6月   [Cat.No.302]
3-034	〈資〉	柳宗理:シャルロット・ペリアン宛の手紙   1956年6月
3-037	〈資〉	剣持勇:シャルロット・ペリアン宛の手紙   1962年2月5日付
3-038	〈資〉	「日仏文化協定に基づくフランス新生活展(ペリアン生活芸術展)開催に関する趣意書、主催 高島屋、産業経済新聞 開催予定日:1954年6月中旬   1954年
3-039	〈資〉	産業経済新聞社 企画局長 遠藤利三郎「ペリアン生活芸術展」に関する座談会開催の件 1954年6月3日付【日時6月11日(金)午後3時 会場:クラブ関東(千代田区一番町21)】   1954年
3-040	〈資〉	シャルロット・ペリアン:三好工房へ発注の家具のリスト   1954年
3-041	〈資〉	『巴里一九五五年 芸術の総合への提案 ル・コルビュジエ、レジェ、ペリアン三人展』図録   1955年   坂倉建築研究所蔵、山鬼文庫蔵   [Cat.No.251]
3-042	〈資〉	「巴里一九五五年」展 出品目録   1955年   坂倉建築研究所蔵   [Cat.No.249]
3-043	〈資〉	「巴里一九五五年」展 招待状   1955年3月31日付
3-044	〈資〉	フェルナン・レジェ《女と手》(彩色彫刻) [複製絵葉書]   1951年   [Cat.No.259]
3-045	〈資〉	ル・コルビュジエ《戸外には倦怠が在った》(綴織壁掛) [複製絵葉書]
3-046	〈資〉	ル・コルビュジエ《おおゆみ》(油彩・カンヴァス) [複製絵葉書]   1953年   [Cat.No.257]
3-047	〈資〉	ル・コルビュジエ《二本の瓶と附属品》(綴織壁掛) [複製絵葉書]   1951年   [Cat.No.260]
3-048	〈資〉	フェルナン・レジェ《花と二人の女たち》(油彩・カンヴァス) [複製絵葉書]   1954年   [Cat.No.258]
3-049	〈資〉	フェルナン・レジェ《人体の構図》(綴織壁掛) [複製絵葉書]   1954年   [Cat.No.256]
3-050	〈写〉	高松宮を案内するシャルロット・ペリアンと坂倉準三   1955年   坂倉建築研究所蔵   [Cat.No.253]
3-051	〈写〉	「巴里一九五五年」展(高島屋、東京) シャルロット・ペリアン《ダイニング・セット》   1955年   [Cat.No.268]
3-052	〈写〉	展覧会を見る志賀直哉、「巴里一九五五年」展(高島屋、東京)にて   1955年   [Cat.No.254]
3-053	〈写〉	「巴里一九五五年」展(高島屋、東京)   1955年   [Cat.No.246]
3-054	〈写〉	「巴里一九五五年」展(高島屋、東京)   1955年   [Cat.No.245]
3-055	〈写〉	「巴里一九五五年」展(高島屋、東京)   1955年   [Cat.No.262]
3-056	〈写〉	「巴里一九五五年」展(高島屋、東京) シャルロット・ペリアン:書斎   1955年   坂倉建築研究所蔵
3-057	〈写〉	「巴里一九五五年」展(高島屋、東京)   1955年   [Cat.No.272]
3-058	〈写〉	プレスの取材に応えるシャルロット・ペリアン 「巴里一九五五年」展(高島屋、東京)   1955年   [Cat.No.252]
3-059	〈写〉	シャルロット・ペリアン《シェーズ・ロング・ダブル(二人掛長椅子)》「巴里一九五五年」展(高島屋、東京)   1955年   坂倉建築研究所蔵
3-061	〈図〉	シャルロット・ペリアン《会場平面図》「巴里一九五五年」展(高島屋、東京)   1955年   [Cat.No.250]
3-062	〈図〉	シャルロット・ペリアン《会場立面青焼き図(鉛筆書入)》「巴里一九五五年」展(高島屋、東京)   1955年   [Cat.No.248]
3-063	〈図〉	シャルロット・ペリアン《立面展示プラン》「巴里一九五五年」展(高島屋、東京)   1955年   [Cat.No.247]
3-064	〈作〉	シャルロット・ペリアン《ピブリオテック・ニューアージュ(書架「雲」)》 撮影:マリー・クレラン   1953年   ギャラリー・ダウンタウン・フランソワ・ラファヌール蔵   [Cat.No.289]
3-065	〈作〉	シャルロット・ペリアン《ピブリオテック・メキシック(書架「メキシコ」)》   1952年   S I G N蔵   [Cat.No.279]
3-067	〈作〉	シャルロット・ペリアン《ムープル・エ克蘭(間仕切り家具)》   1953年   高島屋史料館蔵   [Cat.No.278]
3-068	〈作〉	シャルロット・ペリアン《薬製客用肘掛椅子》   1937-47年   雪の里情報館蔵   [Cat.No.267]
3-069	〈作〉	シャルロット・ペリアン《オンブル(影)》   1954年   S I G N蔵   [Cat.No.293]

No.	資料区分	資料名称等
3-070	〈作〉	シャルロット・ペリアン《オンブル(影)》(成型合板)   株式会社カッシーナ・イクスシー蔵
3-071	〈作〉	シャルロット・ペリアン《バンケット・トーキョー》(ヒノキ) [「巴里一九五五年」展のためのモデル]   株式会社カッシーナ・イクスシー蔵
3-072	〈作〉	シャルロット・ペリアン《バンケット・トーキョー》(ヒノキ) [ジャック・マルタンとペリアン邸のためのモデル]   SIGN蔵   [Cat.No.271]
3-073	〈作〉	シャルロット・ペリアン《溝付き食卓》[シカール邸のためのテーブルの複製]   1960年頃   SIGN蔵
3-074	〈作〉	シャルロット・ペリアン《低座卓》[ジャック・マルタンとペリアン邸のためのモデル]   1954年   SIGN蔵   [Cat.No.269]
3-075	〈作〉	シャルロット・ペリアン《タブレ(三脚椅子・大)》   1953年 (オリジナルモデル:メリベル, 1947年)   雪の里情報館蔵   [Cat.No.266]
3-076	〈写〉	シャルロット・ペリアン《テーブル・エール・フランス》[ジャック・マルタンとペリアン邸のためのモデル]   1953年   個人蔵   [Cat.No.297]
3-078	〈作〉	ル・コルビュジエ《戸外には倦怠感が在った》(タピスリー)   1955年   高島屋史料館蔵   [Cat.No.261]
3-079	〈図〉	シャルロット・ペリアン《蒸製肘掛椅子(客用肘掛椅子) スケッチ(木、葉)》   1953年
3-080	〈図〉	シャルロット・ペリアン《二つの引き出し付き仕事机 図面》   1953年
3-081	〈図〉	シャルロット・ペリアン《低座卓(ラッカー塗装の鋼管脚、白/黒メラミン加工の木製天板)の図面》   1953年   [Cat.No.270]
3-082	〈図〉	シャルロット・ペリアン《金属製の脚付き、引き出し付き作業台図面》   1953年
3-083	〈図〉	シャルロット・ペリアン《「竹または木製、クッション付きスタッキング式低座椅子」と「テーブル・エール・フランス」の最初のスケッチ》 図面番号85,419   1953年10月16日   [Cat.No.263]
3-084	〈図〉	シャルロット・ペリアン《「テーブル・エール・フランス」のスケッチ》   1953年   [Cat.No.265]
3-085	〈図〉	シャルロット・ペリアン《ショフーズ・トーキョー(安楽椅子「トーキョー」)》原寸図面   1954年   個人蔵   [Cat.No.240]
3-086	〈図〉	シャルロット・ペリアン《ショフーズ・トーキョー(安楽椅子「トーキョー」)》背焼き図面   1954年   個人蔵   [Cat.No.239]
3-089	〈作〉	シャルロット・ペリアン《整理棚システム:金属製規格化ラックとプラスチック製規格化トレイ》 製造販売:ステフ・シモン   1956年以降   SIGN蔵   [Cat.No.276]
3-090	〈写〉	シャルロット・ペリアン《テーブル・エール・フランス》と《タブレ・ベルジュ(三脚低座椅子)》[ジャック・マルタンとペリアン邸のためのモデルの組み合わせ例]
3-091	〈写〉	シャルロット・ペリアン《テーブル・エール・フランス》[ジャック・マルタンとペリアン邸のためのモデル]   1953年
3-092	〈写〉	『巴里一九五五年 芸術の総合への提案 コルビュジエ、レジェ、ペリアン三人展』展示風景 《オンブル(影)》と《テーブル・エール・フランス》 撮影:白井正夫   1955年
3-093	〈図〉	シャルロット・ペリアン《「規格化カンカイユリー」の金属パーツ図面:金属型枠、ラック、スライド式棚板、留め具》   1954年6月
3-094	〈図〉	シャルロット・ペリアン《「ビプリオテック・ア・プロ(「プロ」タイプの組立書架)のための規格化パーツ(規格化カンカイユリー)図面》   1954年6月   [Cat.No.273]
3-095	〈図〉	シャルロット・ペリアン《「ビプリオテック・ア・プロ(「プロ」タイプの組立書架)のための規格化パーツ(規格化カンカイユリー)図面》   [Cat.No.280]
3-096	〈図〉	シャルロット・ペリアン《規格整理棚システム(規格カンカイユリー)図面》[1952-53年、パリバージョンからの発展モデル]   1954年
3-098	〈資〉	『リビングデザイン』第4号   1955年4月   個人蔵   [Cat.No.281]
3-099	〈資〉	『美術手帳』第94号   1955年5月   神奈川県立近代美術館蔵   [Cat.No.283]
3-100	〈資〉	『芸術新潮』   1955年5月   神奈川県立近代美術館蔵
3-101	〈資〉	『リビングデザイン デザイン10年の歩み』   1957年10月   山鬼文庫蔵
3-103	〈資〉	シャルロット・ペリアン:坂倉準三宛の手紙   1956年6月25日付
3-104	〈写〉	ペリアンと坂倉準三、ジャック・マルタンとペリアン邸にて   1954年   坂倉建築研究所蔵   [Cat.No.309]
3-105	〈写〉	ペリアンと坂倉準三、坂倉建築研究所にて   1954年   坂倉建築研究所蔵   [Cat.No.310]
3-106	〈写〉	西村光恵とシャルロット・ペリアン   1955年頃   個人蔵   [Cat.No.311]
3-108	〈写〉	「霞棚」、修学院離宮、中御茶屋、客殿一ノ間、17世紀、京都 撮影:サエキ   [Cat.No.291]
3-109	〈写〉	シャルロット・ペリアン《ビプリオテック・ニューージュ(書架「雲」)》、ギャラリー・ステフ・シモン(ノパリ)での展示 撮影:CFE   1956年   [Cat.No.274]
3-110	〈写〉	メリベル山荘 [サヴォワ、1961年 設計:シャルロット・ペリアン] 引き戸の大窓、2階居間 撮影:ペルネット・ペリアン=バルサク
3-111	〈写〉	メリベル山荘 [サヴォワ、1961年 設計:シャルロット・ペリアン] 引き戸の大窓、2階居間 撮影:ペルネット・ペリアン=バルサク
3-112	〈写〉	メリベル山荘 [サヴォワ、1961年 設計:シャルロット・ペリアン] 引き戸の大窓、2階居間 撮影:ペルネット・ペリアン=バルサク
3-113	〈写〉	メリベル山荘 [サヴォワ、1961年 設計:シャルロット・ペリアン] 引き戸の大窓、2階居間 撮影:ペルネット・ペリアン=バルサク
3-114	〈写〉	揚屋「角屋」の木格子、京都 撮影:入江泰吉   [Cat.No.284]
3-115	〈写〉	在仏日本大使公邸 [ノパリ、1966-69年 建築設計:坂倉準三、内装:シャルロット・ペリアン] 《ヴォワレット》(目隠しのための木格子) 撮影:ペルネット・ペリアン=バルサク   1966-69年   [Cat.No.285]
3-116	〈写〉	重ねたお膳 撮影:シャルロット・ペリアン   1953-1955年
3-117	〈写〉	手桶 撮影:シャルロット・ペリアン   1954年   [Cat.No.295]
3-118	〈写〉	スタッキングした状態の《テーブル・エール・フランス》   [Cat.No.296]
3-119	〈写〉	スタッキングした状態の《オンブル(影)》   [Cat.No.292]
3-120	〈写〉	日本家屋の階段草葺 撮影:入江泰吉   [Cat.No.286]
3-121	〈図〉	シャルロット・ペリアン《アルク1800の収納階段のスケッチ》   1985年   [Cat.No.288]
3-122	〈写〉	シャルロット・ペリアン《アルク1800の収納階段》 撮影:ペルネット・ペリアン=バルサク、ジャック・バルサク   [Cat.No.287]
3-123	〈写〉	シャルロット・ペリアン《アルク1800の収納階段》 撮影:ペルネット・ペリアン=バルサク、ジャック・バルサク
3-124	〈写〉	シャルロット・ペリアン、丹下健三邸にて、東京   1954年   個人蔵
3-125	〈写〉	シャルロット・ペリアン、丹下健三邸にて、東京   1954年   個人蔵   [Cat.No.298]
3-126	〈写〉	旧東京都庁知事室 [1957年 設計:丹下健三、家具:シャルロット・ペリアン]   1957年   [Cat.No.300]
3-127	〈写〉	旧東京都庁知事室   1957年   [Cat.No.301]

No.	資料区分	資料名称等
3-128	<写>	草月会館〔1958年 設計:丹下健三、家具:シャルロット・ペリアン〕 2階広間   1958年   [Cat.No.299]
3-129	<写>	エールフランス東京営業所〔1959-60年、内装設計:シャルロット・ペリアン、建築オペレーション:坂倉準三〕 外観   1959-60年   GAフォトグラフィアーズ蔵
3-130	<写>	エールフランス東京営業所 1階 撮影:二川幸夫   1959年   GAフォトグラフィアーズ蔵
3-131	<写>	エールフランス東京営業所 1階 撮影:二川幸夫   1960年   GAフォトグラフィアーズ蔵   [Cat.No.314]
3-132	<図>	エールフランス東京営業所 1階平面図   1959年   [Cat.No.312]
3-133	<写>	エールフランス東京営業所の壁面装飾に使用した北極の氷原の写真 撮影:測地学研究所(ノルウェー)   [Cat.No.315]
3-134	<写>	エールフランス大阪営業所〔1959-61年 設計:シャルロット・ペリアン、建築オペレーション:坂倉準三〕 受付カウンター 撮影:多比良敏雄   個人蔵   [Cat.No.318]
3-135	<写>	エールフランス大阪営業所 応接室 撮影:多比良敏雄   個人蔵   [Cat.No.316]
3-136	<図>	エールフランス大阪営業所 1階平面図、展開図 1/50   1961年4月22日   坂倉建築研究所蔵   [Cat.No.317]
3-138	<写>	作業中のシャルロット・ペリアン、エールフランス東京営業所にて   1959年   [Cat.No.313]
3-139	<写>	エールフランス大阪営業所 撮影:多比良敏雄   坂倉建築研究所蔵
3-140	<写>	エールフランス大阪営業所 撮影:多比良敏雄   坂倉建築研究所蔵
3-141	<写>	エールフランス大阪営業所 撮影:多比良敏雄   坂倉建築研究所蔵
4-001	<写>	ギャルリー・ステフ・シモンの入口(サン・ジュールマン通り145番地、パリ)   1956年 撮影:ピオジョー   [Cat.No.320]
4-002	<写>	ギャルリー・ステフ・シモン 大晦日用のディスプレイ 撮影:ピオジョー   1958年頃   [Cat.No.323]
4-003	<写>	ギャルリー・ステフ・シモン イサム・ノグチ《あかり》、シャルロット・ペリアン《バンケット・トーキョー》 撮影:ピオジョー
4-004	<写>	ギャルリー・ステフ・シモン 大晦日用のディスプレイ 撮影:ピオジョー   1958年頃   [Cat.No.324]
4-005	<写>	ギャルリー・ステフ・シモン ディスプレイ 撮影:カルケル   1956年   [Cat.No.322]
4-006	<資>	「サロン・デ・ザール・メナジェ」招待状(グラン・パレ、パリ)   1957年   [Cat.No.328]
4-007	<写>	「サロン・デ・ザール・メナジェ」日本館 [パリ、1957年 建築設計:進来麻、芸術・内装監督:シャルロット・ペリアン] 外観   1957年
4-008	<写>	「サロン・デ・ザール・メナジェ」日本館 展示物 撮影:カルケル   1957年   [Cat.No.327]
4-009	<写>	「サロン・デ・ザール・メナジェ」日本館 展示室内 撮影:カルケル   1957年   [Cat.No.326]
4-010	<写>	「サロン・デ・ザール・メナジェ」日本館 展示室内   1957年
4-011	<図>	シャルロット・ペリアン《柳宗理が選んだ展示作品指示のためのスケッチ》[サロン・デ・ザール・メナジェ]   1957年以前   [Cat.No.329]
4-012	<写>	シャルロット・ペリアンの指示で柳宗理が選んだ展示作品:漆器と陶器ほか [サロン・デ・ザール・メナジェ] 撮影:カルケル   [Cat.No.330]
4-013	<写>	展示作品:イサム・ノグチ《あかり》[サロン・デ・ザール・メナジェ]   1957年
4-014	<写>	シャルロット・ペリアン指示で柳宗理が選んだ展示作品:茶碗、陶器 [サロン・デ・ザール・メナジェ]   [Cat.No.331]
4-015	<写>	シャルロット・ペリアンが選んだ展示作品:柳宗理《白磁湯呑》[サロン・デ・ザール・メナジェ]   [Cat.No.332]
4-016	<写>	シャルロット・ペリアンが選んだ展示作品:柳宗理《ハタフライ・スツール》[サロン・デ・ザール・メナジェ]   [Cat.No.333]
4-017	<写>	シャルロット・ペリアン「日本での座り方を示したカラーズ写真(伝統的な畳での座り方、西歐式の椅子での座り方)」[サロン・デ・ザール・メナジェ]   1957年
4-018	<写>	シャルロット・ペリアンが選んだ展示作品:柳宗理《四脚サービス盆》[サロン・デ・ザール・メナジェ]   [Cat.No.334]
4-019	<写>	シャルロット・ペリアンが選んだ展示作品:柳宗理《ティーポット》[サロン・デ・ザール・メナジェ]   [Cat.No.335]
4-020	<写>	シャルロット・ペリアンが選んだ展示作品:柳宗理《クリーマー》[サロン・デ・ザール・メナジェ]   [Cat.No.336]
4-021	<写>	シャルロット・ペリアンが選んだ展示作品:柳宗理《四脚サービス盆》[サロン・デ・ザール・メナジェ]
4-022	<資>	シャルロット・ペリアン「サロン・デ・ザール・メナジェ」日本館『Aujourd'hui, Art et Architecture (今日、芸術と建築)』12号   1957年12月   山鬼文庫蔵   [Cat.No.338]
4-024	<写>	在仏日本大使公邸 [パリ、1966-69年 建築設計:坂倉準三、内装:シャルロット・ペリアン] 中庭から見たガラス張りのファサード 撮影:ペルネット=ペリアン=バルサク
4-025	<写>	在仏日本大使公邸 ガラス張りのファサードにある公邸入口 撮影:ジャン=ルイ・ロティロン   1966-69年   [Cat.No.340]
4-026	<写>	在仏日本大使公邸 1階のラウンジ 撮影:ペルネット・ペリアン=バルサク   1966-69年   [Cat.No.341]
4-027	<写>	在仏日本大使公邸 1階のラウンジ 撮影:ペルネット・ペリアン=バルサク   1966-69年   [Cat.No.342]
4-028	<写>	在仏日本大使公邸 入口ホール 撮影:ペルネット・ペリアン=バルサク   1966-69年   [Cat.No.346]
4-029	<図>	シャルロット・ペリアン《住居階設備計画図》[在仏日本大使公邸]   1966年12月1日   [Cat.No.344]
4-030	<図>	シャルロット・ペリアン《2階と3階のスケッチ》[在仏日本大使公邸]   1966年11月17日   [Cat.No.339]
4-031	<図>	シャルロット・ペリアン《執務室のためのスケッチ》[在仏日本大使公邸]   1966年12月1日   [Cat.No.345]
4-032	<図>	シャルロット・ペリアン《平面図、2階、3階立面図》[在仏日本大使公邸]   1966-69年
4-033	<図>	シャルロット・ペリアン《1階の家具配置計画図》[在仏日本大使公邸]   1967年3月23日   [Cat.No.343]
4-034	<写>	四季ファブリック・ハウス ショールーム [ラス・カーズ街10番地、パリ、1975年 内装設備:シャルロット・ペリアン] 1階 撮影:ローラン   1975年   [Cat.No.350]
4-035	<写>	四季ファブリック・ハウス ショールーム 1階 撮影:ローラン   1975年   [Cat.No.349]
4-036	<写>	四季ファブリック・ハウス ショールーム 1階 撮影:ペルネット・ペリアン=バルサク   1975年   [Cat.No.347]
4-037	<図>	シャルロット・ペリアン《「布箱」平面・立面図》[四季ファブリック・ハウス ショールーム]   1976年7月16日   [Cat.No.348]
4-038	<図>	シャルロット・ペリアン《1階ショールーム平面図》[四季ファブリック・ハウス ショールーム]
4-039	<写>	シャルロット・ペリアン ユネスコ庭園内《茶室》入口 [日本文化祭、ユネスコ広場、パリ、1993年] 撮影:ジャック・バルサク、ペルネット・ペリアン=バルサク   1993年   [Cat.No.357]

No.	資料区分	資料名称等
4-040	〈写〉	エッフェル塔を背景に見たユネスコ庭園内《茶室》 撮影:ペルネット・ペリアン=バルサク   1993年   [Cat.No.359]
4-041	〈写〉	シャルロット・ペリアン《茶室》[日本文化祭] 撮影:ジャック・バルサク、ペルネット・ペリアン=バルサク   1993年
4-043	〈写〉	茶道のためのパビリオン [日本文化祭] 撮影:ジャック・バルサク、ペルネット・ペリアン=バルサク   1993年
4-044	〈写〉	シャルロット・ペリアン《茶室》内の水屋 撮影:ペルネット・ペリアン=バルサク   1993年   [Cat.No.354]
4-047	〈図〉	シャルロット・ペリアン《プロジェクトのための初期のスケッチ》[日本文化祭]   1992年
4-049	〈図〉	シャルロット・ペリアン《竹のための壺と地面の籐の部分の詳細スケッチ》[日本文化祭]   1993年   [Cat.No.355]
4-050	〈図〉	シャルロット・ペリアン《水屋の立面図と勅使河原宏の書》[日本文化祭]   1993年
4-052	〈図〉	シャルロット・ペリアン《茶室のスケッチ》[日本文化祭]   1993年   [Cat.No.358]
4-055	〈図〉	シャルロット・ペリアン《敷石と竹のための壺の位置指示図面》[日本文化祭]   1992年4月   [Cat.No.352]
4-056	〈写〉	勅使河原宏の茶室へ導く竹の通路のシャルロット・ペリアン [日本文化祭] 撮影:ペルネット・ペリアン=バルサク   1993年   [Cat.No.369]
5-001	〈資〉	『シャルロット・ペリアン 生きる芸術』展図録、パリ装飾美術館   1985年   個人蔵
5-002	〈図〉	シャルロット・ペリアン《家具レイアウト図面》[20世紀のバイオニア展 (リビングデザインセンターOZONE, 1998年, 内装設計:シャルロット・ペリアン, 進来麻, 総監修:ペルネット・ペリアン=バルサク)]   1997年   京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵   [Cat.No.363]
5-003	〈図〉	シャルロット・ペリアン《家具レイアウト図面(色見本付), 1998. 2. 07》[20世紀のバイオニア展]   1998年   京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵   [Cat.No.362]
5-004	〈図〉	シャルロット・ペリアン『家具レイアウト図面, 1998.1.21』[20世紀のバイオニア展]   1998年   京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵
5-005	〈図〉	シャルロット・ペリアン《家具レイアウト図面, 1998.1.21》[20世紀のバイオニア展]   1998年   京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵   [Cat.No.361]
5-006	〈図〉	シャルロット・ペリアン《家具レイアウト図面, 1998年5月2日》[20世紀のバイオニア展]   1998年   京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵
5-007	〈資〉	『シャルロット・ペリアン 20世紀のバイオニア展』図録   1998年   個人蔵   [Cat.No.364]
5-012	〈資〉	シャルロット・ペリアンから新庄の雪の里情報館に贈られた石   1995年頃   雪の里情報館蔵   [Cat.No.366]
5-013	〈資〉	シャルロット・ペリアンから新庄の雪の里情報館矢口孝宛の手紙[封書]   1997年12月15日付   雪の里情報館蔵   [Cat.No.367]
6-001	〈作〉	シャルロット・ペリアン《整理棚システム: 金属製規格化ラックとプラスチック製規格化トレイ》   SIGN蔵
6-002	〈作〉	シャルロット・ペリアン《タブレ・ベルジェ(三脚低座椅子)》(木製、大と小)   SIGN蔵



カタログ



A4チラシ

## 開館25周年記念

## 古茂田守介ふたたび、蘇った絵画展＋古茂田美津子のワンダーランド

会期：2012年7月14日(土)～9月2日(日) 44日間  
 会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール  
 主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館  
 入場者数：3,118人  
 担当学芸員：山田敦雄

同時開催：ワークショップ夏「からだのワークショップIV〈身体で見る展覧会〉」



目黒区美術館では、1990年と1995年の二回、目黒の地で制作を続けた画家・古茂田守介の画業を回顧して好評を博した。開館25周年となる本年、独自の優れた具象絵画の世界を展開し、孤高の存在とさえ言える古茂田守介を再び取り上げた。

前回1995年の展覧会に際しては、アトリエ火災で一度は焼失したとされていた古茂田守介の数多くの秀作が、大規模で徹底的な修復作業によって蘇った。本展では、それらにも再びスポットをあて、絵画修復の意味と成果についても再度世に問うた。

また、一度は画業を諦めた妻・美津子が、守介没後に展開した独自の絵画世界もあわせて展示し、異なった個性をもちながら、どこかで響きあう二人の画家の魅力をあらためて紹介した。

今回の展覧会では、これまで二回の展覧会をもとに、目黒区美術館が所蔵する数多くの古茂田守介作品の中から約60点を選び、素描など制作の秘密を示す商品や資料類をあわせて展示した。また、展覧会出品作品の大作をはじめ、古茂田美津子のユニークな魅力に富んだ作品を特に展示した。

## ●ミュージアムシート[001-120714]

サイズ：A4、6ページ

内容：ごあいさつ | 小茂田守介と目黒美術館 | 展示構成 | 小茂田美津子のワンダーランド・略歴 | 作品リスト(山田敦雄 文・編)

## ●広報印刷物

ポスター：B2 / チラシ：A4

## ●関連催事

1. 講演会「母の絵日記」

8月25日(土) 14:30～16:00 / 講師：古茂田杏子(古茂田守介 長女) / 参加者：47名

\*ワークショップ夏は教育普及の項参照(p.69)

## 出品リスト

凡例

・作品名、制作年、素材・技法、寸法(cm)、所蔵の順に記載

・(修復)とある作品は、火災による被害から1991～94年にかけて目黒区美術館により修復されたもの(実際の修復は、創形美術学校修復研究所、山嶺絵画修復工房、岡崎絵画修復工房が共同調査・研究にもとづき分担して行った)。

・表記のあるもの以外はすべて目黒区美術館蔵。

No.	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)	所蔵
古茂田守介作品					
1	裸婦(一)	1940年	油彩・キャンバス	91.0×72.5(修復)	
2	黄色いリボンの少女		油彩・板	33.4×24.0	
3	美津子像	1944年	油彩・板	33.5×24.5	個人蔵
4	踊り子達	1946年	油彩・キャンバス	112.5×146.0(修復)	
5	臥せる女	1946年	油彩・キャンバス	91.0×116.5(修復)	
6	母子	1946年	油彩・キャンバス	91.5×117.0(修復)	
7	杏子	1948年	油彩・キャンバス	41.0×32.5	個人蔵
8	座る女		油彩・キャンバス	117.0×91.0(修復)	

No.	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)	所蔵
9	踊子と塑像	1949年	油彩・キャンバス	146.0×99.0(修復)	
10	工房	1949年	油彩・キャンバス	144.5×155.0(修復)	
11	杏子の顔	1949年	油彩・キャンバス	21.5×27.2	個人蔵
12	三人	1950年	油彩・キャンバス	162.3×130.2(修復)	
13	背を向けた裸婦	1951年	油彩・キャンバス	117.0×91.0(修復)	
14	画架を配した裸婦	1951年	油彩・キャンバス	146.0×97.0(修復)	
15	座る裸婦	1951頃	油彩・キャンバス	91.0×116.5(修復)	
16	裸婦	1957年	油彩・キャンバス	91.0×73.0(修復)	
17	裸婦と街	1952年	油彩・キャンバス	112.5×145.5(修復)	
18	裸婦二人	1952年	油彩・キャンバス	112.5×145.5(修復)	
19	静物	1952年	油彩・キャンバス	33.4×24.5	個人蔵
20	二人の裸婦	1953年	油彩・キャンバス	97.0×145.5(修復)	
21	母子	1953年	油彩・キャンバス	130.0×97.0(修復)	
22	裸婦と静物	1954年	油彩・キャンバス	146.0×97.0(修復)	
23	静物(壺)	1956年	油彩・キャンバス	49.5×59.5	
24	木蓮	1958年	油彩・キャンバス	46.2×27.9	
25	静物	1957年	油彩・キャンバス	61.0×80.5(修復)	
26	裸婦B	1957年	油彩・キャンバス	117.5×91.0(修復)	
27	カイユウの花	制作年不明	油彩・キャンバス	80.5×65.5(修復)	
28	横たわる裸婦	1958年	油彩・キャンバス	97.5×161.5(修復)	
29	立像と葉	1958年	油彩・キャンバス	146.0×97.5(修復)	
30	カレイ	1958年	油彩・キャンバス	24.5×33.4(修復)	
31	貝殻と裸婦	1959年	油彩・ボード	182.5×91.0(修復)	
32	芦ノ湖	1960年	油彩・キャンバス	53.0×41.0	
33	なす	1959年	油彩・キャンバス	32.0×41.0	
34	貝殻	1960年	油彩・ボード	73.0×91.0(修復)	
35	本を読む女		コンテ・紙	37.2×29.3	
36	椅子に座る女		インク・鉛筆・紙	29.3×24.2	
37	ポーズ四態		インク・紙	27.2×38.0	
38	顔		コンテ・紙	35.8×24.8	
39	横向きの顔		コンテ・紙	35.4×25.5	
40	うつ伏せの裸婦		墨・紙	27.1×38.8	
41	着座する裸婦		パステル・鉛筆・紙	27.0×19.0	
42	立てる裸婦		インク・墨・紙	38.0×27.0	
43	座る裸婦	1958年頃	コンテ・紙	27.9×16.1	
44	うづくまる裸婦		鉛筆・紙	25.0×34.5	
45	横向きに立つ裸婦		鉛筆・墨・紙	33.8×24.7	
46	横向きに座る裸婦		鉛筆・紙	36.0×26.5	
47	足を組んで座る裸婦		インク・墨・紙	27.2×19.8	
48	佇立する裸婦		パステル・水彩・紙	38.0×27.0	
49	二人の座る裸婦		インク・墨・紙	14.5×15.4	
50	黄色い背景の裸婦		パステル・水彩・紙	37.7×27.4	
51	横座りの裸婦	1957年	インク・墨・紙	35.0×24.8	
52	かがむ裸婦(背)	1956頃	インク・水彩・紙	28.0×22.2	
53	かがむ裸婦	1956年	インク・墨・紙	27.1×31.4	
54	後向きに座る裸婦		インク・モノタイプ・鉛筆・紙	27.1×19.0	
55	ひまわり	1952年	インク・墨・紙	37.0×29.1	
56	枝と葉		インク・墨・紙	28.8×22.4	
57	鳥籠と裸婦	1956年	墨・紙	26.0×18.4	個人蔵
58	立て膝の裸婦		鉛筆・紙	37.0×29.0	
59	イーゼルと裸婦		パステル・インク・紙	35.8×25.3	
60	ダルマストーブ	1948年	インク・墨・紙	37.5×29.8	

No.	作品名	制作年	素材・技法	寸法 (cm)	所蔵
61	作品		パステル・インク・墨・紙	16.8×26.9	
62	二匹の黒いカレイ		パステル・墨・紙	19.0×27.0	
63	かわら		パステル・インク・水彩・紙	26.9×37.9	
64	かけら		クレヨン、墨ほか・紙	22.7×25.8	個人蔵
65	かわはぎー海の幸より	1959～83年	エッチング・アクアチント・紙	14.6×11.7	
66	かれいー海の幸より	1959～83年	エッチング・アクアチント・紙	14.5×17.5	
67	さゞえー海の幸より	1959～83年	エッチング・アクアチント・紙	10.7×8.0	
68	ふたつの壺		モノタイプ・紙	36.0×25.0	
69	壺		モノタイプ・紙	38.3×26.9	
70	窓の前に座る裸婦		モノタイプ・紙	35.8×27.1	
71	美津子像		墨ほか・紙	15.0×13.2	個人蔵
72	生まれた翌日の杏子	1946年	鉛筆・紙	24.0×32.0	個人蔵

古茂田美津子作品

73	守介のアトリエから-1 れんがの裸婦	1965年	油彩・キャンバス	130.5×97.6	個人蔵
74	守介のアトリエから-2 さざえ		油彩・キャンバス	72.7×60.9	個人蔵
75	守介のアトリエから-3 鮭と裸婦	1972年	油彩・キャンバス	91.0×72.7	個人蔵
76	守介のアトリエから-4 枯れたひまわりと壺	1972年	油彩・キャンバス	73.0×53.4	個人蔵
77	自画像と家族の肖像-1 鏡のある部屋1	1975年	油彩・キャンバス	130.5×130.5	個人蔵
78	自画像と家族の肖像-2 三面鏡の自画像	1988年	油彩・キャンバス	45.5×53.0	個人蔵
79	自画像と家族の肖像-3 宴	1992年	油彩・キャンバス	162.0×162.0	個人蔵
80	自画像と家族の肖像-4 アルバム	2001年	油彩・キャンバス	130.0×162.0	個人蔵
81	風景、もうひとつの世界-1 水道塔	1971年	油彩・キャンバス	53.0×45.5	個人蔵
82	風景、もうひとつの世界-2 街の風景、水上船3	1972年	油彩・キャンバス	162.0×162.0	個人蔵
83	風景、もうひとつの世界-3 島	1987年	油彩・キャンバス	162.0×162.0	個人蔵
84	風景、もうひとつの世界-4 楽園	1988年	油彩・キャンバス	162.0×162.0	個人蔵
85	風景、もうひとつの世界-5 秋	1996年	油彩・キャンバス	162.0×162.0	個人蔵
86	祭り、集う人々-1 まつり	1974年	油彩・キャンバス	162.0×162.0	個人蔵
87	祭り、集う人々-2 みこし	1974年	油彩・キャンバス	116.7×91.0	個人蔵
88	祭り、集う人々-3 お花見	1985年	油彩・キャンバス	130.0×162.2	個人蔵
89	祭り、集う人々-4 まつり	1994年	油彩・キャンバス	130.3×194.0	個人蔵
90	祭り、集う人々-5 曲馬団の人達		油彩・キャンバス	130.5×162.5	個人蔵
91	サーカスの魔力-1 サーカス	1976年	油彩・キャンバス	130.8×162.0	個人蔵
92	サーカスの魔力-2 自転車のりの娘たち	1978年	油彩・キャンバス	60.5×72.7	個人蔵
93	サーカスの魔力-3 道化師	1978年	油彩・キャンバス	145.5×89.4	個人蔵
94	サーカスの魔力-4 鳥人	1979年	油彩・キャンバス	162.2×130.4	個人蔵
95	サーカスの魔力-5 サーカス	1989年	油彩・キャンバス	162.0×162.0	個人蔵



A4チラシ



ミュージアムシート[001]



## もうひとつの川村清雄展 —加島虎吉と青木藤作・二つのコレクション

会期:2012年10月20日(土)~12月16日(日) 50日間

会場:展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール

主催:(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

後援:明治美術学会

助成:公益財団法人 野村財団

協力:那珂川町馬頭広重美術館

入場者数:5,801人

担当学芸員:降旗千賀子、山田敦雄、和田佐知子



川村清雄(1852(嘉永5)-1934(昭和9))は、江戸麹町で幕臣の家系に生まれ、幕末から明治、大正、昭和と激動の時代を生き、もっとも早い時期に海外で学んだ洋画家である。

「明治以降、海外で学び活躍した作家の初期の作品」を収集方針に取り上げている当館では、川村清雄のフランス、イタリア時代(1876(明治9)-1881(明治14)年)の貴重な素描5点を収蔵している。そして幸運にも、2003年とその翌年に、行方が分らなかった屏風《村上彦四郎》を含む、比較的後期の作品30余点を、川村清雄とゆかりのあった加島虎吉ご遺族からご寄贈いただいた。このコレクションを2005年に「川村清雄を知っていますか?」展として初公開したところ、小規模ながらもいくつかの話題に上った。それから7年経過した2012年までに、代表作ともいえる作品が発見されるなど、川村研究は充実した展開を見せた。

そうした中、同年秋、江戸東京博物館(静岡県立美術館に巡回)では特別展「維新の洋画家—川村清雄」が開催されることになり、目黒区美術館ではこれに合わせ本展を開催し、当館の加島コレクションに加えて、栃木県の那珂川町馬頭広重美術館に収蔵されている、徳富蘇峰と関係の深い実業家・青木藤作が集めた川村作品50余点もあわせて紹介した。

良き支援者、加島虎吉が営んでいた出版社「至誠堂」からは、川村が手がけた技巧的にも凝った装丁の書籍が数多く出版されている。ほかにも『新小説』(春陽堂)の表紙など、精力的な絵画制作の一方で、ブックデザインにも腕をふるい興味深い仕事を残している。

当館の展覧会では、川村と二人の支援者との関係をフォーカスし、これに加えて、川村が関わったセンスある本の装丁の仕事にも光をあて川村清雄の知られざる魅力に迫った。

### ●カタログ

サイズ:26.0×19.0cm、136ページ

デザイン:株式会社中野デザイン事務所

発行:目黒区美術館

印刷:株式会社山田写真製版所

内容:

ごあいさつ | 目黒区美術館と川村清雄の作品(山田敦雄) | 青木藤作と川村清雄(長井裕子) | I章 加島虎吉と川村清雄 | II章 青木藤作と川村清雄 | III章 川村清雄の装幀意匠 | IV章 滞欧作品 その他 | 装幀意匠家・川村清雄—『新小説』の表紙絵を中心に—(岩切信一郎) | 川村清雄が関わった装幀の仕事—書籍装幀・雑誌表紙絵— | 「加島コレクション」から見えてくるもの(降旗千賀子) | 加島虎吉が経営する[至誠堂]の出版物(和田佐知子編) | 作品解説・作品リスト | 川村清雄略年譜

### ●広報印刷物

ポスター:B2/チラシ:A4 デザイン:株式会社中野デザイン事務所

### ●関連催事

1. 講演会「川村清雄の装幀意匠」

12月9日(日) 14:00~15:30 / 講師:岩切信一郎(美術史家) / 参加者:55名

2. 観賞会+見学会「《振天府》と絵画館」

11月25日(日) 11:00~15:30 / 参加者:11名

3. 学芸員によるギャラリートัวร์

11月4日(日)、11日(日)、12月2日(日)、14日(金) 14:00~15:30 / 参加者:計62名

## 出品リスト

凡例

・会期中に展示替えを行った。無印の作品は全会期展示／前：2012年10月20日～11月18日／後：11月20日～12月16日  
 ・参考資料と表記のあるものは図録未掲載。

No.	作品名	作者／発行者	材質・技法	制作(発行)年月日	寸法(cm)	所蔵先	会期
I 加島虎吉と川村清雄							
I・1	村上彦四郎(村上義光 錦御旗奪還図)	川村清雄	油彩、絹・金箔 (二曲一隻)		147.5×147	目黒区美術館 (加島コレクション)	
I・2	鸚鵡	川村清雄	油彩、板・朱漆塗		84.5×36.3	目黒区美術館 (加島コレクション)	
I・3	ベネチア風景	川村清雄	油彩・水性絵具、板		38.3×121.8	目黒区美術館 (加島コレクション)	
I・4	花	川村清雄	油彩、キャンバス		27.4×45.4	目黒区美術館 (加島コレクション)	
I・5	静物(紫陽花とチゴハヤブサ)	川村清雄	油彩、キャンバス		53.0×70.0	目黒区美術館 (加島コレクション)	
I・6	瀑布(滝)	川村清雄	油彩、絹・金箔		123.0×36.0	個人蔵	
I・7	高砂	川村清雄	油彩、絹・銀箔		42.4×136.4	目黒区美術館 (加島コレクション)	
I・8	鴨	川村清雄	油彩、絹・銀箔		42.6×178.2	目黒区美術館 (加島コレクション)	
I・9	梅に親子雀	川村清雄	油彩、紙		45.0×135.0	目黒区美術館 (寄託)	
I・10	梅に雀	川村清雄	油彩、絹・金箔		44.0×123.0	個人蔵	
I・11	梅に雀	川村清雄	油彩、板		30.2×53.5	目黒区美術館 (加島コレクション)	
I・12	題不明	川村清雄	油彩、絹(黒繻子帯)		幅318.0	目黒区美術館 (加島コレクション)	
I・13	小督	川村清雄	油彩、板・黒漆塗		26.9×36.3	目黒区美術館 (加島コレクション)	
I・14	小督	川村清雄	油彩、絹・金箔(色紙)		21.2×18.1	目黒区美術館 (加島コレクション)	
I・15	三色すみれ	川村清雄	油彩、板		φ34.7	目黒区美術館 (加島コレクション)	
I・16	柘榴	川村清雄	油彩、皿		φ23.3	目黒区美術館 (加島コレクション)	
I・17	鈴と絵馬	川村清雄	油彩、絹(扇面色紙)		21.9×47.4	目黒区美術館 (加島コレクション)	
I・18	かれい	川村清雄	油彩、絹(扇面色紙)		21.7×47.4	目黒区美術館 (加島コレクション)	
I・19	姫小松	川村清雄	油彩、紙(扇面色紙)		22.1×47.0	目黒区美術館 (加島コレクション)	
I・20	布袋と唐子	川村清雄	油彩、絹・銀箔		19.6×62.0	目黒区美術館 (加島コレクション)	
I・21	妹背山婦女庭訓	川村清雄	油彩、絹(短冊2枚組)		(各) 36.2×6.1	目黒区美術館 (加島コレクション)	
I・22	題不明	川村清雄	油彩、絹(短冊)		36.2×6.0	目黒区美術館 (加島コレクション)	
I・23	題不明	川村清雄	油彩、絹(短冊)		36.3×6.0	目黒区美術館 (加島コレクション)	
I・24	お玉が池	川村清雄	油彩、絹(短冊)		36.2×6.0	目黒区美術館 (加島コレクション)	
I・25	題不明	川村清雄	油彩、絹(短冊)		36.2×6.0	目黒区美術館 (加島コレクション)	
I・26	竹芝	川村清雄	油彩、絹(短冊)		36.3×6.1	目黒区美術館 (加島コレクション)	

No.	作品名	作者/発行者	材質・技法	制作(発行)年月日	寸法(cm)	所蔵先	会期
I・27	題不明	川村清雄	油彩、絹(短冊)		36.2×6.0	目黒区美術館 (加島コレクション)	
I・28	朝顔につるべとられて貰い水	川村清雄	油彩、角盆・黒漆塗		22.8×22.8	目黒区美術館 (加島コレクション)	
I・29	太田道灌	川村清雄	油彩、角盆・黒漆塗		22.8×22.8	目黒区美術館 (加島コレクション)	
I・30	袱紗包(海老)	川村清雄	絹(縮緬)		65.5×66.0	江戸東京博物館	
I・31	沙羅に葉袋	川村清雄	油彩、板		27.2×46.1 ×1.0	目黒区美術館 (加島コレクション)	
I・32	冬	川村清雄	油彩、絹・金箔(色紙)		27.2×24.2	目黒区美術館 (加島コレクション)	
I・33	梅	川村清雄	油彩、紙・金箔(色紙)		21.2×18.3	目黒区美術館 (加島コレクション)	
I・34	加島虎吉・川村清雄宛書簡 (展覧会への宮家来臨につき報告)	木村浩吉		昭和2(1927)年 6月11日	封筒 23.1×9.6 本紙 19.5×137.3	江戸東京博物館	
I・35	喜寿川村画伯揮毫頒布会画御預帳	至誠堂		昭和3(1928)年	23.5×16.0	江戸東京博物館	
I・36	川村清雄宛書簡 (新譯日本外史高評につき祝賀会案内状)	大町桂月、 加島虎吉		明治43(1910) 年10月26日	18.2×48.1	江戸東京博物館	
参考資料	駅鈴袱紗		絹(縮緬)			個人蔵	

## II 青木藤作と川村清雄

II・1	鳩図巻	川村清雄	水彩、紙	昭和3(1928)年頃	62.0×282.5	那珂川町 馬頭広重美術館	
II・2	鳩と静物	川村清雄	水彩、紙	大正12(1923)年 以降	48.1×130.2	那珂川町 馬頭広重美術館	
II・3	祝詞	川村清雄	油彩、絹・銀箔	大正(1912-26) 末期	30.0×87.6	那珂川町 馬頭広重美術館	
II・4	楊柳	川村清雄	油彩、キャンバス	大正(1912-26) 末期	24.3×33.4	那珂川町 馬頭広重美術館	
II・5	富士	川村清雄	油彩、板	大正(1912-26) 末期	20.7×26.9	那珂川町 馬頭広重美術館	
II・6	梅に雀	川村清雄	油彩、板・黒漆塗	大正(1912-26) 末期～昭和初期 (1926-34)	27.6×39.4	那珂川町 馬頭広重美術館	
II・7	春花	川村清雄	油彩、板・黒漆塗	大正(1912-26) 末期～昭和初期 (1926-34)	26.8×36.2	那珂川町 馬頭広重美術館	
II・8	空蟬	川村清雄	油彩、板・黒漆塗	大正(1912-26) 末期～昭和初期 (1926-34)	径31.7	那珂川町 馬頭広重美術館	
II・9	なた豆に雀	川村清雄	油彩、板・黒漆塗	大正(1912-26) 末期～昭和初期 (1926-34)	36.3×84.5	那珂川町 馬頭広重美術館	
II・10	こい・なごそ	川村清雄	油彩、木(両面)	明治31 (1898)年頃	15.0×21.4	那珂川町 馬頭広重美術館	
II・11	源氏物語	川村清雄	油彩・糸、板・金箔		13.6×19.8	那珂川町 馬頭広重美術館	
II・12	御福図盆	川村清雄	油彩・水彩あるいは 墨、板(丸盆)	昭和7(1932)年	径26.4	那珂川町 馬頭広重美術館	
II・13	棚		木(杉)	昭和5-9 (1930-34)年頃	45.8×51.0	那珂川町 馬頭広重美術館	
II・14	寒牡丹	川村清雄	油彩、絹(色紙)	昭和初期 (1926-34)	27.1×24.0	那珂川町 馬頭広重美術館	前
II・15	紅白牡丹	川村清雄	油彩、紙・銀箔(色紙)	昭和初期 (1926-34)	21.1×17.8	那珂川町 馬頭広重美術館	後

No.	作品名	作者／発行者	材質・技法	制作(発行)年月日	寸法(cm)	所蔵先	会期
Ⅱ・16	芥子	川村清雄	油彩、絹・金箔(色紙)	昭和初期 (1926-34)	21.2×18.1	那珂川町 馬頭広重美術館	前
Ⅱ・17	竜胆	川村清雄	油彩、絹(色紙)	昭和初期 (1926-34)	24.1×21.0	那珂川町 馬頭広重美術館	後
Ⅱ・18	躑躅	川村清雄	油彩、絹・金箔(色紙)	昭和8(1933)年	27.2×24.2	那珂川町 馬頭広重美術館	後
Ⅱ・19	桜	川村清雄	油彩、絹・金箔(色紙)	昭和初期 (1926-34)	24.2×21.2	那珂川町 馬頭広重美術館	前
Ⅱ・20	海の日の出	川村清雄	油彩、絹(色紙)	昭和4(1929)年 以前	27.3×24.3	那珂川町 馬頭広重美術館	後
Ⅱ・21	高砂	川村清雄	油彩、絹・金箔(色紙)	昭和初期 (1926-34)	27.2×24.2	那珂川町 馬頭広重美術館	前
Ⅱ・22	ヴェネツィア	川村清雄	油彩、絹・銀箔(色紙)	昭和初期 (1926-34)	27.3×24.2	那珂川町 馬頭広重美術館	
Ⅱ・23	田園風景	川村清雄	油彩、紙・銀箔(色紙)	大正(1912-26) 末期～昭和初期 (1926-34)	21.3×18.2	那珂川町 馬頭広重美術館	前
Ⅱ・24	鶏	川村清雄	油彩、絹・銀箔(色紙)	昭和初期 (1926-34)	21.1×18.0	那珂川町 馬頭広重美術館	後
Ⅱ・25	児島高德	川村清雄	油彩、絹・銀箔(色紙)	大正(1912-26) 末期～昭和初期 (1926-34)	21.1×18.1	那珂川町 馬頭広重美術館	後
Ⅱ・26	海老	川村清雄	油彩、絹(短冊)	昭和初期 (1926-34)	36.2×6.0	那珂川町 馬頭広重美術館	前
Ⅱ・27	蛸	川村清雄	油彩、絹(短冊)	昭和初期 (1926-34)	36.1×6.0	那珂川町 馬頭広重美術館	後
Ⅱ・28	福寿草	川村清雄	油彩、絹・金箔(短冊)	昭和初期 (1926-34)	36.3×6.0	那珂川町 馬頭広重美術館	後
Ⅱ・29	野菜に貝	川村清雄	油彩、絹・金箔(短冊)	昭和初期 (1926-34)	36.1×5.9	那珂川町 馬頭広重美術館	前
Ⅱ・30	菊	川村清雄	油彩、絹・金箔(短冊)	昭和初期 (1926-34)	36.2×5.9	那珂川町 馬頭広重美術館	後
Ⅱ・31	小松引き(1月)	川村清雄	油彩、絹・金箔(色紙)	大正(1912-26) 末期	21.1×18.1	那珂川町 馬頭広重美術館	後
Ⅱ・32	初午(2月)	川村清雄	油彩、絹(色紙)	大正(1912-26) 末期	21.1×18.1	那珂川町 馬頭広重美術館	前
Ⅱ・33	雛祭(3月)	川村清雄	油彩、絹・金箔(色紙)	大正(1912-26) 末期	21.1×18.1	那珂川町 馬頭広重美術館	後
Ⅱ・34	蒲仏会(4月)	川村清雄	油彩、絹・銀箔(色紙)	大正(1912-26) 末期	21.1×18.1	那珂川町 馬頭広重美術館	前
Ⅱ・35	鍾馗(5月)	川村清雄	油彩、絹(色紙)	大正(1912-26) 末期	21.1×18.1	那珂川町 馬頭広重美術館	後
Ⅱ・36	祭(6月)	川村清雄	油彩、絹(色紙)	大正(1912-26) 末期	21.1×18.1	那珂川町 馬頭広重美術館	前
Ⅱ・37	茄子馬と胡瓜馬(7月)	川村清雄	油彩、絹・金箔(色紙)	大正(1912-26) 末期	21.1×18.1	那珂川町 馬頭広重美術館	後
Ⅱ・38	月見(8月)	川村清雄	油彩、絹・銀箔(色紙)	大正(1912-26) 末期	21.1×18.1	那珂川町 馬頭広重美術館	前
Ⅱ・39	重陽(9月)	川村清雄	油彩、絹・銀箔(色紙)	大正(1912-26) 末期	21.1×18.1	那珂川町 馬頭広重美術館	後
Ⅱ・40	恵比寿講(10月)	川村清雄	油彩、絹・金箔(色紙)	大正(1912-26) 末期	21.1×18.1	那珂川町 馬頭広重美術館	前
Ⅱ・41	酉の市(11月)	川村清雄	油彩、絹(色紙)	大正(1912-26) 末期	21.1×18.1	那珂川町 馬頭広重美術館	後
Ⅱ・42	供え餅作り(12月)	川村清雄	油彩、絹(色紙)	大正(1912-26) 末期	21.1×18.1	那珂川町 馬頭広重美術館	前
Ⅱ・43	宝珠図 [後期]	川村清雄	紙本墨画	大正2(1913)年か	135.8×55.0	那珂川町 馬頭広重美術館	後

No.	作品名	作者／発行者	材質・技法	制作(発行)年月日	寸法(cm)	所蔵先	会期
II・44	「この春は」	川村清雄	紙本墨書	大正元(1912)年以降	136.6×60.3	那珂川町馬頭広重美術館	後
II・45	「かはむらの」	川村清雄	紙本墨書		181.8×172.8	那珂川町馬頭広重美術館	前
II・46	鍾馗	川村清雄	水彩、紙	明治(1868-1912)末期～大正(1912-26)期	63.0×75.5	那珂川町馬頭広重美術館	
II・47	白馬の節会	川村清雄	日本顔料、紙・金泥		36.3×45.3	那珂川町馬頭広重美術館	
II・48	袱紗包(駄鈴)	川村清雄	絹(縮緬)	昭和9(1934)年	46.0×46.0	那珂川町馬頭広重美術館	
II・49	帝國軍艦松島黄海激戦	川村清雄	石版、紙	明治33(1900)年9月	50.6×75.8	那珂川町馬頭広重美術館	
II・50	川村清雄氏喜寿記念洋画展覧会 絵葉書		印刷、紙	昭和4(1929)年	各8.7×13.7	那珂川町馬頭広重美術館	
II・51	川村清雄書簡(青木藤作宛)		墨、紙	昭和8(1933)年	封筒21.5×8.5 便箋24.7×33.9	那珂川町馬頭広重美術館	
II・52	西郷侯爵家、勝伯爵家、加島家愛蔵 時童川村清雄画伯作品 絵葉書		印刷、紙			那珂川町馬頭広重美術館	
II・53	「徳富猪一郎」名刺(青木藤作紹介状)				9.6×6.1	江戸東京博物館	
II・54	川村清雄宛書状 (白菜送付及び掘出物御覧の件につき)	青木藤作		昭和6(1931)年 12月26日付	封筒 21.0×9.2 本紙 16.0×45.7	江戸東京博物館	
II・55	『蘇峰叢書 書斎感興・関東探勝記』 (2冊組)					個人蔵	
参資料	青木藤作制作絵葉書「鍾馗図」「鳩図」		印刷、紙			那珂川町馬頭広重美術館	
III 川村清雄の装幀意匠							
III・1	『洗心廣録』	幸田露伴／ 至誠堂		大正15(1926)年	193.0×139.0	個人蔵	
III・2	『洗心廣録』表紙原画	川村清雄	油彩、紙	大正15(1926)年 以前	25.8×17.4	目黒区美術館 (加島コレクション)	
III・3	『兎糞録』(大正名著文庫1)	和田垣謙三／ 至誠堂		大正2(1913)年	19.2×13.2	個人蔵	
III・4	〈三条橋と橋上の人〉『兎糞録』口絵下絵	川村清雄	鉛筆、紙	大正2(1913)年 以前	23.5×13.0	個人蔵	
III・5	『妄人妄語』(大正名著文庫14)	森鷗外／ 至誠堂		大正4(1915)年	19.2×13.2	日本近代文学館	
III・6	『妄人妄語』ジャケット下絵	川村清雄	鉛筆、紙	大正4(1915)年 以前	39.4×39.9	江戸東京博物館	
III・7	『處世訓話 餅』	和田垣謙三／ 至誠堂		大正6(1917)年	15.3×9.1	個人蔵	
III・8	『中等教育作文自習寶鑑』	友田亘剛／ 至誠堂		明治43(1910)年	19.5×13.5	目黒区美術館	
III・9	『へちまのかは』(大正名著文庫3)	杉村楚人冠／ 至誠堂		大正3(1914)年	19.3×13.0	個人蔵	
III・10	『白河梁翁 後編』	碧瑠璃園／ 至誠堂	至誠堂	明治43(1910)年	22.8×15.5	個人蔵	
III・11	關羽『詳解全訳漢文叢書4 十八史略』 (大町桂月訳評ほか)見返し原画	川村清雄	油彩、板	昭和2(1927)年 以前	32.7×42.0× 2.8	目黒区美術館	
III・12	孟母断機『詳解全訳漢文叢書9 孟子』 (山内計作訳評)見返し原画	川村清雄	油彩、板	昭和2(1927)年 以前	32.3×41.9× 2.9	目黒区美術館	
III・13	『詳解全訳漢文叢書1 日本外史 上』	大町桂月訳評 ほか／至誠堂		昭和元(1926)年	19.4×14.0	個人蔵	
III・14	頼山陽像『詳解全訳漢文叢書1 日本外史 上』口絵原画	川村清雄	油彩、紙	昭和元(1926)年 以前	27.4×24.4	目黒区美術館	

No.	作品名	作者／発行者	材質・技法	制作(発行)年月日	寸法(cm)	所蔵先	会期
Ⅲ・15	雁鴉『新婦人』表紙色校正刷 第1年9月の巻	東京聚精堂	石版	明治44(1911)年	30.4×23.5	江戸東京博物館	
Ⅲ・16	懸蓬萊『新婦人』表紙色校正刷 第3年1月の巻	至誠堂	石版	大正2(1913)年	28.9×21.2	江戸東京博物館	
Ⅲ・17	紅葉乃賀『新婦人』表紙色校正刷 第1年11月の巻	東京聚精堂	石版	明治44(1911)年	26.0×18.8	江戸東京博物館	
Ⅲ・18	初午『新小説』表紙 第4年第3巻	春陽堂	石版	明治32(1899)年	22.4×15.0	江戸東京博物館	
Ⅲ・19	花顔雪衣『新小説』表紙 第12年第1巻	春陽堂	石版	明治40(1907)年	22.4×15.0	江戸東京博物館	
Ⅲ・20	襲式目の内 雪襲ね『新小説』表紙 第15年第12巻	春陽堂	石版	明治43(1910)年	22.4×15.0	江戸東京博物館	
Ⅲ・21	犬張子『新小説』表紙 第11年5巻	春陽堂	石版	明治39(1906)年	22.3×15.0	個人蔵	
Ⅲ・22	虎『新小説』表紙 第11年9巻	春陽堂	石版	明治39(1906)年	22.4×15.0	個人蔵	
Ⅲ・23	小春日『新小説』表紙 第12年10巻	春陽堂	石版	明治40(1907)年	22.5×15.0	個人蔵	
Ⅲ・24	東京名所 親父橋『新小説』表紙 第13年8巻	春陽堂	石版	明治41(1908)年	22.2×15.0	個人蔵	
Ⅲ・25	歳の終り『新小説』表紙 第13年12巻	春陽堂	石版	明治41(1908)年	22.0×15.0	個人蔵	
Ⅲ・27	枕草子『新小説』表紙 第16年5巻	春陽堂	石版	明治44(1911)年	22.4×15.0	個人蔵	
Ⅲ・28	浅草観音『新小説』表紙 第13年5巻	春陽堂	石版	明治41(1908)年	22.3×15.0	個人蔵	
Ⅲ・29	住吉物語『新小説』表紙 第16年10巻	春陽堂	石版	明治44(1911)年	22.4×15.0	個人蔵	
Ⅲ・30	恋と意地『新小説』口絵 第10年12巻	春陽堂	石版	明治38(1905)年	23.2×17.4	個人蔵	
Ⅲ・31	徒然草の抜穂「陸月の行り」『新小説』 表紙 第16年1巻	春陽堂	石版	明治44(1911)年	22.0×14.8	江戸東京博物館	前
Ⅲ・32	徒然草の抜穂「陸月の行り」『新小説』 下絵 第16年1巻	春陽堂	鉛筆・淡彩、紙	明治43(1910)年 以前	20.8×25.2	江戸東京博物館	前
Ⅲ・33	徒然草の抜穂「陸月の行り」『新小説』 下絵 第16年1巻	春陽堂	墨・色鉛筆、紙	明治43(1910)年 以前	21.1×13.5	江戸東京博物館	前
Ⅲ・34	徒然草の抜穂「陸月の行り」『新小説』 下絵 第16年1巻	春陽堂	鉛筆・墨・木炭、紙	明治43(1910)年 以前	22.5×14.8	江戸東京博物館	前
Ⅲ・35	東海婦人『新小説』表紙色校正刷 第12年第7巻	春陽堂	石版	明治40(1907)年	28.1×20.5	江戸東京博物館	後
Ⅲ・36	東海婦人『新小説』表紙下絵 第12年第7巻	春陽堂	ペン・鉛筆、紙	明治40(1907)年 以前	38.0×23.5	江戸東京博物館	後
Ⅲ・37	紅梅『源氏物語』『新小説』 表紙色校正刷 第16年第2巻	春陽堂	石版	明治44(1911)年	55.0×81.2	江戸東京博物館	後
Ⅲ・38	方丈記『新小説』 表紙色校正刷 第16年第4巻	春陽堂	石版	明治44(1911)年	56.0×81.2	江戸東京博物館	前
Ⅲ・39	東京名所 木場『新小説』 表紙色校正刷 第13年第6巻	春陽堂	石版	明治41(1908)年	55.0×81.2	江戸東京博物館	前
Ⅲ・40	街頭『新小説』 表紙色校正刷 第13年第2巻	春陽堂	石版	明治41(1908)年	33.9×31.3	江戸東京博物館	前
Ⅲ・41	浅草観音『新小説』 表紙色校正刷 第13年第5巻	春陽堂	石版	明治41(1908)年	56.1×48.8	江戸東京博物館	後
Ⅲ・42	更科日記『新小説』 表紙色校正刷 第16年第3巻	春陽堂	石版	明治44(1911)年	55.5×48.8	江戸東京博物館	後
Ⅲ・43	初午『新婦人』 表紙色校正刷 第3年2月の巻	至誠堂	石版	大正2(1913)年	56.0×40.7	江戸東京博物館	前
Ⅲ・44	方丈記『新小説』表紙 第16年第4巻	春陽堂	石版	明治44(1911)年	22.3×15.0	個人蔵	
Ⅲ・45	雪の顔『新婦人』 表紙色校正刷 第1年12月の巻	東京聚精堂	石版	明治44(1911)年	30.0×22.1	江戸東京博物館	
Ⅲ・46	『王冠』	長田秋濤/ 春陽堂		明治32(1899)年	21.9×14.9	日本近代文学館	
Ⅲ・47	『吐雲録』(大正名著文庫5)	和田垣謙三/ 至誠堂		大正3(1914)年	19.1×13.0	個人蔵	
Ⅲ・48	『洗心録』(大正名著文庫8)	幸田露伴/ 至誠堂		大正3(1914)年	19.1×13.0	個人蔵	

No.	作品名	作者/発行者	材質・技法	制作(発行)年月日	寸法(cm)	所蔵先	会期
Ⅲ・49	『活修養』(大正名著文庫10)	前田慧雲/ 至誠堂		大正3(1914)年	19.3×13.0	個人蔵	
Ⅲ・50	『西遊スケッチ』(大正名著文庫20)	和田垣謙三/ 至誠堂		大正4(1915)年	19.1×13.1	個人蔵	
Ⅲ・51	『金色夜叉 中編』	尾崎紅葉/ 春陽堂		明治32(1899)年	22.5×15.4	個人蔵	
Ⅲ・52	『自暴自棄 前篇』	廣津柳浪/ 春陽堂		明治39(1906)年	18.5×24.6	個人蔵	
Ⅲ・53	『註解全訳漢文叢書3 日本政記・ 日本楽府』	大町桂月訳評 ほか/至誠堂		昭和2(1927)年	19.4×14.1	目黒区美術館	
Ⅲ・54	『史傳小説 高山彦九郎』	碧瑠璃園/ 至誠堂		明治43(1910)年	22.2×14.9	東京大学大学院 情報学環・学際情報 学府図書室	
Ⅲ・55	『大石陸女』	碧瑠璃園/ 至誠堂		明治44(1911)年	22.3×15.4	東京大学大学院 情報学環・学際情報 学府図書室	
Ⅲ・56	『悦楽』(大正名著文庫16)	幸田露伴/ 至誠堂		大正4(1915)年	19.3×13.0	個人蔵	
Ⅲ・57	下絵<七脚落>	川村清雄	鉛筆・紙		16.0×25.4	個人蔵	
参考資料	『出版興亡五十年』	小川菊松/ 誠文堂		昭和28(1949)年		個人蔵	
参考資料	『青年諸君』	和田垣謙三/ 至誠堂		明治42(1909)年		目黒区美術館	
参考資料	『註解全訳漢文叢書9 孟子』	山内計作訳解 /至誠堂		昭和2(1927)年	19.4×14.0	目黒区美術館	
参考資料	月の都『新婦人』表紙 第2年4月の巻	東京衆精堂		明治45(1912)年	25.3×17.4	個人蔵	
参考資料	『新小説』第2号	春陽堂		明治29(1896)年		個人蔵	
参考資料	『新小説』第3号	春陽堂		明治29(1896)年		個人蔵	
参考資料	『新小説』第2年第10巻	春陽堂		明治30(1897)年		個人蔵	
参考資料	『新小説』第7年第5巻	春陽堂		明治35(1902)年		個人蔵	
参考資料	『新小説』第7年第2巻	春陽堂		明治35(1902)年		個人蔵	
参考資料	『新小説』第8年第1巻	春陽堂		明治36(1903)年		個人蔵	
参考資料	『新小説』第9年第1巻	春陽堂		明治37(1904)年		個人蔵	
参考資料	『文藝倶楽部』第2編	博文館		明治28(1895)年		個人蔵	
参考資料	『文藝倶楽部』第13編	博文館		明治28(1895)年		個人蔵	
参考資料	『文藝倶楽部』第5編	博文館		明治28(1895)年		個人蔵	
参考資料	『文藝倶楽部』第3巻第4編	博文館		明治30(1897)年		個人蔵	

※Ⅲ・26は都合により展示せず。

#### IV 滞欧作品 その他

IV・1	水差し	川村清雄	鉛筆・黒鉛、紙	明治8(1875)年	29.5×48.0	目黒区美術館	
IV・2	幼児石膏習作	川村清雄	黒鉛・コンテ、紙	明治6~14 (1873~81)年	12.0×11.8	目黒区美術館	
IV・3A	裸体習作	川村清雄	コンテ、有色紙	明治6~14 (1873~81)年	23.9×31.9	目黒区美術館	
IV・3B	女の顔習作	川村清雄	コンテ、有色紙	明治6~14 (1873~81)年	23.9×31.9	目黒区美術館	
IV・4	裸体習作	川村清雄	コンテ、有色紙	明治6~14 (1873~81)年	31.5×23.5	目黒区美術館	
IV・5	風景	川村清雄	油彩・厚紙・布貼り		40.6×54.8	個人蔵	
IV・6	ベネチア	川村清雄	油彩・板		15.5×21.0	個人蔵	
IV・7	水辺の景	川村清雄	油彩・板		20.5×37.4	個人蔵	
IV・8	貝あわせ	川村清雄	油彩・紙		21.0×18.0	目黒区美術館	

No.	作品名	作者/発行者	材質・技法	制作(発行)年月日	寸法(cm)	所蔵先	会期
IV・9	桜	川村清雄	油彩・紙		21.0×18.0	目黒区美術館	
参考出品	絵筆のあと	川村清雄	石版・紙		32.8×22.4	個人蔵	
参考出品	少女像	伝ティート	油彩、キャンバス		25.3×16.5	個人蔵	
参考出品	男の顔	オステテ・ダ・モリン	油彩、キャンバス		52.8×40.8	目黒区美術館	
参考出品	少年習作	伝川村清雄	油彩、キャンバス		18.0×11.6	個人蔵	
参考資料	聖母子と聖人たち	作者不詳	油彩、キャンバス		41.6×23.6	目黒区美術館 (加島コレクション)	
参考資料	サムソンとデリラ	作者不詳	油彩、キャンバス		22.6×32.0	目黒区美術館 (加島コレクション)	



カタログ



A4チラシ



# めぐろの子どもたち展

## 平成24年度目黒区立幼稚園 小・中学校連合展覧会

会期：2013年1月19日(土)～2月3日(日) 14日間

会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ、  
区民ギャラリー

主催：目黒区、目黒区教育委員会、目黒区立幼稚園長会、  
目黒区立小学校長会、目黒区立中学校長会、  
目黒区立特別支援学級設置校長会、目黒区教育会、  
(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

入場者数：9,575人

担当学芸員：和田佐知子



同時開催：米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画作品展、  
中国北京市東城区児童・生徒書画展

本展は、区立幼稚園・こども園、小学校、中学校(特別支援学級を含む)の幼児・児童・生徒が平成24年度の授業中に創作した作品を展示し、区立学校における美術教育の成果を区民の方々に紹介するとともに、この鑑賞を介して子どもたちの情操を育むことを目的に開催した。

また、同時開催として、米国ジョージア州チェロキー郡の児童・生徒の絵画作品展および中国北京市東城区の児童・生徒書画作品展を開催した。(出品数：4,004点)

### ●広報印刷物

ポスター：B2/チラシ：A4

内容：ごあいさつ(主催者) | 特別支援学級 | 幼稚園 | 小学校・図工 | 小学校・書写 | 中学校・美術 | 中学校・書写 | 米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画作品展 | 中国北京市東城区児童・生徒書画作品展



A4チラシ

## 記憶写真展 —お父さんの撮った写真、面白いものが写ってますね

### 特集展示 「秋岡芳夫全集1—秋岡芳夫とKAKの写真」

会期:2013年2月16日(土)~3月24日(日) 32日間

会場:展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール

主催:(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

協力:目黒区めぐろ歴史資料館

入場者数:4,007人

担当学芸員:山田敦雄(特集展示:降旗千賀子)

同時開催:ワークショップ春「写真と遊ぶ」



失われた農村、埋め立てられた川、消えた街角、人々の生活に溶け込んでいたランドマーク、そして祭礼の賑わい…。専門家ではない、ごく普通の人々がそんな情景を自分たち自身で撮影してアルバムにおさめた写真には、それらをめぐる人々の過ごしてきた歴史と結びついたさまざまな言説—物語を、強く記憶に繋ぎとめる力が宿っている。

本展では、そんな「普通の人々の写真」をはじめとする、「写真による作品」であることを意識していない、ある意味純粋な写真の数々をとりあげた。

目黒区めぐろ歴史資料館には、主として大正末期から1970年代に至る無数の写真が所蔵されている。これらは家族の記憶と結びついていると同時に、農村から近郊住宅地へと移り変わり、さらに商業地域が展開されたこの街の姿を伝えている。また、かつて広報写真として撮影された写真も、その役割を終えた今では、撮影当時の意図とは別に、豊かな歴史的イメージを伝えており、今では「普通の人々の写真」と連続したものと見ることが出来るものも少なくない。

本展では、目黒区めぐろ歴史資料館の協力により、資料館が保存している多数の写真の一部を新たに大小のサイズにプリントアウトした。これらを、「ランドマーク」「交通機関」「道」「商店街」「家族」などのテーマに沿って分類・構成し、インスタレーションとして展示し、さらに、目黒に永く住んだデザイナー・秋岡芳夫とそのデザイン事務所「KAK」によって撮影された写真を「特集展示」した。

また、会期中は「写真の力」を大きなテーマに今では失われつつある「銀鉛写真」の現像焼き付け体験をはじめ写真のワークショップを開催した。

#### ●ミュージアムシート [003-130216]

サイズ:A4、4ページ

内容:秋岡芳夫全集について | 秋岡芳夫とKAKの写真 | (降旗千賀子 文・編)

#### ●広報印刷物

ポスター:B3/チラシ:A4 デザイン:山田敦雄

#### ●関連催事

\*ワークショップ春は教育普及の項参照(p.69-70)

## 出品資料リスト 記憶写真展

\*P「所蔵作品による構成」とQ「映像による構成」以外の出品資料は、すべて目黒区めぐる歴史資料館所蔵。

No.	撮影場所	撮影年	No.	撮影場所	撮影年
<b>A 都市と農村</b>			7	(目黒区内)	1963(昭和38)年
1	碑文谷(高木神社から円融寺方面)	1934(昭和9)年	8	目黒川	1967(昭和42)年
2	碑文谷(高木神社から円融寺方面)	1934(昭和9)年	9	目黒川(目黒新橋から)	1961(昭和36)年
3	碑文谷(円融寺付近)	1953(昭和28)年頃	10	目黒川(染物洗い)	1960(昭和35)年
4	碑文谷(円融寺付近)	1953(昭和28)年頃	11	(目黒区内)	1964(昭和39)年
5	碑文谷付近	1937(昭和12)年頃	12	都立大学駅周辺	1960(昭和35)年
6	碑文谷(サレジオ教会付近)	1933(昭和8)年	13	恵比寿駅周辺(恵比寿麦酒工場)	1964(昭和39)年
7	(目黒区内)	1962(昭和37)年	14	(目黒区内)	1964(昭和39)年
8	(目黒区内)	1966(昭和41)年	15	(目黒区内)	1963(昭和38)年
9	(目黒区内)	1962(昭和37)年	16	上目黒付近(アメリカンスクール=現・目黒区総合庁舎所在地)	1963(昭和38)年
10	(目黒区内)	1966(昭和41)年頃	17	(目黒区内)	1950年代後半
11	(目黒区内)	1964(昭和39)年	18	中目黒・ガスタンク (現・中目黒大使公邸所在地)	1962(昭和37)年
12	(目黒区内)	1963(昭和38)年	19	中目黒・ガスタンク (現・中目黒大使公邸所在地)	1962(昭和37)年
13	(目黒区内)	1961(昭和36)年	20	中目黒・ガスタンク (現・中目黒大使公邸所在地)	1962(昭和37)年
14	(目黒区内)	1968(昭和43)年	21	碑文谷八幡神社前・立会川	1962(昭和37)年頃
15	緑が丘付近	1965-68(昭和40-43)年頃	22	碑文谷八幡神社前・立会川	1962(昭和37)年頃
16	(目黒区内)	1963(昭和38)年	23	都立大学駅周辺	1963(昭和38)年
17	碑文谷付近	1981(昭和56)年頃	24	(目黒区内)	1950年代後半
18	(目黒区内)	1963(昭和38)年	25	(目黒区内)	1950年代後半
19	(目黒区内)	1955(昭和30)年頃	26	都立大学駅周辺	1961(昭和36)年頃
20	(目黒区内)	1962(昭和37)年	27	都立大学駅周辺	1961(昭和36)年頃
<b>B 昭和29年の色</b>			<b>D 人々と駅</b>		
1	恵比寿駅付近	1954(昭和29)年	1	目黒駅	1964(昭和39)年
2	恵比寿駅付近	1954(昭和29)年	2	目黒駅	1964(昭和39)年
3	渋谷駅前	1954(昭和29)年	3	目黒駅	1964(昭和39)年
4	渋谷駅前	1954(昭和29)年	4	都立大学駅	1961(昭和36)年頃
5	渋谷駅前(ハチ公前)	1954(昭和29)年	5	目黒駅(東側ロータリー)	1967(昭和42)年頃
6	渋谷駅前(ハチ公前)	1954(昭和29)年	6	都立大学駅	1961(昭和36)年頃
7	山手通り目黒橋付近	1954(昭和29)年	7	緑が丘駅	1966(昭和41)年頃
8	山手通り目黒橋付近	1954(昭和29)年	8	目黒駅(東口)	1965(昭和40)年
9	山手通り目黒橋付近	1954(昭和29)年	9	目黒駅(東口)	1965(昭和40)年
10	上目黒六丁目停留所付近	1954(昭和29)年	10	洗足駅	1965(昭和40)年
11	上目黒六丁目停留所付近	1954(昭和29)年	11	緑が丘駅	1966(昭和41)年頃
<b>C 街の表情</b>			12	国電・東急目黒駅(左奥に恵比寿麦酒工場)	1968(昭和43)年頃
1	碑文谷(高木神社前)	1933(昭和8)年	13	目蒲線目黒駅	1991(平成3)年
2	碑文谷八幡神社	1932(昭和7)年	14	目蒲線目黒駅	1991(平成3)年
3	碑文谷(円融寺付近)	1933(昭和8)年	15	目蒲線目黒駅	1991(平成3)年
4	碑文谷付近	1933(昭和8)年	16	目黒駅(東口)	1981(昭和56)年
5	碑文谷(高木神社付近)	1937(昭和12)年	17	目蒲線目黒駅	1992(平成4)年
6	碑文谷付近	1937(昭和12)年頃			

No.	撮影場所	撮影年
18	洗足駅	1965(昭和40)年頃
19	学芸大学駅(東口)	1960(昭和35)年頃
20	西小山駅	1960(昭和35)年頃

## E 鉄道のある風景

1	東横線	1960(昭和35)年
2	東横線(鷹番周辺 高架線切替前日)	1969(昭和44)年
3	東横線(碑文谷公園周辺、高架線切替前日)	1969(昭和44)年
4	東横線(都立大学・祐天寺間)	1969(昭和44)年
5	東横線とトロリーバス(中目黒周辺)	1963(昭和38)年
6	東横線(碑文谷周辺)	1962(昭和37)年
7	東横線(都立大学駅周辺)	1961(昭和36)年頃
8	東横線(都立大学駅周辺)	1961(昭和36)年頃
9	東横線(碑文谷周辺)	1970(昭和45)年
10	東横線(都立大学駅周辺)	1966(昭和41)年
11	東横線(碑文谷周辺)	1958(昭和33)年
12	東横線(都立大学駅周辺)	1961(昭和36)年頃
13	東横線(都立大学駅周辺)	1961(昭和36)年頃
14	東横線(都立大学駅周辺)	1961(昭和36)年頃
15	東横線(槍が崎付近)	1950年代前半
16	東横線(都立大学駅周辺)	1961(昭和36)年

## F 働く人々

1	(目黒区内)	1960(昭和35)年
2	(目黒区内)	1960(昭和35)年
3	東京都中央卸売市場荏原分場	1961(昭和36)年頃
4	東京都中央卸売市場荏原分場	1961(昭和36)年頃
5	東京都中央卸売市場荏原分場	1961(昭和36)年頃
6	東京都中央卸売市場荏原分場	1961(昭和36)年頃
7	東京都中央卸売市場荏原分場	1961(昭和36)年頃
8	東京都中央卸売市場荏原分場	1961(昭和36)年頃
9	東京都中央卸売市場荏原分場	1961(昭和36)年頃
10	東京都中央卸売市場荏原分場	1961(昭和36)年頃
11	東京都中央卸売市場荏原分場	1961(昭和36)年頃
12	東京都中央卸売市場荏原分場	1961(昭和36)年頃
13	東京都中央卸売市場荏原分場	1961(昭和36)年頃
14	東京都中央卸売市場荏原分場	1961(昭和36)年頃
15	東京都中央卸売市場荏原分場	1961(昭和36)年頃
16	東京都中央卸売市場荏原分場	1961(昭和36)年頃
17	東京都中央卸売市場荏原分場	1961(昭和36)年頃
18	東京都中央卸売市場荏原分場	1961(昭和36)年頃
19	(目黒区内)	1965(昭和40)年
20	(目黒区内)	1965(昭和40)年
21	(目黒区内)	1965(昭和40)年
22	(目黒区内)	1968(昭和43)年

No.	撮影場所	撮影年
23	(目黒区内)	1968(昭和43)年
24	(目黒区内)	1968(昭和43)年

## G 学校の子どもたち

1	目黒区立宮前小学校	1967(昭和42)年
2	(目黒区内)	1961(昭和36)年
3	(目黒区内)	1961(昭和36)年
4	目黒区立宮前小学校付近	1965(昭和40)年
5	目黒区立宮前小学校付近	1965(昭和40)年
6	目黒区立宮前小学校	1969(昭和44)年
7	目黒区立宮前小学校(G-1と同じ)	1967(昭和42)年
8	目黒区立宮前小学校	1966(昭和41)年頃
9	目黒区立宮前小学校(父親参観日)	1968(昭和43)年
10	目黒区立宮前小学校(父親参観日)	1968(昭和43)年
11	目黒区立宮前小学校(父親参観日)	1968(昭和43)年
12	目黒区立宮前小学校	1966(昭和41)年頃
13	目黒区立宮前小学校	1969(昭和44)年
14	目黒区立宮前小学校	1969(昭和44)年
15	目黒区立宮前小学校	1969(昭和44)年

## H 外で遊ぶ子どもたち

1	(目黒区内)	1965(昭和40)年
2	(目黒区内)	1966(昭和41)年
3	(目黒区内)	1963(昭和38)年
4	目黒区立宮前小学校付近	1964(昭和39)年
5	(目黒区内)	1968(昭和43)年
6	(目黒区内)	1966(昭和41)年頃
7	(目黒区内)	1961(昭和36)年頃
8	(目黒区内)	1963(昭和38)年
9	(目黒区内)	1961(昭和36)年頃
10	(目黒区内)	1964(昭和39)年
11	(目黒区内)	1964(昭和39)年

## I 夕方の光景

1	(目黒区内)	1961(昭和36)年
2	(目黒区内)	1963(昭和38)年
3	(目黒区内)	1961(昭和36)年
4	世田谷区・奥沢駅付近	1968(昭和43)年
5	世田谷区・奥沢駅付近	1968(昭和43)年
6	世田谷区・奥沢駅付近	1968(昭和43)年
7	世田谷区・奥沢駅付近	1968(昭和43)年
8	世田谷区・奥沢駅付近	1968(昭和43)年
9	世田谷区・奥沢駅付近	1968(昭和43)年
10	世田谷区・奥沢駅付近	1968(昭和43)年
11	世田谷区・奥沢駅付近	1968(昭和43)年

No.	撮影場所	撮影年
12	世田谷区・奥沢駅付近	1968(昭和43)年
13	世田谷区・奥沢駅付近	1968(昭和43)年
14	世田谷区・奥沢駅付近	1968(昭和43)年
15	世田谷区・奥沢駅付近	1968(昭和43)年
16	世田谷区・奥沢駅付近	1968(昭和43)年
17	世田谷区・奥沢駅付近	1968(昭和43)年
18	世田谷区・奥沢駅付近	1968(昭和43)年

## J 雪と雨

1	洗足駅	1955(昭和30)年頃
2	洗足駅	1955(昭和30)年頃
3	目黒駅前	1950(昭和25)年
4	洗足駅	1955(昭和30)年頃
5	目黒権之助坂	1954(昭和29)年
6	目蒲線目黒駅	1952(昭和27)年
7	碑文谷付近	1980年代前半
8	碑文谷八幡神社	1954(昭和29)年
9	碑文谷付近	1981(昭和56)年頃
10	碑文谷付近	1981(昭和56)年頃
11	碑文谷付近	1981(昭和56)年頃
12	八雲付近(呑川)	1965(昭和40)年
13	八雲付近(呑川)	1965(昭和40)年
14	八雲付近(呑川)	1965(昭和40)年
15	八雲付近(呑川)	1965(昭和40)年
16	八雲付近(呑川)	1965(昭和40)年
17	八雲付近(呑川)	1965(昭和40)年
18	八雲付近(呑川)	1965(昭和40)年
19	八雲付近	1965(昭和40)年
20	八雲付近	1965(昭和40)年

## K 祭り

1	目黒新橋付近を通過する神輿	1937(昭和12)年頃
2	碑文谷八幡神社例祭	1931(昭和6)年
3	碑文谷八幡神社例祭	1931(昭和6)年
4	碑文谷八幡神社例祭	1931(昭和6)年
5	碑文谷八幡神社例祭(子ども神輿・山車)	1965(昭和40)年頃
6	碑文谷八幡神社例祭(子ども神輿・山車)	1965(昭和40)年頃
7	碑文谷八幡神社例祭(子ども神輿・山車)	1965(昭和40)年頃
8	碑文谷八幡神社例祭(子ども神輿・山車)	1965(昭和40)年頃
9	碑文谷八幡神社例祭(子ども神輿・山車)	1965(昭和40)年頃
10	碑文谷八幡神社例祭(子ども神輿・山車)	1965(昭和40)年頃
11	碑文谷八幡神社例祭(子ども神輿・山車)	1965(昭和40)年頃
12	碑文谷八幡神社例祭(子ども神輿・山車)	1965(昭和40)年頃
13	碑文谷八幡神社例祭(子ども神輿・山車)	1965(昭和40)年頃
14	碑文谷八幡神社例祭(子ども神輿・山車)	1965(昭和40)年頃
15	碑文谷八幡神社例祭の翌朝	1965(昭和40)年

No.	撮影場所	撮影年
L	商店街	
1	小金井付近	不明
2	足立区粟原付近	1968(昭和43)年
3	都立大学駅周辺(平町商店街)	1961(昭和36)年頃
4	西小山駅周辺(平和通商店街)	1968(昭和43)年
5	西小山駅周辺(平和通商店街)	1968(昭和43)年
6	東大前駅付近(現・駒場東大前駅付近)	1960年代
7	大岡山商店街	1981(昭和56)年
8	都立大学駅周辺	1961(昭和36)年
9	都立大学駅周辺	1961(昭和36)年頃
10	都立大学駅周辺	1961(昭和36)年
11	都立大学駅周辺	1963(昭和38)年
12	世田谷区尾山台付近	1963(昭和38)年
13	台東区浅草橋付近	1964(昭和39)年
14	台東区浅草橋付近	1964(昭和39)年
15	台東区浅草橋付近	1964(昭和39)年
16	台東区浅草橋付近	1964(昭和39)年
17	台東区浅草橋付近	1964(昭和39)年
18	台東区浅草橋付近	1964(昭和39)年
19	台東区浅草橋付近	1964(昭和39)年
20	台東区浅草橋付近	1964(昭和39)年
21	台東区浅草橋付近	1964(昭和39)年
22	台東区浅草橋付近	1964(昭和39)年
23	台東区浅草橋付近	1964(昭和39)年
24	台東区浅草橋付近	1964(昭和39)年
25	台東区浅草橋付近	1964(昭和39)年
26	台東区浅草橋付近	1964(昭和39)年
27	台東区浅草橋付近	1964(昭和39)年
28	台東区浅草橋付近	1964(昭和39)年
29	台東区浅草橋付近	1964(昭和39)年
30	台東区浅草橋付近	1964(昭和39)年

## M 工事中

1	目黒通り・首都高速目黒線(白金幼稚園付近)	1968(昭和43)年
2	都立大学駅前立体交差工事	1961(昭和36)年頃
3	都立大学駅前立体交差工事	1961(昭和36)年頃
4	都立大学駅前立体交差工事	1961(昭和36)年頃
5	都立大学駅前立体交差工事	1961(昭和36)年頃
6	目黒駅ビル工事	1966(昭和41)年
7	目黒駅ビル工事(交番付近)	1966(昭和41)年
8	東横線・目黒通り交差逆転工事	1960(昭和35)年頃
9	呑川架橋工事(畑中橋または土呂橋)	1966(昭和41)年頃
10	権之助坂バイパス工事	1968(昭和43)年
11	空川・環状六号線工事	1963(昭和38)年
12	環状六号線(山手通り)・246号線立体交差工事	1963(昭和38)年

No.	撮影場所	撮影年	No.	撮影場所	撮影年
13	呑川護岸工事	1964(昭和39)年	8	中目黒交差点付近(トロリーバス)	1961(昭和36)年頃
14	環状七号線・目黒通り立体交差工事 (柿ノ木坂陸橋)	1963(昭和38)年	9	大橋付近(山手通り・246号線立体交差点)	1965(昭和40)年
15	環状七号線・目黒通り立体交差工事 (柿ノ木坂陸橋)	1963(昭和38)年	10	小金井付近	不明
16	環状七号線・目黒通り立体交差工事 (柿ノ木坂陸橋)	1963(昭和38)年	11	大橋付近立体交差点	1965(昭和40)年
17	環状七号線・目黒通り立体交差工事 (柿ノ木坂陸橋)	1963(昭和38)年	12	大橋付近立体交差点	1965(昭和40)年
18	環状七号線・目黒通り立体交差工事 (柿ノ木坂陸橋)	1963(昭和38)年	13	大橋付近	1970(昭和45)年
19	胸沢通り新道坂トンネル撤去工事	1963(昭和38)年	14	祐天寺駅前(東急バス)	1960(昭和35)年頃
20	三田通り・目黒駅前拡幅工事	1968(昭和43)年	15	目黒駅周辺	1965(昭和40)年頃
21	環状七号線・目黒通り立体交差工事 (柿ノ木坂陸橋)	1963(昭和38)年	16	(トロリーバス)	不明
22	(目黒区内)	1966(昭和41)年	17	大橋付近(「玉電(東急多摩川線)」)	1962(昭和37)年頃
23	(目黒区内)	1966(昭和41)年	18	目黒駅周辺(権之助坂)	1968(昭和43)年
24	環状七号線・目黒通り立体交差工事 (柿ノ木坂陸橋)	1963(昭和38)年	19	目黒駅周辺(廃止日の都電)	1967(昭和42)年
25	(目黒区内)	1966(昭和41)年	20	都電目黒駅前停留所	1966(昭和41)年頃
26	環状七号線・目黒通り立体交差工事 (柿ノ木坂陸橋)	1963(昭和38)年	21	小金井付近	不明
27	都立大学駅前立体交差工事	1963(昭和38)年	22	祐天寺駅周辺(サカエ通り付近)	1959(昭和34)年
28	都立大学駅前立体交差工事	1963(昭和38)年	23	台東区浅草橋付近	1964(昭和39)年
29	環状七号線・目黒通り立体交差工事 (柿ノ木坂陸橋)	1963(昭和38)年	○ 道行く人々		
30	渋谷駅付近高速道路工事	1963(昭和38)年	1	目黒区目黒・馬喰坂	1962(昭和37)年
31	渋谷駅付近高速道路工事	1963(昭和38)年	2	(目黒区内)	1962(昭和37)年
32	渋谷駅付近高速道路工事	1963(昭和38)年	3	呑川流域	1966(昭和41)年
33	渋谷駅付近高速道路工事	1963(昭和38)年	4	呑川流域	1966(昭和41)年
34	渋谷駅付近高速道路工事	1963(昭和38)年	5	都立大学駅周辺	1961(昭和36)年頃
35	渋谷駅付近高速道路工事	1963(昭和38)年	6	都立大学駅周辺	1961(昭和36)年頃
36	渋谷駅付近高速道路工事	1963(昭和38)年	7	川崎市内	1964(昭和39)年
37	渋谷駅付近高速道路工事	1963(昭和38)年	8	呑川流域	1966(昭和41)年
38	渋谷駅付近高速道路工事	1963(昭和38)年	9	碑文谷(サレジオ教会付近)	1961(昭和36)年
39	渋谷駅付近高速道路工事	1963(昭和38)年	10	(目黒区内)	1963(昭和38)年
40	渋谷駅付近高速道路工事	1963(昭和38)年	11	(目黒区内)	1961(昭和36)年
41	渋谷駅付近高速道路工事	1963(昭和38)年	12	胸沢通り槍が崎付近(新道坂)	1963(昭和38)年
42	渋谷駅付近高速道路工事	1963(昭和38)年	13	八雲(氷川神社前)	1964(昭和39)年
43	渋谷駅付近高速道路工事	1963(昭和38)年	14	(目黒区内)	1964(昭和39)年
N 交通			15	大岡山駅周辺(移動芝居の前で)	1952-53(昭和27-28)年頃
1	目黒通り	1964(昭和39)年	16	西小山商店街	1950年代
2	都電(目黒駅駅前付近)	1960(昭和35)年頃			
3	都電目黒駅前停留所	1961(昭和36)年			
4	柿の木坂立体交差点	1970(昭和45)年			
5	八雲付近	1964(昭和39)年			
6	(目黒区内)	1950年代後半			
7	柿の木坂立体交差点	2000(平成12)年			

No.	作品名	作家名	作成年	サイズ(cm)	技法・素材
<b>P 所蔵作品による構成</b>					
1	プチダンケルクの看板のあるキャバレー(居酒屋)、コンティ河岸通り3番地	ウージェーヌ・アジェ	1927年(1977年 ガスマンによるプリント)	23.0×17.0	写真・紙
2	イージーと鏡、ポートベロー通り'88	高木由利子	1988年	43.7×35.3	写真・紙
3	東京の太陽3(オリジナルプリント・第5セット)	山中信夫	1982年	30.5×25.4 (7枚組より5点)	ピンホール写真・紙
4	写真の写真	高松次郎	1998年	45.5×55.7 (45枚組より5点)	写真・紙
<b>Q 映像による構成</b>					
1	宮崎敏子の写真による588のイメージ	目黒区美術館制作	DVD(約30分)		

**出品リスト 特集展示「秋岡芳雄全集1—秋岡芳雄とKAKの写真」**

秋岡芳夫、KAK(河瀬之助、秋岡芳夫、金子至)撮影 写真アルバムより 1950~70年代

1	写真アルバム「物」より	31点
2	写真アルバム「木の総て」より	21点
3	写真アルバム「京都・奈良」より	17点
4	写真アルバム「奈良の道」より	18点
5	写真アルバム「KAK」より	45点
6	写真アルバム「KAK-2」より	14点
7	写真アルバム「目・鼻・口」より	39点
8	写真アルバム「機械彫刻」より	118点
9	写真アルバム「家族」より	26点
10	写真アルバム「紙工作」より	93点
11	写真・写真アルバム「道具」より	8点

\*所蔵先はすべて個人蔵



A4チラシ



ミュージアムシート [003]

## 佐脇健一展 未来の記憶

会期：2013年4月3日(水)～6月9日(日) 59日間

会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ

主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館、佐脇健一展実行委員会

協賛：有限会社 共済企画センター

協力：ベイスギャラリー

巡回：大分市美術館[2012年5月18日(金)～2012年6月8日(金)]

入場者数：3,257人

担当学芸員：矢内みどり、和田佐知子



佐脇健一(1949年、大分県生まれ)は、多様な素材やメディアを駆使し風景を生み出す彫刻家である。東京芸術大学大学院修了後、一貫して風景彫刻に取り組み、独自の小宇宙を出現させてきた。作家は、風化して廃墟となった近代産業遺産や最新テクノロジーを題材に、物質文明に対するアイロニーを、ものの生成と喪失、時間と人間のかかわりといった普遍的命題に置き換えて提示している。初期の代表作《表相―炉心の構造No.1》は、当時最先端エネルギーとして期待されていた原発施設に対する疑問符として、高く評価された。佐脇は長く個展形式での発表を避けており、本展が東京では初めての大規模な回顧展となった。展覧会では、大型インスタレーションをはじめ、立体、フォトドローイング、映像、ウッドワークなど約130点によって、佐脇の初期から最新の作品まで包括的に紹介した。また本展では、佐脇の彫刻作品である《ボルトドッグ》を目黒区美術館及びめぐろパーシモンホール内に設置し、展覧会への呼び水とした。

### ●カタログ

サイズ：26.5×19.5cm、112ページ

デザイン：廣瀬 剛

発行：grambooks

印刷：佐伯印刷株式会社

内容：

ごあいさつ | 佐脇健一序論 未来の記憶のために(菅 章) | 図版 Installation Iron Bronze Wood Work Photo Drawing | 未来の記憶を超えて 佐脇健一展のために(矢内みどり) | 作品リスト | プロフィール

### ●広報印刷物

ポスター：B2/チラシ：A4

### ●関連催事

1. 対談：建畠哲(京都市立芸術大学長・埼玉県立近代美術館長)×佐脇健一  
5月4日(土) 14:00～15:30/参加者：41名
2. 佐脇健一によるギャラリー・トーク  
5月5日(日) 10:00～/参加者：27名
3. ワークショップ「箱の中の小さな世界」  
5月5日(日) 13:00～16:30/講師：佐脇健一/参加者：31名
4. 担当学芸員によるギャラリー・トーク  
5月11日(土)、6月2日(日) 14:00～15:00/参加者：計21名

### ●主要関連記事

1. 「"風景"と"時間"を彫刻する佐脇健一の[小宇宙]」『週刊新潮』 4月4日
2. 「無限の時空 人類の原点問う」『東京新聞』 4月26日
3. 「美術館へ行こう」東京MXテレビ 5月16日(放映)



## 出品リスト

No.	作品名	サイズ(縦×横×高/cm)	寸法(cm)	技法・材質
1	Landmark 2012	600.0×400.0×200.0	2012	ミクストメディア
2	Wing Gate	819.0×819.0×270.0	2009	ミクストメディア
3	Reminiscence	5分10秒	2008	ビデオ・インスタレーション
4	Album	4分50秒	2012	ビデオ・インスタレーション
5	空間の記憶 2012	364.0×364.0×270.0	2012	ミクストメディア
6	Landscape—表相(1988—Ⅱ)	149.0×102.0×84.0	1988	鉄
7	Landscape—表相(1993—Ⅰ)	146.7×98.0×85.0	1993	鉄
8	Landscape—表相(1988—Ⅰ)	156.0×61.0×82.0	1991	鉄
9	Landmark 2011	160.0×120.0×64.0	2011	鉄、砂
10	Landscape—黄土	140.0×70.0×110.0	1998	鉄、砂
11	Landscape—表相(1993—Ⅱ)	186.0×51.0×80.0	1993	鉄
12	Landscape Seal	170.0×26.0×40.0	2011	鉄
13	Landscape Seal 2013-1	103.0×56.0×128.0	2013	鉄、砂
14	Ruins—黒い大地 No.1	132.0×93.0×96.0	2009	鉄、砂
15	Landscape(1987—Ⅰ)	155.0×88.0×86.0	1987	鉄
16	表相—炉心の構造 No.1	83.0×83.0×49.0	1989	鉄、木
17	Iron Man 2012	200.0×160.0×450.0	2012	鉄
18	Landmark 2011-2	120.0×35.0×37.0	2011	鉄、砂
19	Iron Land—01	23.5×27.5×24.0	2009	鉄
20	Iron Land—02	45.0×45.0×10.5	2009	鉄
21	Iron Land—03	20.0×22.0×17.0	2009	鉄
22	Iron Land—05	27.2×7.6×16.0	2009	鉄
23	Iron Land—07	43.0×5.5×17.0	2009	鉄
24	Landscape Small Ruins I -001	17.5×10.0×6.0	2009	鉄
25	Landscape Small Ruins I -004	12.0×11.0×7.5	2009	鉄
26	Landscape Heights I -003	11.5×7.7×4.0	2009	鉄
27	川沿いのミュージアム	40.0×35.0×24.0	2013	ブロンズ
28	丘の上のミュージアム	57.0×24.0×42.0	2012	ブロンズ
29	キューボラの見える風景	57.0×33.0×36.0	2012	ブロンズ
30	Landscape Seal—2	104.0×17.0×17.2	2012	ブロンズ
31	Landscape-2	116.0×72.0×86.5	1985	ブロンズ、石膏、鉄
32	Landscape-4	97.0×59.0×91.0	1985	ブロンズ、石膏、鉄
33	Landscape-1	52.0×65.0×114.0	1985	ブロンズ、鉄
34	Landscape—夏の朝	69.0×19.0×33.5	2009	ブロンズ、木
35	Landscape—沈黙	75.0×18.0×13.5	2009	ブロンズ
36	丘の上の風景—給水塔	30.0×28.0×28.0	2009	ブロンズ、鉄
37	丘の上の風景—鉄塔	30.0×28.0×28.0	2009	ブロンズ、鉄
38	Landscape-Heights MB-S001	145.6×6.0×123.1	2011	ブロンズ
39	Landscape-Heights SB-004	14.5×10.0×14.5	2011	ブロンズ
40	丘の上の小さな風景 No.1	20.0×20.0×11.0	2009	ブロンズ、石、鉄
41	丘の上の小さな風景 No.2	30.0×16.0×18.5	2009	ブロンズ、石、鉄
42	丘の上の小さな風景 No.3	18.0×18.0×11.0	2009	ブロンズ、石、鉄
43	丘の上の小さな風景 No.4	10.0×10.0×10.5	2009	ブロンズ、石、鉄
44	Landscape-Heights TS-001	32.0×5.0×9.0	2012	ブロンズ、石
45	Landscape-Heights TS-004	27.0×5.5×9.0	2012	ブロンズ、石
46	Landscape-Heights TS-005	19.0×7.5×8.5	2012	ブロンズ、石
47	Landscape-Heights TS-006	10.0×10.0×11.0	2012	ブロンズ、石

No.	作品名	サイズ (縦×横×高/cm)	寸法 (cm)	技法・材質
48	Landscape-Heights TS-007	11.0×11.0×9.0	2012	ブロンズ、石
49	Landscape-Heights TS-008	19.0×5.5×6.0	2012	ブロンズ、石
50	Landscape-Heights TS-010	12.0×18.0×10.0	2012	ブロンズ、石
51	Landscape-Heights SSB-05	12.5×9.6×16.8	2011	ブロンズ、写真、アクリルボックス
52	Landscape-Heights SSB-06	12.5×9.6×16.8	2011	ブロンズ、写真、アクリルボックス
53	106Days	185.0×19.0×189.0	2012	木、写真
54	Landscape Red Landmark CB-L001	60.0×17.0×30.0	2009	ミクストメディア
55	Landscape Red Landmark CB-L002	60.0×17.0×30.0	2009	ミクストメディア
56	Landscape Red Landmark CB-L003	60.0×17.0×30.0	2009	ミクストメディア
57	Landscape Ruins CB-L001	60.0×17.0×30.0	2009	ミクストメディア
58	Landscape Ruins CB-L002	60.0×17.0×30.0	2009	ミクストメディア
59	Landscape Ruins CB-M011	45.0×14.0×23.0	2012	ミクストメディア
60	Landscape Ruins CB-M012	45.0×14.0×23.0	2012	ミクストメディア
61	Landscape Ruins CB-L004	60.0×17.0×30.0	2012	ミクストメディア
62	Landscape Ruins CB-L005	60.0×17.0×30.0	2012	ミクストメディア
63	Landscape Ruins CB-L006	60.0×17.0×30.0	2012	ミクストメディア
64	Landscape Ruins CB-LS004	30.0×9.5×15.0	2012	ミクストメディア
65	Landscape Ruins CB-M001	45.0×14.0×23.0	2011	ミクストメディア
66	Landscape Ruins CB-M002	45.0×14.0×23.0	2011	ミクストメディア
67	Landscape Ruins CB-M003	45.0×14.0×23.0	2011	ミクストメディア
68	Landscape Ruins CB-M004	45.0×14.0×23.0	2011	ミクストメディア
69	Landscape Ruins CB-M006	45.0×14.0×23.0	2011	ミクストメディア
70	Landscape Ruins CB-M008	45.0×14.0×23.0	2011	ミクストメディア
71	Landscape Ruins CB-M009	45.0×14.0×23.0	2011	ミクストメディア
72	Landscape Ruins CB-LS003	30.0×9.5×15.0	2009	ミクストメディア
73	Landscape Ruins CB-SS001	20.0×9.5×15.0	2009	ミクストメディア
74	Landscape Ruins CB-SS002	20.0×9.5×15.0	2009	ミクストメディア
75	Landscape Ruins CB-SS003	20.0×9.5×15.0	2009	ミクストメディア
76	Landscape Ruins CB-LL004	30.0×14.0×52.0	2012	ミクストメディア
77	Landscape Ruins CB-LL005	30.0×14.0×52.0	2012	ミクストメディア
78	Landscape Ruins CB-LL006	30.0×14.0×52.0	2012	ミクストメディア
79	Landscape Ruins CB-S013	20.0×10.0×30.0	2012	ミクストメディア
80	Landscape Ruins CB-S014	20.0×10.0×30.0	2012	ミクストメディア
81	Landscape Ruins CB-LL001	30.0×14.0×52.0	2009	ミクストメディア
82	Landscape Ruins CB-LL002	30.0×14.0×52.0	2009	ミクストメディア
83	Landscape Ruins CB-LL003	30.0×14.0×52.0	2009	ミクストメディア
84	Landscape Ruins CB-S001	20.0×10.0×30.0	2009	ミクストメディア
85	Landscape Ruins CB-S002	20.0×10.0×30.0	2009	ミクストメディア
86	Landscape Ruins CB-S003	20.0×10.0×30.0	2009	ミクストメディア
87	Landscape Ruins CB-S004	20.0×10.0×30.0	2009	ミクストメディア
88	Landscape Ruins CB-S005	20.0×10.0×30.0	2009	ミクストメディア
89	Landscape Ruins CB-S007	20.0×10.0×30.0	2009	ミクストメディア
90	Landscape Ruins CB-S008	20.0×10.0×30.0	2009	ミクストメディア
91	Landscape Ruins CB-S009	20.0×10.0×30.0	2009	ミクストメディア
92	Landscape Ruins CB-S010	20.0×10.0×30.0	2009	ミクストメディア
93	Landscape Ruins CB-S011	20.0×10.0×30.0	2009	ミクストメディア
94	Landscape Ruins CB-AS001	20.0×7.0×30.0	2012	ミクストメディア
95	Landscape Ruins CB-AS002	20.0×7.0×30.0	2012	ミクストメディア
96	Landscape Ruins CB-AM001	30.0×9.0×42.0	2012	ミクストメディア

No.	作品名	サイズ (縦×横×高/cm)	寸法 (cm)	技法・材質
97	Landscape Ruins CB-AM002	30.0×9.0×42.0	2012	ミクストメディア
98	Landscape Ruins CB-SS006	20.0×9.5×15.0	2009	ミクストメディア
99	Landscape Ruins CB-SS005	20.0×9.5×15.0	2009	ミクストメディア
100	Landscape Ruins CB-M007	45.0×14.0×23.0	2012	ミクストメディア
101	Landscape B-S002	35.0×20.0×17.0	2011	ミクストメディア
102	Landscape Gate 3CB-001	102.0×17.0×30.0	2009	ミクストメディア
103	LandscapeB-S001	35.0×20.0×17.0	2009	ミクストメディア
104	Landscape 34Days	135.0×13.0×72.0	2009	ミクストメディア
105	Landscape Hashima 2001	211.0×9.1×187.2	2009	写真、油彩
106	Landscape Naha 2007	101.4×6.5×97.0	2009	写真、油彩
107	Landscape Teagan 2008	133.4×7.0×98.5	2009	写真、油彩
108	Landscape Tukumi 2000-01	59.1×4.4×59.1	2012	写真、アクリル
109	Landscape Aged Dog Kiyu 2008	101.5×6.5×100.4	2009	写真、油彩
110	Landscape Blast Furnace 2010-02	128.0×6.0×103.6	2011	写真、油彩
111	Landscape Tatekou 2007-02	128.0×6.0×103.6	2011	写真、油彩
112	Landscape Ruins	112.0×6.0×65.0	2010	写真、油彩
113	Landscape Blast furnace 2010-03	98.0×4.4×80.0	2012	写真、アクリル
114	Landscape Mizunoko	126.0×6.0×110.0	2012	写真、アクリル
115	Landscape Hashima 2001 No.3	123.2×6.0×123.2	2012	写真、アクリル
116	Landscape Uluru-Tree	49.2×5.1×88.2	2012	写真、アクリル
117	Landscape Tukumi 2011-1M Limestone Mine	92.2×4.4×29.2	2012	写真、アクリル
118	Landscape Rock Wood 2010 W1	96.2×5.1×42.8	2012	写真、アクリル
119	Landscape Uluru 2010-01	129.0×5.1×60.0	2012	写真、アクリル
120	Landscape Uluru PA-2	171.5×5.1×71.5	2012	写真、アクリル
121	Landscape Hashima 2001 No.4	163.2×6.0×63.2	2012	写真、アクリル
122	60年後の夏 Miyako Isl. 2007	31.6×3.5×23.0	2012	写真、アクリル
123	Landscape Shisaka Isl. 2010-03	222.5×6.4×137.5	2011	写真、油彩
124	Landscape Nuclear Power Plant UK 2003	44.0×5.5×31.5	2009	写真、油彩
125	Landscape Ken Portrait 1954	52.3×5.1×32.8	2008	写真、油彩
126	Portrait Ruby	20.0×3.5×15.0	2010	写真、油彩
127	Landscape Rock Wood 2010 W1s	78.0×45.0×34.0	2012	写真、油彩
128	Landscape Ruins Kusu	42.0×3.5×17.0	2013	写真、油彩



カタログ



A4チラシ

## PAPER —紙と私の新しいかたち—展

会期:2013年7月20日(土)~9月8日(日) 44日間  
 会場:展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール  
 主催:(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館  
 協力:株式会社マルモ印刷、福永紙工株式会社  
 企画協力:萩原 修(デザインディレクター)  
 入場者数:10,676人  
 担当学芸員:佐川夕子

同時開催:ワークショップ夏「PAPER+(プラス)」



1990年の「PAPIER:紙物語」展以来、再び「紙」に焦点をあてた。素材としての紙の魅力、表現の多様性がアートやデザインの手法で引き出された造形作品に着目し、現代を代表するアーティスト、建築家、デザイナーなど6組の作家による作品を、当館の展示空間にあわせたインスタレーションで紹介した。

一番大きな展示室では、三作家が、仕切りを設けず、それぞれの作品の特徴が際立つように展示計画を行った。空中にはトラフ建築設計事務所の《空気の器》約400個が舞い、寺田尚樹は壁沿いに《テラダモケイ 建築模型用添景セット》を100個並べ、中央にはドリルデザインが《geografia》(紙の地球儀)を展開した。他の三作家の展示スペースは、各々の作品世界を尊重する構成をとり、制作途中の作品やアイデアスケッチなどが併せて展示され、鑑賞者の作品理解へとつながっていった。

### 【出品作家】

植原亮輔と渡邊良重[キギ]、鈴木康広、寺田尚樹[テラダモケイ]、トラフ建築設計事務所(鈴野浩一・禿 真哉)、DRILL DESIGN(林 裕輔・安西葉子)

\*会期中1階には、当館所蔵の「画材と素材の引き出し博物館」を展示した。

### ●広報印刷物

ポスター:B3(2種)/チラシ:A4(変形、6種) デザイン:三星安澄

### ●関連催事

1. クロストーク「紙にまつわるうすっぱら〜い話」  
7月21日(日) 15:30~17:00/出演:寺田尚樹、トラフ建築設計事務所、DRILL DESIGN 進行:萩原修(デザインディレクター)/参加者:83名
2. トーク+ワークショップ「紙の葉をつくろう!」  
8月23日(金) 13:00~15:00、15:00~17:00/講師:鈴木康広/参加者:88名
3. 特別ショップOPEN!「工場直売所」  
7月20日(土)~28日(日)、8月24日(土)~9月8日(日)/紙の加工を得意とする福永紙工、特殊印刷が得意なマルモ印刷など工場から生み出された紙製品を直売するショップを美術館内にオープンした。

\*ワークショップ夏は教育普及の項参照(p.70-71)

### ●主要関連記事

1. 「ART+紙に潜む造形美」『読売新聞』 8月19日
2. 「身近な造形材料だからこそ紙との関わり方を改めて探る」『o-cube』 8月1日
3. 「紙の魅力存分に」『朝日新聞』 8月28日
4. 「無限の時空人類の原点問う」『東京新聞』 4月26日
5. 「日曜美術館 アートシーン」NHK 8月11日[放映]

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	展示点数 展示形式	サイズ	製作	所蔵先
1-1	ドリル・デザイン (林 裕輔・安西葉子)	ジオグラフィア 組立式地球儀 [ブランク]	2009年～	紙、印刷加工	3点	各々φ140.0cm、 φ200.0cm、 φ260.0cm	クライアント:geografia 印刷加工: 株式会社マルモ印刷	作家蔵
1-2	ドリル・デザイン (林 裕輔・安西葉子)	ジオグラフィア 組立式地球儀 [ナイト]	2009年～	紙、印刷加工	1点	φ200.0cm	クライアント:geografia 印刷加工: 株式会社マルモ印刷	作家蔵
1-3	ドリル・デザイン (林 裕輔・安西葉子)	ジオグラフィア 組立式地球儀 [3D]	2008年～	紙、印刷加工	1点	φ200.0cm	クライアント:geografia 印刷加工: 株式会社マルモ印刷	作家蔵
1-4	ドリル・デザイン (林 裕輔・安西葉子)	ジオグラフィア 組立式地球儀 [ベーシック]	2013年～	紙、印刷加工	1点	φ200.0cm	クライアント:geografia 印刷加工: 株式会社マルモ印刷	作家蔵
1-5	ドリル・デザイン (林 裕輔・安西葉子)	ジオグラフィア 組立式地球儀 [マテリアル]	2010年～	紙、印刷加工	3点	各φ140.0cm	クライアント:geografia 印刷加工: 株式会社マルモ印刷	作家蔵
1-6	ドリル・デザイン (林 裕輔・安西葉子)	ジオグラフィア 折り畳み式 地球儀[ボヤージュ] (時差、気候、国)	2012年～	紙、印刷加工	6点	各130.0×110.0× 125.0cm(折り畳み 時 140.0×65.0cm)	クライアント:geografia 印刷加工: 株式会社マルモ印刷	作家蔵
1-7	ドリル・デザイン (林 裕輔・安西葉子)	ジオグラフィア 組立式地球儀 [ベーシック]の印刷工程・組み 立て工程 (17行程・18点による展開)	2010年～	紙、印刷加工	18点	17行程		作家蔵
2-1	寺田尚樹	テラダモケイ 建築模型用添景 セット [アクリルボックス100点組]	2008年～	紙、印刷加工、 アクリルボックス	100点	各6.0×6.0×6.0cm (アクリルボックスワ サイズ)		作家蔵
2-2	寺田尚樹	テラダモケイ 建築模型用添景 セット No.1～No.34	2008年～	紙、印刷加工	34点	各17.0×11.0cm (ノパッケージサイズ)		作家蔵
3-1	トラフ建築設計事務所 (鈴野浩一・禿 真哉)	空気の器〈インスタレーション〉	2010年～	紙、印刷加工	約400点 によるイン スタレー ション	各φ19.3cm (平面時)	クライアント: かみの工作所 印刷加工: 福永紙工株式会社	作家蔵
3-2	トラフ建築設計事務所 (鈴野浩一・禿 真哉)	空気の器	2010年～	紙、印刷加工	22点	各φ19.3cm (平面時)	クライアント: かみの工作所 印刷加工: 福永紙工株式会社	作家蔵
3-3	トラフ建築設計事務所 (鈴野浩一・禿 真哉)	空気の器 試作品一式	2010年～	紙、印刷加工	20点		クライアント: かみの工作所 印刷加工: 福永紙工株式会社	作家蔵
4-1	鈴木康広	本の消息	2012年	製本された紙、 コンプレッサー	インスタ レーション			作家蔵
4-2	鈴木康広	波打ち際の本	2012年	製本された紙、 映像、プロジェ クター、ベンチ	インスタ レーション			作家蔵
4-3	鈴木康広	キャベツの器	2004年 created for "Takeo Paper Show 2004: H A P T I C " exhibition, 2004	紙粘土、型押し	インスタ レーション			作家蔵
4-4	鈴木康広	木の葉の座布団	2004年 created for "Takeo Paper Show 2004: H A P T I C " exhibition, 2004	紙、型押し	インスタ レーション			作家蔵
4-5	鈴木康広	ノート、スケッチ		紙、型押し	ノート13 冊、スケッ チ11枚			作家蔵

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	展示点数、 展示形式	サイズ	製作	所蔵先
5-1	西村優子	Sparkle	2004年	和紙	1点	140.0×140.0cm		作家蔵
5-2	西村優子	Stream	2004年	和紙	1点	140.0×140.0cm		作家蔵
5-3	西村優子	Wave	2013年	和紙	1点	100.0×300.0cm (3枚組)		作家蔵
6	渡邊良重と新保智子 [ミキモト]	ビッグネックレス	2006年	紙、アクリル、 ガラスケース	1点	120.0×41.0× 高43.0cm (ガラス ケースのサイズ)		ミキモト蔵
7	植原亮輔と渡邊良重	時間の標本 (インスタレーション)	2007年	書籍(94冊分)、彩色、映像、 プロジェクター、モニター				作家蔵



B3ポスター

## 土屋幸夫展 — 美術家、デザイナー、教育者

会期：2013年10月19日(土)～12月8日(日) 44日間  
 会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ  
 主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館  
 助成：公益財団法人 花王芸術・科学財団  
 入場者数：1,849人  
 担当学芸員：山田敦雄



昭和30年代に学芸大学前に在住しており、目黒区ともゆかりの深い画家、デザイナーの土屋幸夫の多彩な仕事をはじめて本格的に回顧した。

土屋幸夫(1911-1996)は広島県尾道市生まれで、東京高等工芸学校工芸図案科を卒業。はやくから戦前・1930年代の前衛美術に投じてシュールレアリズムの手法による絵画をはじめ多くの作品を残し、戦後も変貌を重ねながら最晩年まで旺盛に制作を続けた。

本展では、まず、60年以上にわたる画家としての足跡を、遺族寄贈の当館所蔵作品を中心に東京国立近代美術館ほか他館所蔵品、作家遺族所蔵品あわせて約80点と作品制作に至るノートや素描類などで回顧した。さらに商業デザイナーとしての仕事を原画や印刷物などの資料類で、美術大学における戦後のデザイン教育の先駆者としての業績を講義ノートやカリキュラム作成資料などで示し、「美術家、デザイナー、教育者」という三部構成とした。また、これらに、作家アトリエに残されていた染器ほかさまざまな身近の品々、知的な興味を範囲を示す書籍、絵画制作やデザインワークに用いられた多様な画材や道具類など、土屋幸夫のイメージを伝える多くのアイテムを加えて、全体として、その人物像の片鱗を活写した。

### ●カタログ

サイズ：21.0×30.0cm、31ページ

デザイン：キガミツツ(森田恭行+高木瑠子)

発行：目黒区美術館

制作：大伸社

内容：

ごあいさつ | 象形と非象形のあいだで—土屋幸夫のメビウスの思考(高島直之) | 分明なる非合理—土屋幸夫のデザイン活動から(森 仁史) | 出品作品図版 | 会場記録 | 展示について(山田敦雄) | 出品作品リスト | 目黒区美術館所蔵土屋幸夫作品 | 土屋幸夫略年譜 | 年譜資料 | 謝辞

### ●広報印刷物

ポスター：B3/チラシ：A4 デザイン：山田敦雄

### ●関連催事

1. 当館学芸員によるギャラリー・トーク

10月27日(日)、11月24日(日) 14:00～15:30/参加者：計14名

## 出品リスト

## 凡例

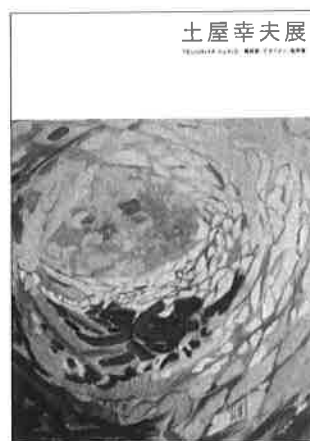
- ・出品番号(No.)、作品名、制作年、素材・技法、サイズ、所蔵先の順に記載した。
- ・技法材料の欄は、絵画の場合、描画材/支持体とし、立体またはオブジェの要素の強い作品は、素材を列挙した。
- ・作品名は所蔵者による呼称を優先した。現時点で確認できなかったものは()内とした。
- ・名称不明の作品について、所蔵者による呼称が明確ではない場合は、「(無題)」とし、作家による作品名「無題」と区別した。

No.	作品名	制作年	素材・技法	サイズ(cm)	所蔵先
1	コンポジション	1930	油彩/キャンバス	46.0×54.0	松戸市教育委員会
2	仮装	1936	油彩/キャンバス	95.0×69.8	個人蔵
3	鬼一人形の行進	1937	油彩/キャンバス	48.5×91.5	個人蔵
4	黒のオブジェ・夜間作業	1970代	シルクスクリーン/紙*1938年制作のオブジェの写真(撮影:阿部展也)をもとに制作されたもの。オブジェ復元とともに展示した。	53.0×40.0	松戸市教育委員会
5	月と娘	1943	油彩/キャンバス	25.5×36.0	東京国立近代美術館
6	老之山陣地ニテ	1945	鉛筆/紙	28.5×30.7	松戸市教育委員会
7	レクイエム-コラージュ	1949-	紙、木、ニスほか	75.3×57.0×3.5	個人蔵
8	〈男〉又は自画像	1952	油彩/キャンバス	45.5×33.5	松戸市教育委員会
9	死の灰	1953-54頃	水彩、クレヨン/紙	51.0×68.9	目黒区美術館
10	死の灰	1954	油彩/キャンバス	59.0×70.7	個人蔵
11	灰	1954	油彩/キャンバス	97.0×127.5	松戸市教育委員会
12	抽象構成	1954	油彩/キャンバス	96.7×125.8	目黒区美術館
13	無題(ドローイング)	1954	木炭/紙	26.4×38.2	松戸市教育委員会
14	無題(ドローイング)	1954	木炭/紙	25.8×34.9	個人蔵
15	壁-パリにて	1955	油彩/キャンバス	57.0×69.0	松戸市教育委員会
16	トレドにて	1955頃	クレヨン、水彩/紙	38.7×54.5	松戸市教育委員会
17	(無題)	1955	油彩/キャンバス	130.5×97.5	個人蔵
18	群像	1955	油彩/キャンバス	97.1×130.4	目黒区美術館
19	自画像	1955	油彩/キャンバス	88.9×63.6	目黒区美術館
20	(無題)	1950年代か	油彩/木(ベニヤ)	62.3×96.6	目黒区美術館
21	二重像(瀬戸と自画像)	1958	油彩/キャンバス	41.0×61.0	個人蔵
22	パッサージュ	1959	油彩/キャンバス	191.0×252.5	目黒区美術館
23	パッサージュ	1960	油彩/キャンバス	177.0×89.0	個人蔵
24	雨雲(尾道)	1962	油彩/キャンバス	61.0×91.5	個人蔵
25	街-ニューヨークにて	1965	油彩、コラージュ(新聞紙)/キャンバス	60.6×50.5	目黒区美術館
26	サグラダ・ファミリア	1965頃	マーカー、鉛筆/紙	24.5×22.5	松戸市教育委員会
27	聖家族	1965頃	クレヨン、水彩/紙	35.0×52.5	松戸市教育委員会
28	乳房のあるチェロ	1968	リトグラフ/紙	42.0×29.5	松戸市教育委員会
29	中空の構成	1970	アクリル/キャンバス、ベニヤ	136.8×136.5×3.0	個人蔵
30	位相	1970年代	アクリル/キャンバス	91.6×45.6	目黒区美術館
31	モビール	1970年代	紙、針金ほか		松戸市教育委員会
32	(無題)	1970年代	コラージュ(サンドペーパー)/紙	48.4×48.4	目黒区美術館
33	(調和をよぎって)	1970年代	鉛筆、インク、水彩、新聞/レイアウト用紙	36.7×48.8	松戸市教育委員会
34	pythagoras's variatIm- II	1970年代	マーカー、鉛筆/紙	27.7×41.5	松戸市教育委員会
35	重なり合って	1975	マーカー/紙	38.0×26.2	松戸市教育委員会
36	アプローチ	1975	マーカー、水彩/紙	52.8×35.2	松戸市教育委員会
37	たての構成・A	1975	アクリル、木	224.0×86.0×4.0	個人蔵
38	(無題)	1970年代	カッティングシート、木	61.0×60.5×5.5	目黒区美術館
39	三つの等面積に囲まれたネガの矢印	1970年代	木、色紙	123.0×123.5×7.7	松戸市教育委員会
40	窓-ベオグラードにて	1971	水彩、鉛筆/紙	46.2×36.3	松戸市教育委員会
41	箱根 '71	1971	水彩/紙	29.9×31.6	目黒区美術館
42	à Nanzenzi	1970年代	鉛筆、水彩/紙	41.0×61.0×30.4	個人蔵



No.	作品名	制作年	素材・技法	サイズ(cm)	所蔵先
43	白の余白	1970年代	鉛筆／紙	18.2×22.9	松戸市教育委員会
44	城—プラハにて	1974	油彩／キャンバス	65.8×50.7	松戸市教育委員会
45	'75 North Alps	1975	水彩、クレヨン／紙	31.8×40.3	目黒区美術館
49	(無題)	1970年代	布／木(ベニヤ)	182.2×182.2×9.2	千葉市美術館
50	76-A	1976	アクリル、木(ベニヤ)	122.0×122.0×6.0	千葉市美術館
51	ピタゴラス図形礼賛	1977	アクリル／キャンバス、木(ベニヤ)	182.5×137.0×4.5	個人蔵
52	無題	1980	ステーン、アクリル、木	122.8×168.6×8.1	個人蔵
53	<人>または自画像	1982	リキテックス、木	186.0×270.0×90.0	千葉市美術館
54	(無題)	1980年代	ステーン、アクリル／木(ベニヤ)	45.5×45.2	目黒区美術館
55	(無題)	1980年代	ステーン、アクリル、木	86.0×194.5×4.5	個人蔵
56	断続	1980年代	ステーン、アクリル、木	270.0×67.0×3.0	個人蔵
57	無題／感いながら	1980年代	水彩、クレヨン／紙	11.4×16.0	松戸市教育委員会
58	自画像	1983	ステーン、アクリル、木	125.0×90.0	個人蔵
59	星座	1983	アクリル／キャンバス	120.0×90.0	個人蔵
60	皿	1984	アクリル／木	97.0×188.0	個人蔵
61	(無題)	1984	油彩、アクリル／木(ベニヤ)	45.3×45.5	目黒区美術館
62	Fugue(フーガ風に)	1985	アクリル／木(ベニヤ)	69.0×69.3	松戸市教育委員会
63	樹景	1986	アクリル／木	44.8×44.7	目黒区美術館
64	(無題)	1986	油彩／キャンバス	50.0×60.5	目黒区美術館
65	(山と流れ)	1988	水彩、クレヨン／紙	40.5×32.0	目黒区美術館
66	残雪	不明	クレヨン、水彩／紙	24.5×35.2	目黒区美術館
67	磐梯山にて	不明	鉛筆、水彩／紙	31.0×41.0	目黒区美術館
68	雪	不明	クレヨン／紙	37.6×53.8	目黒区美術館
69	木立ち	不明	水彩、クレヨン／紙	35.1×41.0	目黒区美術館
70	晩夏	不明	水彩、クレヨン／紙	34.8×41.0	目黒区美術館
71	山	不明	クレヨン、水彩／紙	55.0×38.3	目黒区美術館
72	(無題)	1990	ステーン、アクリル、木	111.0×59.2×2.2	個人蔵
73	解体の季節	1991	アクリル／木(ベニヤ)	98.0×98.0	個人蔵
74	(無題)	1994	レコード、さしがね、紙	51.0×72.8×1.0	目黒区美術館
75	(無題)	1995	ステーン、アクリル、車輪、木	96.9×96.8×6.3	目黒区美術館
76	透視する自我	1995	パステル、水彩／紙	41.6×33.0	松戸市教育委員会
77	ロゴタイプ	1995	アクリル板、レコード盤、紙	50.8×211.0×1.8	松戸市教育委員会

その他、印刷物・版下類ほかデザイン関係資料、講義録など大学教育関係資料、滞仏期資料、画材など身辺資料の展示あり。  
出品No.46-48は都合により出品されていません。



カタログ



A4チラシ

# めぐろの子どもたち展

## 平成25年度目黒区立幼稚園・こども園、小・中学校連合展覧会

会期：2014年1月18日(土)～2月2日(日) 14日間

会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ、  
区民ギャラリー

主催：目黒区立幼稚園・こども園長会、目黒区立小学校長会、  
目黒区立中学校長会、目黒区立特別支援学級設置校長会、  
目黒区教育会、(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館、  
目黒区、目黒区教育委員会

入場者数：9,328人

担当学芸員：和田佐知子



同時開催：米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画作品展

本展は、区立幼稚園・こども園、小学校、中学校(特別支援学級を含む)の幼児・児童・生徒が平成25年度の授業中に創作した作品を展示し、区立学校における美術教育の成果を区民の方々に紹介するとともに、この鑑賞を介して子どもたちの情操を育むことを目的に開催した。

また、同時開催として、米国ジョージア州チェロキー郡の児童・生徒の絵画作品展を開催した。(出品数：3,901点)

### ●広報印刷物

ポスター：B2/チラシ：A4

内容：ごあいさつ(主催者) | 特別支援学級 | 幼稚園・こども園 | 小学校・図工 | 小学校・書写 | 中学校・美術 | 中学校・書写 | 米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画作品展



A4チラシ

# 岡田謙三 & 目黒界隈のモダンな住人たち展

## 特集展示 「秋岡芳夫全集2—童画とこどもの世界」

会期:2014年2月15日(土)~3月30日(日) 38日間  
 会場:展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ  
 主催:(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館  
 入場者数:2,514人  
 担当学芸員:降旗千賀子、山田敦雄、佐川夕子

同時開催:ワークショップ春「色」と「絵具」



戦後ニューヨークに渡り、1950-60年代の抽象表現主義の中で活躍した岡田謙三(1902-1982)は、1929年に目黒区自由が丘にアトリエを構え、そこを拠点として活動した。「鷹番」という地名が物語るように、目黒はもともと將軍の鷹狩の場として知られた、市中から離れた農村地であり、その後、大正時代に開通した東京急行により新しい文化がもたらされ、新興住宅地として発展した地域を有している。特に、自由が丘にはその名前の由来にもなった「自由が丘學園」が1920年代の後半に設立され、同時期にモダンダンスを広めた舞踏家・石井渚による「舞踊詩研究所」が開設されるなど、次第にモダンな街が形成され、1930年以降になると画家や彫刻家、小説家など、新しい考えを持つ文化人が多く移り住むようになった。この頃の岡田のアトリエには、今も近くにアトリエが残る古茂田守介、そして一時期目黒に住んでいた荻須高德、海老原喜之助らがよく訪れていた。本展では、岡田と親交があり、自由が丘に居を構えていた作家を中心に、当館の所蔵作品の中から広く目黒界隈に住む作家たちを取り上げ、「目黒」という地域と作家たちを巡る「文化縁」をさぐった。

さらに、同時に特集展示として「秋岡芳夫全集2—童画とこどもの世界展」を開催した。目黒を拠点として、生涯一貫した考え方によるデザイン運動を発信続けた秋岡芳夫(1920-1997)。昨年度に続く二回目となる今回は、1953年に、金子至、河潤之介と立ち上げた工業デザイングループKAK以前、戦後すぐに活動した日本童画会時代に描いた作品と、終生待ち続けたこどもへの視線を、残された資料の中から紹介した。そして、目黒区のモダンな住人の一人でもある秋岡の、知られざる童画の色彩世界とこどもへの豊かなイメージによる作品も紹介した。

\*会期中1階には当館所蔵の「画材と素材の引き出し博物館」を展示した。

### ●広報印刷物

ポスター:B3/チラシ:A4 デザイン:大伸社

\*ワークショップ春は教育普及の項参照(p.71)

### 出品リスト 「岡田謙三 & 目黒界隈のモダンな住人たち展」

No.	地域名	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)	所属先
<b>■ 1章 岡田謙三と目黒界隈</b>							
1-1	自由が丘	岡田謙三	セーヌ河	1936	油彩・キャンバス	46.0×61.0	目黒区美術館
1-2	自由が丘	岡田謙三	花売り	1936	油彩・キャンバス	65.2×50.1	目黒区美術館
1-3	自由が丘	岡田謙三	幕合	1938	油彩・キャンバス	130.8×97.3	目黒区美術館
1-4	自由が丘	岡田謙三	五人	1949	油彩・キャンバス	202.0×319.2	目黒区美術館
1-5	自由が丘	岡田謙三	竹	1959	油彩・キャンバス	185.5×222.2	目黒区美術館
1-6	自由が丘	岡田謙三	銀	1954~55	油彩・キャンバス	159.5×213.5	目黒区美術館
1-7	自由が丘	岡田謙三	間隔	1958	油彩・キャンバス	202.0×172.0	目黒区美術館
1-8	自由が丘	岡田謙三	雲と子供	1966	油彩・キャンバス	194.5×126.0	目黒区美術館
1-9	自由が丘	岡田謙三	三つの四角形	1970	油彩・キャンバス	206.5×132.0	目黒区美術館
1-10	自由が丘	岡田謙三	エスキース5点	1970~80年代	包装紙、セロテープ など	31.3×31.3~ 151.5×111.5	目黒区美術館
2-1	自由が丘	海老原喜之助	跡	1936	油彩・キャンバス	111.2×144.7	目黒区美術館

No.	地域名	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)	所属先
5-1	大原	井高婦山(初代)	観音経筒水指	1953	染付磁器	φ12.3、h.21.5	目黒区美術館
5-2	大原	井高婦山(二代)	染付武蔵野の囷	1987	染付磁器	φ30.0、h.35.0	目黒区美術館
6-1	柿ノ木坂	宮田武彦	柿の木坂風景	1944	油彩・板、キャンバス	39.5×51.0	目黒区美術館
6-2	柿ノ木坂	宮田武彦	声楽	不詳	油彩・キャンバス	91.0×91.0	目黒区美術館
7-1	平町	赤穴 宏	目黒駅	1950	油彩・キャンバス	72.5×60.5	目黒区美術館
7-2	平町	赤穴 宏	雪の日の目黒太鼓橋	1985	油彩・キャンバス	65.2×80.3	目黒区美術館
7-3	平町	赤穴 宏	作品 (邑)	1961	油彩・キャンバス	145.5×112.0	目黒区美術館
8-1	南	香取正彦	鷹銀蝶文花器	不詳		φ22.5、h.24.0	目黒区美術館
9-1	南	森川 昭	トルソー	不詳	ブロンズ	41.0×73.0×35.0	目黒区美術館
9-2	南	森川 昭	首	不詳	ブロンズ	61.5×17.0×28.0	目黒区美術館
9-3	南	森川 昭	自画像	不詳	油彩・キャンバス	27.3×22.2	目黒区美術館
10-1	碑文谷	古茂田守介	踊子と塑像	1949	油彩・キャンバス	146.0×99.0	目黒区美術館
10-2	碑文谷	古茂田守介	裸婦(一)	1940	油彩・キャンバス	91.0×72.5	目黒区美術館
11-1	原町	岡部繁夫	作品	不詳	油彩・キャンバス	31.9×41.2	目黒区美術館
12-1	五本木	井手宣通	モンマルトル(巴里)	1955	油彩・キャンバス	61.0×73.2	目黒区美術館
12-2	五本木	井手宣通	冬のモンパルナス通り	1955	油彩・キャンバス	46.3×55.0	目黒区美術館
13-1	上目黒	成井弘	上海裏街夜景	1950	油彩・キャンバス	53.3×45.6	目黒区美術館
13-2	上目黒	成井弘	静物	1951	油彩・キャンバス	46.0×53.2	目黒区美術館
14-1	上目黒	鶴岡義雄	海辺	1949	油彩・キャンバス	193.0×131.0	目黒区美術館
15-1	中町	荻須高徳	パリのカフェ	1931	油彩・キャンバス	60.6×72.7	目黒区美術館
15-2	中町	荻須高徳	目黒、大塚山からの風景	1926	油彩・キャンバス	43.5×53.0	目黒区美術館
18-1	不動前	駒井哲郎	夜の中の女	1951	インタリオ・紙	23.0×18.3(IS)	目黒区美術館
18-2	不動前	駒井哲郎	魚又は毒	1962	エッチング・紙	25.9×35.9(IS)	目黒区美術館
18-3	不動前	駒井哲郎	鎮魂歌	1965	エッチング・紙	26.5×21.0(IS)	目黒区美術館
19-3	下目黒	安原喜明	炆器花挿・種の旅	1967	陶器	φ36.0、h.30.0	目黒区美術館
19-1	下目黒	安原喜明	窯変青釉花生	1935頃	陶器	φ28.0、h.37.0	目黒区美術館
19-2	下目黒	安原喜明	五人の少女(5点1組)	1962	陶器	φ11.0-14.0、 h.50.0-51.0	目黒区美術館
20-1	上目黒	槻尾宗一	ユニット花器	1955	鉄	各32.9×18.7	目黒区美術館
20-2	上目黒	槻尾宗一	鉄花器	1957	鉄	39.4×37.4、 h.122.2	目黒区美術館
20-3	上目黒	槻尾宗一	鉄花器	1958	鉄	φ32.4、h.110.0	目黒区美術館
21-1	上目黒	浜口陽三	パリの屋根	1956	カラーメゾチント・紙	14.8×19.9	目黒区美術館
22-1	中目黒	飯田善國	目黒川夜景(1)	1954	油彩・キャンバス	45.5×60.5	目黒区美術館
22-2	中目黒	飯田善國	目黒川夜景(2)	1954~55	油彩・キャンバス	45.8×60.5	目黒区美術館
22-3	中目黒	飯田善國	目黒川夜景(3)	1955	油彩・キャンバス	50.2×65.3	目黒区美術館
22-4	中目黒	飯田善國	目黒川夜景(4)	1953~55	油彩・キャンバス	45.5×60.8	目黒区美術館
23-1	世田谷区 特別出品 等々力	黒田嘉治	猫	1960	ブロンズ	65.0×15.0× h.37.0	個人蔵
23-2	世田谷区 特別出品 等々力	黒田嘉治	少女	1959	ブロンズ	30.0×30.0× h.27.0	個人蔵
23-3	世田谷区 特別出品 等々力	黒田嘉治	コスチューム	1959	ブロンズ	15.0×15.0× h.48.0	個人蔵
参考出品	世田谷区 田園調布	猪熊弦一郎	コンポジション	1958	油彩、グアッシュ、 墨・紙ボード	52.0×77.0	目黒区美術館

No.	地域名	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)	所属先
<b>■ 2章 目黒・モダンダンス</b>							
3-1	自由が丘	須山計一	自画像	1926	油彩・キャンバス	53.0×41.0	目黒区美術館
3-2	自由が丘	須山計一	自由ヶ丘開山 石井漠先生	1955	墨・紙	21.2×18.2	石井漠記念創作 舞踊団
3-3	自由が丘	須山計一	石井漠舞踊研究所	1939	油彩・キャンバス	53.0×65.0	個人蔵
3-4	自由が丘	須山計一	殴られる「彼」衣裳 築地小劇場	1925	インク、水彩・紙	14.5×22.5	目黒区美術館
3-5	自由が丘	須山計一	殴られる「彼」 築地小劇場	1925	インク、水彩・紙	14.5×22.5	目黒区美術館
3-6	自由が丘	須山計一	我が霊の苦悶は極まれり	1923	インク・紙	22.5×16.3	目黒区美術館
4-1	自由が丘	石井漠舞踊団・ 石井漠	「グロテスク」・「マスク」撮影者： 清水真一(島田市名誉市民)	1926	映像		島田市立島田 図書館清水文庫
10-4	碑文谷	古茂田守介	踊り子達	1946	油彩・キャンバス	112.0×146.0	目黒区美術館

### < 2章 その他の資料 >

著者名・資料名・発行等	発行年等	形態	所蔵先
-------------	------	----	-----

#### 石井漠関係の資料

『漠のパフレット』第1輯/石井漠舞踊研究所文藝部	1927.7.1.	雑誌	石井みどり・折田克子舞踊研究所
『漠のパフレット』第2輯/石井漠舞踊研究所文藝部	1928.5.15.(再販)	雑誌	石井みどり・折田克子舞踊研究所
『漠のパフレット』第3輯/石井漠舞踊研究所	(奥付欠損)	雑誌	石井みどり・折田克子舞踊研究所
『漠のパフレット』第4輯/石井漠舞踊研究所	1930.7.1.	雑誌	石井みどり・折田克子舞踊研究所
『舞踊日本』第1号～第10号/舞踊日本社	1933.11.～1934.8.	雑誌	三種町山本ふるさと文化館
『舞踊日本』7月復活号/舞踊日本社	1936.6.15.	雑誌	石井みどり・折田克子舞踊研究所
『舞踊日本』8月号/舞踊日本社	1936.8.1.	雑誌	石井みどり・折田克子舞踊研究所
石井 漠 『舞踊藝術』/玉川学園出版部	1933	書籍	石井みどり・折田克子舞踊研究所
石井 漠 『舞踊の基本と創作』/シンフォニー楽譜出版社	1938	書籍	石井みどり・折田克子舞踊研究所
石井 漠 『随筆 私の顔』/モダン日本社	1940	書籍	三種町山本ふるさと文化館
石井 漠 『世界舞踊藝術史』/玉川学園出版部	1943	書籍	個人蔵
石井 漠 『舞踊さんまい』/右文社	1947	書籍	石井みどり・折田克子舞踊研究所
石井 漠 『私の舞踊生活』/講談社	1951	書籍	個人蔵
山野辺 貴美子 『をどるばか 人間 石井漠』/宮坂出版	1962	書籍	個人蔵

#### 江口隆哉・宮操子関係の資料

『江口隆哉・宮操子』(写真によるパフレット)/江口・宮舞踊研究所	1949	パフレット	個人蔵
『現代舞踊』3月号(第2巻第3号)/現代舞踊社	1954.3.1.	雑誌	石井みどり・折田克子舞踊研究所
『現代舞踊』2(第3巻第1号)/現代舞踊社	1955.2.1.	雑誌	石井みどり・折田克子舞踊研究所
江口隆哉・宮操子舞踊研究所の前で:集合写真	1930～40年代	写真 (画像データ)	大野一雄舞踏研究所
表現主義の影響がみられるモダンダンス(1950年代の大野一雄)	1950年代	写真 (画像データ)	大野一雄舞踏研究所

#### 土方巽関係の資料

『危機に立つ肉体』(土方巽舞踏写真集) 監修:アスベスト館/PARCO出版	1987	書籍	個人蔵
『大野一雄と土方巽の60年代』 編集:溝端俊夫/BankART1929	2005	書籍	個人蔵
『土方巽 Dance Experienceの会 1、2』(復刻版)/ Aiko Nagasawa Publishing	2012	書籍	個人蔵

No.	地域名	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)	所属先
<b>■ 3章 デザインの街・目黒</b>							
24-1	中町	秋岡芳夫	クライスラーラジオNT625 トランジスターラジオ6	1950~60			個人蔵
24-2	中町	秋岡芳夫	セコニックカラーメーター タイプCT2	1950年代			個人蔵
24-3	中町	秋岡芳夫	NT625 トランジスター6 (ラジオ)	1959			個人蔵
24-4	中町	秋岡芳夫	NT730 トランジスター7 (ラジオ)	1961			個人蔵
25-1	柿ノ木坂	豊口克平	スポークチェア	1962			個人蔵
26-1	駒場	柳 宗理	バタフライスツール	1956			個人蔵
27-1	下目黒	山田正吾	東芝電気がま ER-4.5	1955			東芝デザイン センター
27-2	下目黒	山田正吾	書籍				目黒区美術館

### 出品リスト 特集展示「秋岡芳夫全集 2—童画とこどもの世界」

No.	タイトル	制昨年	技法	素材	所蔵
1	『ロクロノガンゴノタメノイショ〜』より	1946	着彩・インク・クレヨン	紙	個人蔵
2	ロクロノガンゴ	1946頃	染色仕上げ	木	個人蔵
3	作品	1946	着彩	紙	個人蔵
4	作品	1946	墨・鉛筆・着彩	紙	個人蔵
5	下絵	1946頃	着彩・鉛筆	和紙	個人蔵
6	『モンシリハカセ』表紙装丁案	1946	着彩	紙	個人蔵
7	『モンシリハカセ』草稿	1946	鉛筆・着彩	紙	個人蔵
8	『太郎のロケット実験室』絵本のための草稿(未完)	1947	着彩	紙	個人蔵
9	《子供創造のえ》	1948	墨・水彩	紙	個人蔵
10	作品	1948	墨・着彩	紙	個人蔵
11	《広場》	1953	着彩	紙	個人蔵
12	《赤い家》	1950代	着彩	紙	個人蔵
13	《ケンカした》	1948	着彩	紙	個人蔵
14	《ケンカした》-2	1948	着彩	紙	個人蔵
15	『世界童話選修 一ばんつよいのはだれだ』表紙原画案1	1950代	着彩・墨	紙	個人蔵
16	『世界童話選修 一ばんつよいのはだれだ』表紙原画案2	1950代	墨・着彩	紙	個人蔵
17	作品(水族館)	1950	着彩	紙	目黒区美術館
18	作品 (飛行かばん)	1948~50代	モノクロプリント	印画紙	個人蔵
19	作品	1950	着彩・クレヨン	紙	個人蔵
20	作品	1950	着彩・クレヨン	紙	個人蔵
21	作品	1950	着彩・クレヨン	紙	個人蔵
22	『学校童謡劇』見返し下絵	1946~50頃	墨	紙	個人蔵
23	『秘密の花園』表紙原画案	1950代	墨・着彩	紙	個人蔵
24	『学校童謡劇』装丁案	1946~50頃	墨・着彩	紙	個人蔵
25	『鹿島鳴秋童謡曲集第1集』装丁案	1946	墨・着彩	紙	個人蔵
26	『鹿島鳴秋著『学校童謡劇集 上巻』(表紙試し刷り)	1946	印刷	紙	個人蔵
27	『鹿島鳴秋著『学校童謡劇集 下巻』表紙試し刷り	1946	印刷	紙	個人蔵
28	『鹿島鳴秋童謡曲集』装丁案	1946	印刷	紙	個人蔵
29	《ドウブツノムラ》草稿	1946~50代	着彩	紙	個人蔵

No.	タイトル	制昨年	技法	素材	所蔵
30	ハイジ(絵本下絵)	1946-50頃	墨・着彩	紙	個人蔵
31	魚のモビール	1946-50頃	—	金属板	個人蔵
32	『鹿島鳴秋童謡曲集 第1集』	1946	印刷物	—	個人蔵
33	日本童画会パンフレット	1946-50代	印刷物	—	個人蔵
34	作品(ジャングルジム)	1950	着彩	紙	目黒区美術館
35	《大きな風》	1950	着彩	紙	目黒区美術館
36	作品(HERSYS)	1951	着彩	紙	目黒区美術館
37	《小鳥たち》	1951	着彩	紙	目黒区美術館
38	作品(ピンクの馬)	1951	パステル	紙	個人蔵
39	《美女と野獣》『ふらんす童話集』 口絵下絵	1951	着彩	紙	個人蔵
40	《人魚姫》	1953	着彩	紙	目黒区美術館
41	《蟻の巣みつけたよ》	1954	着彩	紙	目黒区美術館
42	飛行カバン(下絵) アンデルセン童話より	1954	墨	紙	個人蔵
43	《不死鳥(フェニックス)とマッチ売り》	1950代	着彩	紙	目黒区美術館
44	作品	1950代	着彩	紙	個人蔵
45	《かみしばい》	1950年代	着彩	紙	個人蔵
46	作品	1950代	着彩	紙	個人蔵
47	作品	1949-54頃	墨・着彩	紙	個人蔵
48	作品草稿(ハイジとクララ折っています)	1950代	墨・着彩	紙	個人蔵
49	理科系図書挿画下絵	1950代	墨・着彩	紙	個人蔵
50	下絵	1950代	着彩	紙	個人蔵
51	作品	1950頃	墨・着彩・クレヨン	紙	個人蔵
52	《ちんどんや》	1948-50代	墨・着彩	紙	個人蔵
58	賞状 新潮社「新人童画会」	1950	木版	紙	個人蔵
59	日本童画会会報	1950代	インク(ガリ版刷り)	紙	個人蔵
60	日本童画会出品目録	1950代	印刷	紙	個人蔵
61	対訳 アラビアンナイト 『アリババと40人の盗賊』草稿	1947	墨・インク・鉛筆	紙	個人蔵
62	1946年頃の童画	1946頃	着彩	紙	個人蔵
63	1946年頃の童画 擬人心象	1946頃	着彩	紙	個人蔵
64	『チャイルドブック』とその表紙原画	1960年代	マーカー	紙ボード	個人蔵
65	『虹を描こうよ!』草稿	1960年代	マーカーなど	紙	個人蔵

協力:秋岡家、イルフ童画館



A4チラシ

## マルク・シャガール — 版画の奇跡 無限大の色彩

会期:2014年4月12日(土)~6月8日(日) 50日間  
 会場:展示室ABC、展示ロビー  
 主催:(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館  
 協力:神奈川県立近代美術館、町田市立国際版画美術館  
 入場者数:12,218人  
 担当学芸員:和田佐知子



20世紀フランスを代表する画家、マルク・シャガールの芸術世界を版画に焦点を絞り紹介した。20世紀で最も美しい本と称される『ダフニスとクロエ』そして『サーカス』はシャガールの版画作品の中でもとくに傑作として知られ、リトグラフによる無限の色彩世界を実現している。他方、初期の代表作である『死せる魂』は銅版木の繊細な表現により1色のインクから生まれる深い色調を生み出すことに成功している。展覧会ではこれらに対比することで、シャガールの版画そのものの魅力を再考した。また物語性を備えた挿画本であることを意識し、会期を通じて全作品を展示し、詳細なあらすじを付すことで画面の隅々まで鑑賞者が目を配れるよう工夫した。本展では、作品をご出品いただいた町田市立国際版画美術館と広報面での協力をを行い、同時期に開催された「パブロ・ピカソ 版画の線とフォルム」展と入館料の相互割引を試みた。

### ●小冊子

サイズ:12.0×23.0cm、16ページ

デザイン:Nica

発行:目黒区美術館

制作:株式会社山田写真製版所、有限会社篠原紙工、Nica

内容:ごあいさつ | 作品解説『ダフニスとクロエ』『サーカス』『死せる魂』(和田佐知子) | 図版6点 | 奥付

### ●広報印刷物

ポスター:B3/チラシ:A4 デザイン:Nica

### ●関連催事

1. 講演会「アーティストと摺り師 画家たちの版画ができるまで」

5月18日(日) 13:30~16:30/講師:白井四子男(白井版画工房主宰・摺り師)/参加者:58名

2. 大人のための美術カフェ

4月26日(土) 15:30~17:30/担当:和田佐知子(当館学芸員)/参加者:64名

3. シャガール展ミュージアム・コンサート

5月31日(土) 14:00~15:00、16:00~17:00 [2回公演]/演奏:大口俊輔(アコーディオン)、江藤直子(ピアノ)/参加者:112名

### 出品リスト

#### ■『ダフニスとクロエ』(全42点)

ロンゴス著 1957-61年/1961年刊 版元:テリアード社(パリ)

リトグラフ 刷り部数:270部 42.0×32.0/42.0×64.0cm(紙サイズ) 神奈川県立近代美術館蔵(望月富防コレクション)

- 1 扉絵/2 ラモーンに見つけだされたダフニス/3 ドリュアースに見つけだされたクロエ/4 ラモーンとドリュアースの夢/5 牧場の春/6 狼の落とし穴/7 泉のほとりのダフニスとクロエ/8 クロエの裁定/9 クロエの接吻/10 ドルコーンの計略/11 夏の真昼/12 つばめ/13 ドルコーンの死/14 ニンフたちの洞窟/15 葡萄の収穫/16 フィレタースの果樹園/17 フィレタースの教え/18 メーテュムナの若者たち/19 誘拐されたクロエ/20 ダフニスの夢とニンフたち/21 プリュアキス司令官の夢/22 ニンフたちへの捧げ物/23 牧神パーンの饗宴/24 シュリンクスの物語/25 冬/26 小鳥狩り/27 ドリュアース家での食事/28 春/29 ダフニスとリュカイオン/30 木魂(エコー)/31 夏の季節/32 死んだイルカと300エキュ/33 クロエ/34 果樹園/35 神殿とバックス神の物語/36 荒らされた花々/37 ダフニスとグナトーン/38 ディオニューソファネースの到着/39 クレアリスターに着付けと髪結いをしてもらうクロエ/40 祝宴で娘を見つけたメガクレース/41 ニンフたちの洞窟での婚礼の祝宴/42 結婚

#### ■『サーカス』(全38点)

1967年刊 版元:テリアード社(パリ)

リトグラフ 42.0×32.0/42.0×64.0cm(紙サイズ) 神奈川県立近代美術館蔵(望月富防コレクション)

※著作権者の意向に従い、本展では各葉にタイトルを付していません。

#### ■『わが生涯』より「自画像」

1922年制作(1923年刊)

エッチング、ドライポイント 27.8×21.3cm 町田市立国際版画美術館蔵



## ■『馬の日記』

1952年 リトグラフ、エッチング 27.6×21.2cm(紙サイズ) 神奈川県立近代美術館蔵(望月富防コレクション)

## ■「リトグラフの制作工程見本」(8点組)

1979年 馬場構男制作 東京都美術館監修 東京都現代美術館蔵

## ■『死せる魂』Les âmes mortes(全96点)

ニコライ・ゴーゴリ著 1923-27年/1948年刊 版元:テリアード社(パリ)

エッチング、ドライポイント、アクアチント 刷り部数:368部 38.9×29.5cm(紙サイズ) 町田市立国際版画美術館蔵

1 チーチコフの到着/2 旅籠屋/3 小さな町/4 知事邸の夜会/5 ペトルーシカ/6 御者セリファン/7 道中/8 マニーロフ/9 扉口でのマニーロフとチーチコフ/  
 10 マニーロフ邸の食事/11 管理人/12 マニーロフにいとまを告げるチーチコフ/13 ソバケーヴィッチ家への途上/14 四輪馬車がひっくり返る/  
 15 コローボチカ夫人/16 ベッドの上のチーチコフ/17 放し飼いの庭/18 朝のお茶/19 道案内/20 旅籠屋の家/21 旅籠屋での食事/22 ノズドリョーフ/  
 23 ベンキ職人たち/24 トランプ/25 警察署長あらわる/26 馬たちにえさを与える御者/27 路上の衝突/28 農民たち集まる/  
 29 ミチャイ小父とミナイ小父/30 チーチコフの夢/31 ソバケーヴィッチの家/32 ソバケーヴィッチ/33 ソバケーヴィッチ夫人/34 食卓へ移る/  
 35 支度のできた食卓/36 食卓のソバケーヴィッチ/37 チーチコフとソバケーヴィッチは取り引きをする/38 肘掛け椅子の傍らのソバケーヴィッチ/  
 39 手付金/40 農民に会う/41 プリュエシキンの村/42 プリュエシキンの古い庭園/43 扉口のプリュエシキン/44 プリュエシキンの部屋/  
 45 橋の下で拾い集めるプリュエシキン/46 プロシカ/47 プリュエシキンは酒をすすめる/48 書類を探すプリュエシキン/  
 49 プリュエシキンと口論するマヴラ/50 入市税取立所にて/51 ゴーゴリとシャガール/52 大喜びする寝巻姿のチーチコフ/53 耕作/54 間抜けな死/  
 55 大エステパン・ブロープカ/56 靴屋マクシム・テリヤートニコフ/57 妙な女/58 行けども行けども果てしなしのグリゴリー/  
 59 旅券を所持せず警察署長イスプラヴニクの前に立つ男/60 穀物波止場/61 曳舟人足/62 長ラシャ外套での出会い/63 裁判所/64 登記所/65 賄賂/  
 66 証人たち/67 警察部長宅での晚餐/68 パーヴェル・イワーノヴィッチ・チーチコフは旅籠に帰った/69 ペトルーシカは長靴を脱がせる/  
 70 ズボンにブラシをかける/71 ベットに寝そべる/72 チーチコフの朝の支度/73 舞踏会にあらわれたチーチコフ/74 知事邸での舞踏会/  
 75 ノズドリョーフの暴露/76 街灯の傍らの番人/77 ただ感じの良い婦人と何ごとにつけても感じの良い婦人/78 知事夫人は娘を叱りつける/  
 79 酒宴はつかみあいに終わる/80 裸で逃げ出す/81 やせ細った役人たち/82 役人たちの密談/83 コペイキン大尉かナポレオンか/84 検事死す/85 歯痛/  
 86 チーチコフはひげを剃る/87 門番はチーチコフを通さない/88 われらが英雄は旅支度をする/89 検事の葬列/90 チーチコフの誕生/  
 91 父親はチーチコフに体罰を与える/92 事務所で眠るチーチコフ/93 教会にて/94 税務監督局に新しい局長/95 税関吏チーチコフ/96 夕暮のトロイカ



小冊子



A4チラシ

## ジョージ・ネルソン展 — 建築家、ライター、デザイナー、教育者

会期：2014年7月15日(火)～9月18日(木) 57日間  
会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ

主催：(公財)目黒区芸術文化振財団 目黒区美術館、読売新聞社、  
美術館連絡協議会

企画：ヴィトラ・デザイン・ミュージアム  
(the Vitra Design Museum, Germany)

後援：アメリカ大使館

特別協賛：ハーマンミラーインターナショナルアジア・パシフィック、  
ハーマンミラー・ジャパン株式会社

協賛：ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン・日本興亜損保、  
日本テレビ放送網、有限会社共済企画センター、天童木工株式会社、  
マーベラス株式会社

入場者数：17,214人

担当学芸員：降旗千賀子、樽谷孝子



同時開催：ワークショップ夏「ジョージ・ネルソンとデザイン」

チャールズ&レイ・イームズ、アレキサンダー・ジラードらの才能をいち早く見出し、戦後のモダンなライフスタイルにおいて、新しい家具の考え方、軽快なオフィスのあり方を提唱したジョージ・ネルソン(1908-1986)は、20世紀デザインを定義づけたデザイナーの一人といっても過言ではない。アメリカのコネチカット州ハートフォードで生まれ、エール大学で建築の学位を取得、ローマのアメリカン・アカデミーで学んだ後、ニューヨークで建築事務所を設立。いくつもの建築雑誌の編集に関わるなどライター、編集者としての資質も磨き、後に建築やデザインの本質を語る多くの著作を発表した。

壁の厚みに注目して考案した画期的な収納家具、『ストレージウォール』が『LIFE』誌に大きく紹介されたことがきっかけとなり、1946年からはハーマンミラー社のデザインディレクターに就任(～25年間)、システムによるデザインやCI(コーポレートアイデンティティ)を次々に提案し、イームズやジラードらとのコラボレーションにより同社を一躍世界的な家具メーカーへと成長させた。ネルソンは、卓越したデザイナーであったばかりではなく、優れたプロデューサーであり、常に先を見つめ、人、社会、流通をトータルで考え続けた。ネルソンの「モノを視る方法論」は教育者としても歓迎され、大学での伝説的な講義を生み出した。こうしたネルソンの生き方や考え方は、今この時代に新鮮に映るものである。

本展は、ドイツのヴィトラ・デザイン・ミュージアムの企画による世界巡回展で、日本では目黒区美術館のみでの開催となった。これまで、纏まった形で紹介されることのなかったジョージ・ネルソンとネルソン事務所による豊かな仕事とその魅力を、家具やプロダクト、模型や映像、そしてグラフィック資料など約300点で紹介した。

### ●ブックレット

サイズ：15.0×21.0cm、48ページ

デザイン：株式会社中野デザイン事務所

発行：目黒区美術館

印刷：株式会社山田写真製版所

内容：

ごあいさつ | ジョージ・ネルソン：建築家・ライター・デザイナー・教育者 | 人が創りし世界のガイドブッカーネルソンの『HOW TO SEE』をめぐる(藤崎圭一郎) | 建築家としてのジョージ・ネルソン(岩岡竜夫) | グランドデザインからディテールという視座(柳本浩市) | 最適化を目指したネルソンのシステムデザイン(和田菜穂子) | イームズ展からネルソン展への視覚の旅(降旗千賀子) | 略年譜 | 参考文献 | 言葉

### ●広報印刷物

ポスター：B2/チラシ：A4(8種) デザイン：株式会社中野デザイン事務所

### ●関連催事

#### 1. トーク・セッション1

ネルソンの『考え方』について考える—ネルソンの言葉から、未来のデザインのヒントを見つける/7月26日(土) 14:00～16:00/講師：土田 貴宏(デザインジャーナリスト)、藤城成貴(プロダクトデザイナー)/参加者：45名

#### 2. トーク・セッション2

住まいのデザインをめぐる冒険—建築家としてのジョージ・ネルソン/8月17日(日) 14:00～16:00/講師：難波和彦(建築家、東京大学名誉教授)、岩岡竜夫(建築家、東京理科大学教授)、和田菜穂子(建築史家、DA企画室室長)/参加者：92名

## 3. トーク・セッション3

ジョージ・ネルソン そのまなざしの現代性「デザイン、ソーシャル、コミュニケーション」/9月7日(日) 14:00~16:00/講師:加藤孝司(デザインジャーナリスト)、角田陽太(プロダクトデザイナー)、中原慎一郎(ランドスケーププロダクト代表)、柳本浩市(デザインディレクター、Glyph代表)/参加者:88名

## 4. 特別講演会

ネルソンのベストデザインは「ジョージ・ネルソン」/8月31日(日) 14:00~15:30/講師:山内陸平(京都工芸繊維大学名誉教授、リーズデザイン研究所主宰)/参加者:114名

## 5. 大人のための美術カフェ

「チャールズ&レイ・イームズ展」(2005年)から「ジョージ・ネルソン展」(2014年)へ、・・・展覧会のつくりかた/8月30日(土) 16:00~18:00/担当:降旗千賀子(当館学芸員)/参加者:82名

## 6. ハーマンミラー ポップアップストア

9月13日(土)、14日(日) 11:00~17:45 [全2日間]

\*ワークショップ夏は教育普及の項参照(p.71-72)

## ●主要関連記事

- 1.「半世紀色あせぬデザイン」『朝日新聞』8月27日(山田優)
- 2.「米・匠デザイナーの仕事を紹介」『産経新聞』8月28日(黒沢綾子)
- 3.「20世紀のデザインを定義づけたジョージ・ネルソンの視点」『リンネル』9月20日号(水尾七恵)
- 4.「ぎざらいいモール」『読売新聞』8月26日(降旗千賀子)
- 5.「artscapeレビュー」『artscape』8月28日(新川徳彦)
- 6.「日曜美術館 アートシーン」NHK 8月24日 [放映]

## 出品リスト

## 凡例

・データは、出品番号、製品番号、作品名、English Title、デザイン年/生産開始年および生産期間の順に記載した。

作品名は、当館で翻訳を行った。

・本リストは章立てごとに記載しており、出品番号は連続しない場合もある。

・所蔵先は、作家関連書籍、作家関連資料、特別出品と記載したもの、を除き、すべてヴァイトラデザインミュージアム所蔵である。

・出品番号:H(The Home), HC(The Home のCSS), E(Exhibition), A(Architecture), O(The Office), ED(Education), G(Graphic and Corporate Design), C(Clocks), M(映像/Media)。

## ■バイオ・ウォール Biography wall

## 作家関連書籍:

『Architectural Forum(アーキテクチュラルフォーラム)』1938

『Tomorrow's House(明日の住宅)』1945

『Living Spaces(居住空間)』1952

『Chairs(椅子)』1953

『Display(ディスプレイ)』1953

『Storage(収納)』1954

『Problems of Design(デザインの諸問題)』1957

『How to See: Visual Adventures in a World God Never Made(もの見方:神が創らなかった世界の視覚的冒険)』1977

## 作家関連資料:

ネルソン事務所の移転案内 | Moving announcements from the Nelson office

ネルソン事務所のレターヘッドなどのステーションナリー | Business papers from the Nelson office | 1940s-1960s

『ルック』誌に掲載されたネルソン(写真) | "What time is it?" Nelson In Look magazine | 1960

M-02 文明都市 | The Civilized City | 1974 | 16分

## ■The Home 住宅

H-34 No 5670 マシュマロソファ | Marshmallow Sofa | 1956/1956-1965, 2000-

H-01 No 5087 デイベッド | Day Bed | 1948

H-02 No 5491 シンエッジベッド | Thin Edge Bed | 1954

H-03 No 0692 モジュラーソファ | Modular Sofa | 1956/1956-1978

H-04 No 5070 チェア セクショナルシーティング | Sectional Seating Chair

No 5071 オットマン | Ottoman

No 5050 トレイ | Tray | 1950

H-05 No 4652 エクステンション・コーヒーテーブル | Extension Coffee table | 1945

H-06 No 6380 カテナリーチェア | Catenary Chair | 1962/1963-1968

H-07 No 6382 スリングソファ | Sling Sofa | 1963/1964-2000

H-08 No 4712 チェスト ベーシック・キャビネットシリーズ | Chest Basic Cabinet Series | 1946

H-09 No 4691 プラットフォームベンチ/スラットベンチ | Platform Bench/ Slat Bench | 1945/1946-1967, 1994-

H-10 No 5733 エスクリトワール(書き物机) | Escritoire | 1952

H-11 No 4656 ゲートレッグテーブル | Gate Leg Table | 1946

H-12 No 4992-M プラットフォームベンチ/スラットベンチ | Platform Bench/Slat Bench | 1954

H-13 No 5361 化粧テーブル | Vanity

H-14 No 5451 ペDESTALテーブル | Pedestal Table | 1954

- H-15 No 5517 ミニチュアチェスト ローズウッドケース・グループ | Miniature Chest Rosewood Case Group | 1952  
 H-16 No 5515 ミニチュアチェスト ローズウッドケース・グループ | Miniature Chest Rosewood Case Group | 1952  
 H-17 No 4052 サイドテーブル スチールフレームケース・シリーズ | Side Table Steelframe Case Series | 1950  
 H-18 No 5068 サイドチェア(アングルアイアン・チェア) | Side Chair (Angle Iron Chair) | 1950  
 H-19 No 5069 アームチェア(アングルアイアン・チェア) | Armchair (Angle Iron Chair) | 1950  
 H-20 No 5511 ミニチュアチェスト ローズウッドケース・グループ | Miniature Chest Rosewood Case Group | 1952  
 H-21 No 4113 デスク スチールフレームケース・シリーズ | Desk Steelframe Case Series | 1950  
 H-22 No 5452 ベDESTALテーブル | Pedestal Table | 1954  
 H-23 No 4014 チェスト スチールフレームケース・シリーズ | Chest of Drawers Steelframe Case Series | 1950  
 H-24 No H611 ケープコッド・ファイヤーライター | Cape Cod Firelighter |  
 H-25 暖炉の付属用品 | Fireplace Accessories | 1950-1955/1951-  
 H-26 No 5850 スワッグレッグホームデスク | Swaged-Leg Home Desk | 1957  
 H-27 No 5569/No 5898 | ココナッツチェアとオットマン | Coconut Chair with Ottoman | 1955/1955-1978  
 H-28 No 458 風見(回転木馬) | Weather vane (Carousel) | 1954-1955  
 H-29 DAAスワッグレッグチェア | DAA Swaged-Leg Chair | 1956  
 H-30 DAFスワッグレッグチェア | DAF Swaged-Leg Chair | 1956  
 H-31 No 4950 トレイテーブル | Tray Table | 1949/1950-1956  
 H-32 No 5672 ハイバック・ラウンジチェア/カンガルーチェア/High Back Lounge Chair/ Kangaroo Chair | 1955/1956-1964  
 H-33 No 5854 スワッグレッグデスク | Swaged-Leg Desk | 1958  
 H-35 No 5890 ベントウッドチェア/ラミネートチェア(プレツェルチェア)(アームレストなし) | Bentwood/ Laminated Chair (Pretzel Chair) (without armrest) | 1952/ 1958  
 H-36 No 5891 ベントウッドチェア/ラミネートチェア(プレツェルチェア)(アームレスト付き) | Bentwood/ Laminated Chair (Pretzel Chair) (with armrest) | 1952/1958  
 H-37 ハーマンミラー社製品カタログ《スチールフレームケース・シリーズ》 | Herman Miller product folder for the Steel frame Case Series | mid 1950s  
 H-38 ハーマンミラー社製品カタログ《ローズウッドケース・グループ》 | Herman Miller product brochure for the Rosewood Case Group | early 1950s  
 H-38 ベーシック・キャビネットシリーズ No 4600シリーズ/No 4700シリーズ | Basic Cabinet Series No 4600 Series/ No 4700 Series | 1946  
 H-38 ハーマンミラー社製品カタログ《ベーシック・キャビネットシリーズ》 | Herman Miller product brochure for the Basic Cabinet Series | early 1950s
- B-01~B-08 バブルランプ | Bubble Lamps | 1952  
 B-P01~B-P03 バブルランプの制作過程 | Making of Bubble lamps | ca.1950s

『ライフ』 | Life Magazine | 1945.1.22

- M-07 ストレージ・ウォール | Storage wall | 1944 (2008) | 2分  
 M-08 スワッグレッグチェア | Swaged-Leg Chair | 1961 | 2分

## ■Exhibition 展覧会

- E-01 モスクワのアメリカ博覧会で用いられたファイバークラス・アンブレラ(パラソル)模型 縮尺1/10 | Model of the fiberglass umbrellas for the American National Exhibition in Moscow Scale 1:10 | 1959 (2008)  
 E-03 《ジャングルジム》4つのエレメント 原寸大 | 4 elements of the Jungle Gym | 2008  
 E-05 モスクワのアメリカ博覧会で用いられた《ジャングルジム》模型 縮尺1/6 | Model of the Jungle Gym for the American National Exhibition in Moscow Scale 1:6 | 1959 (2008)  
 E-P02 ファイバークラス・アンブレラ(パラソル)模型のまゝに立つジョージ・ネルソン(右)とアルバート・ディーツ(中央) | George Nelson (right) and Albert Dietz (center) in front of a model of the fiberglass umbrellas  
 E-P03 アンブレラ(パラソル)の下に立つジョージ・ネルソン | George Nelson under the fiberglass umbrellas  
 E-P04 アメリカ博覧会の平面図 | Floor plan of the American National Exhibition in Moscow  
 E-P06 ロシア人の労働者と重機 | A Russian worker with heavy equipment  
 E-P07 チャールズ・イームズに映画の現像を依頼するジョージ・ネルソン | George Nelson asks Charles Eames for shooting the film  
 E-P08 アメリカの副大統領リチャード・ニクソンとソビエト連邦の最高指導者ニキータ・フルシチョフ | Khrushchev and Nixon before the television camera  
 E-P09 ニューヨークからモスクワへ | From New York to Moscow  
 E-P10 ココナッツチェアに座って日誌を書くジョージ・ネルソン | George Nelson sitting in a Coconut Chair and writing in his log  
 E-P11 《ジャングルジム》巨大模型 | Large, dismountable model of the Jungle Gym
- アメリカ博覧会カタログ | American National Exhibition in Moscow | 1959  
 アメリカ博覧会パンフレット | Brochure for the American National Exhibition in Moscow | 1959  
 ネルソン事務所発行のアメリカ博覧会リーフレット | Nelson Office brochure of the American National Exhibition  
 ファイバークラスシェルチェア チャールズ&レイ・イームズ | Molded Fiberglass Shell Chair Charles&Ray Eames | 1954
- M-04 レクイエム | Requiem | 1961 | 10分  
 M-05 オープニングドアズインモスクワ | Opening Doors In Moscow | 1959 | 10分  
 M-06 『デザインの問題—どのように人を殺すか』 | A Problem of Design: How to Kill People | 1960年 | 25分

## ■Architecture 建築

- A-01 エクスペリメンタル・ハウス 模型 縮尺1/20 | Model of Experimental House Scale 1:20 | 1957(2008)  
 A-02 『Architectural Record(アーキテクチュラルレコード)』1957.12  
 AP-03 エクスペリメンタル・ハウス内部 | Inside the model of the Experimental House  
 AP-04 エクスペリメンタル・ハウス内部 | Inside the model of the Experimental House

## 特別出品:

シャーマン・フェアチャイルド邸模型 縮尺1/20 | 模型制作:東京理科大学岩岡竜夫研究室 | Model of Sherman Fairchild Residence Scale 1:20 | Model building: Iwaoka laboratory, Tokyo University of Science | 1941(2014)

シャーマン・フェアチャイルド邸 ニューヨーク(写真) | Sherman Fairchild Residence, New York | 1941

M-03 カウント・ダウン | Countdown | 1961 | 7分

## ■The Office オフィス家具

アクションオフィス1 No 649-シリーズ | Action Office 1 (AO1) No649- series | 1960/1964-

O-01 No 64940 パーチ | Perch

O-02 No 686 アームチェア チャールズ&レイ・イームズのアルミニウムグループ | Armchair Office chair from the Aluminum Group by Charles & Ray Eames | 1958

O-03 No 64908 モバイルテーブル | Mobile Table | 1964

O-04 No 64913 タイプライターテーブル | Typewriter Table | 1964

O-05 No 64912 コミュニケーションセンター | Communications Center

O-06 No 64916 ハイデスク | High Desk

O-07 No 64915 ストレージユニット | Storage Unit | 1964

O-08 オリベッティ社 電動タイプライターエディター2 | Olivetti, Electric Typewriter Editor 2 | 1968

オリベッティ社電動タイプライター「エディター2」カタログ | Brochures of Electric Typewriter Editor 2 Olivetti

O-P03 ジョージ・ネルソンと《アクションオフィス1》 | George Nelson and "Action Office 1 (AO1)" | ca.1964

製品化されなかったテーブル兼用デスクのスケッチ | Preliminary drawing for a desk that could also function as an end table, though it was never actually produced | 1964. 12.1

《アクションオフィス1》付属品図面 | The drawing shows a selection of the numerous Action Office 1 accessories | 1964.8.25

<ハイデスク>と<ローデスク>初期図面 | Early drawing of the High and Low Desks | 1963

<ハイデスク>と<ローデスク>後期図面 | Drawing of High and Low Desks at a more advanced stage | 1964

《アクションオフィス1》ハーマンミラー社カタログ | Pages from the catalogue of Herman Miller Action Office 1 | 1964

《アクションオフィス1》広告 | Advertisement of Action Office 1

《アクションオフィス1》広告 | Advertisement of Action Office 1

M-09 ハーマンミラー社《アクションオフィス2》コマーシャルフィルム | Promotional Film for Action Office 2, Herman Miller | early1970s | 4分

O-09 No 7230-L, No 6720 L型デスク エグゼクティブオフィスグループ(EOG) | L-shaped desk Executive Office Group (EOG) | ca.1950

O-10 No 4751, 4752 ポータブルタイプライタースタンド | Portable Typewriter Stand | 1947

O-11 No 4658 ホームデスク | Home Desk | 1946

O-12 No 8430 Xレグ・テーブル | X-Leg Table | 1950

O-13 アームチェア DAF+チャールズ&レイ・イームズのアルミニウムグループ | Armchair DAF with Eames Aluminum Group | 1960

O-14 No 5770 アームチェア | Armchair | 1957

O-15 No 5891 ベントウッドチェア/ラミネートチェア(プレッツェルチェア) | Bentwood/Laminated Chair (Pretzel Chair) | 1952

O-16 No M3304 デスク モダンマネジメント・グループ(MMG) | Desk Modern Management Group (MMG) | 1955/1957-ca.1962

## ■Clocks 時計

C-01 No. 2227 スポーク | Spoke | 1955

C-03 No. 7513 葉/櫂/花弁 | Leaf/Paddle/Petal | 1957

C-04 No. 2240 タービン | Turbine | 1957

C-05 No. 2293 1961 | 2013

C-06 No. 4755 ボールクロック | Ball Clock (Reproduction) | 1949/2012

C-07 No. 2274 コンケーブ(凹面)クロック | Concave Clock | 1959-1960

C-08 No. 2238 眼/竪琴 | Eye/Lyre | 1957

C-09 No. 4755 ボールクロック | Ball Clock | 1949

C-10 No. 2285 ブロック/タブ | Block/Tab | 1961

C-11 No. 7517 1957

C-12 No. 2261 プライウッド・サンフラワー | Plywood Sun- flower | 1958-1959

C-13 No. 2288 ホイール | Wheel | 1961/2012

C-14 No. 2216 1952

C-15 No. 2239 スピンドル | Spindle | 1957

C-16 No. 2202 光線/スポーク | Sunburst/Spoke | 1952-1953

C-17 No. 2223 扇 | Fan | ca.1954

C-18 No. 2226 蝶々 | Flock of Butterflies | 1955/2012

C-19 No. 4756 ハンドル | Steering Wheel | 1949

C-20 No. 2213 アスタリスク | Asterisk | ca.1953

C-21 No. 2201 凧/ダイヤモンド | Kite/Diamond | 1952-1953

## ■Graphic and Corporate Design グラフィックデザインと企業デザイン (1)

G-06 ハーマンミラー社カタログ | Herman Miller catalog | 1948, 1955, 1964

G-07 ハーマンミラー社の広告 | Herman Miller advertisements | early 1950s-early 1960s

G-26 説明イラスト《エグゼクティブオフィスグループ(EOG)》のモジュールシステム | The graphic illustrates the modular system of the Executive Office Group | 1952

G-26 《エグゼクティブオフィスグループ(EOG)》カタログ ハーマンミラー社 | Herman Miller brochure on the Executive Office Group | 1952

G-26 《エグゼクティブオフィスグループ(EOG)》カタログの草稿 | Draft for an EOG brochure | ca.1958

G-26 《エグゼクティブオフィスグループ(EOG)》カタログ | EOG brochure | ca.1959

G-27 《モダンマネジメントグループ(MMG)》カラーバリエーションとデスクのレイアウトを示した広告 | MMG advertisement that demonstrates the coloring as well as the different desk configurations of MMG | ca.1958

G-27 《モダンマネジメントグループ(MMG)》パンフレット | MMG brochure | 1959

《モダンマネジメントグループ(MMG)》広告 | MMG advertisement | 1959

## ■Graphic and Corporate Design グラフィックデザインと企業デザイン (2)

- G-01 プロントポスター「女性用トイレ」 | Pronto Poster "WOMEN"
- G-02-01 企業や展覧会のロゴマーク | Miscellaneous logos by Nelson & Company for corporations and exhibitions | 1952-1971  
 G-02-02 映画『荒馬と女』(ジョン・ヒューストン監督)ポスターとロゴ | Poster and logo, The Misfits (Director: John Huston) | 1960
- G-02-03 マルチメディアショー『U.S. vs. us.』招待状 | Invitation to George Nelson's multimedia presentation U.S. vs. Us | 1961  
 G-02-04 アボット製菓 ロゴ、印刷物、パッケージ | Abbott, Logo, printed materials and packaging | 1958-1960  
 G-02-05 ネルソン事務所のグラフィックデザイン展招待状(コンポーザングルームギャラリー303 ニューヨーク) | Invitation to the Exhibition of Graphic Design by the Nelson office in the Composing Room Gallery 303, New York | 1961
- G-03 ハワードミラー・クロック社のコーポレートデザイン、ロゴ、製品カタログ、広告、製品ラベル | Howard Miller (Zeeland, Michigan), Corporate design, logo, product catalogs, advertisements, product tags | 1947-1968
- G-04-01 ハワードミラー・クロック社のカタログ『ハワードミラー・クロック』 | Brochure, "Howard Miller Clocks", Howard Miller Clock Company, | 1968-69  
 G-04-02 ハワードミラー・クロック社のカタログ『インスティテューショナル・クロック』 | Brochure, "Institutional Clocks", Howard Miller Clock Company | 1968-69  
 G-04-03 カタログ『ハワードミラー・クロック—コンテンポラリーな時計コレクション』 | Brochure, "Howard Miller Clocks - a collection of contemporary timepieces" | ca.1960  
 G-04-04 ハワードミラー・クロック社の照明デザインの製品カタログ | Product brochure for lighting designs, Howard Miller Clock Company | 1964  
 G-04-05 ハワードミラー・クロック社の照明器具『ランタン』シリーズ製品カタログ | Product brochure for the lighting series Lanterns, Howard Miller Clock Company | 1962  
 G-04-06 《ボールクロック》広告 | Advertisement for Ball Clock NO 4755 | ca.1960  
 G-04-07 《プロントポスター》パンフレット | Product Information Pronto Posters | 1964  
 G-04-08 ハワードミラー社の製品広告 | Advertisements for products of the Howard Miller Clock Company designed by George Nelson & Company | early 1960s
- G-05 ハーマンミラー社 | Herman Miller

### 特別出品:

「プロントポスター」"Pront Poster", 「ペンキ塗りたて」"WET PAINT", 「ポイ捨て禁止」"DON'T BE A LITTERBUG", 「禁煙」"NO SMOKING", 「女性用トイレ」"MEN", 「ゴーグル装備」"WEAR YOUR GOGGLES", 「悪ふざけしない」"NO HORSEPLAY", 「考えろ」"THINK" | 1964 | リーズデザイン研究所蔵

## ■Education 教育

- ED-01 ジョージ・ネルソンの講演会《文明都市》ポスター、ハーバード大学デザイン大学院パイパーホール | Publicity poster for George Nelson's lecture The Civilized City, Piper Auditorium, Harvard Graduate School of Design | ca.1974  
 ED-02 ジョージ・ネルソンの講演会《文明都市》ポスター、イリノイ大学180ベビアホール、1974年4月4日 | Publicity poster for George Nelson's lecture The Civilized City, 180 Bevier Hall, University of Illinois | April 4, 1974  
 ED-03 ジョージ・ネルソンの講演会《文明都市》ポスター、モーホークバレー・コミュニティカレッジ(ニューヨーク)1976年3月11日 | Publicity poster for George Nelson's lecture The Civilized City, Mohawk Valley Community College, New York | March 11, 1976  
 ED-04 ジョージ・ネルソンの講演会《ものの未来》ポスター | Publicity poster for George Nelson's lecture The Future of the Object | late 1970s  
 ED-06 ジョージ・ネルソンの講演会《デザインの諸問題》ポスター テネシー大学建築学部1979年1月22日 | Publicity poster for George Nelson's lecture Problems of Design, January 22, 1979, University of Tennessee School of Architecture  
 ED-07 ジョージア大学で開催した《アートX》招待状(写真) | Invitation for Art-X, University of Georgia | 1953
- M-01 アートX | Art-X | 1953 | 9分

### コンプリヘンシブ ストレージ システム (CSS)

- HC-01 コンプリヘンシブ ストレージ システム (CSS) | Comprehensive Storage System (CSS) | 1957/1959-1973  
 HC-05 テーブルランプ ハーフネルソン | Table Lamp Half Nelson | 1949-50/1977  
 HC-08 ボルタ テンポトレイ | Bolta Tempotray | 1956  
 HC-08a プロロン テーブルウェア(フローレンス) | Prolon Tableware Florence | 1952-1955  
 HC-09 カーベルホール ステンレススチールカトラリー、レジャー | Carvel Hall Stainless Steel Cutlery Leisure | 1955-1956  
 HC-09 カトラリーの広告 | Advertisements for cutlery, Carvel Hall, Briddell, Leisure Series | mid-1950s  
 HC-10 《コンプリヘンシブ ストレージ システム (CSS)》の多様なバリエーションを示したドローイング | The drawing illustrates the many different variations of the Comprehensive Storage System |  
 HC-11 No B12GH ステレオ レコードプレーヤー | Stereo Turntable |  
 ハーマンミラー社《コンプリヘンシブ ストレージ システム (CSS)》のカタログ | Herman Miller brochure advertising the Comprehensive Storage System | ca.1959
- HC-02-01 No.4767 テーブルクロック | Table Clock | 1949  
 HC-02-02 No.4765 テーブルクロック | Table Clock | 1949  
 HC-02-03 No.4760 テーブルクロック | Table Clock | 1949  
 HC-02-04 No.2220 テーブルクロック(錠前) | Table Clock (Pill) | 1954
- HC-03-01 No.2270 テーブルクロック(クロックニック) | Table Clock (Clocknick) | 1959-60  
 HC-03-02 No.4766 テーブルクロック | Table Clock | 1949  
 HC-03-03 No.4763 テーブルクロック(シャドーボックス) | Table Clock (Shadowbox) | 1949
- HC-04-01 リーディングランプ(ヘルメット/スチューデントランプ) | Reading Lamp (Helmet/ Student Lamp) | 1947  
 HC-04-02 No.2219 テーブルクロック(スイカ) | Table Clock (Watermelon) | 1954  
 HC-04-03 No.2217 テーブルクロック(凧/ダイヤモンド) | Table Clock (Kite/Diamond) | 1954

ネルソンと息子のミコ(アスペンにて)(写真) | Photography of Nelson with son Mico in Aspen  
 愛車ジャガーXK-120に乗るネルソン(写真) | Photography of Nelson in his Jaguar XK-120

特別出品:リーズデザイン研究所蔵

ネルソン事務所の工業デザインカタログ | Catalogue of Nelson office "Successful Industrial design reflects concern for innovation" | 1960s

ハワードミラーのためのプロダクトデザインとグラフィックデザインのパンフレット | "Design for Management" | 1959

モスクワでのアメリカ博覧会用IDデザインのパンフレット | Brochure of the ID design for the American National Exhibition in Moscow |

ネルソン事務所の展示に関するパンフレット | Exhibits Architecture Interiors Product design graphic design corporate Identity Program | early 1960s

書籍『How to See(もの見方)』 | "How to see: Visual adventures in a World God Never made" | 1977

ハーマンミラーの総合カタログ | Herman Miller catalogue | 1964

ネルソンからのクリスマスカード | Greeting Card | 1969 | リーズデザイン研究所蔵

特別出品:Glyph.所蔵

パンフレット『モダンリビングのための青写真』 | Blueprint for modern living | 1948

ハーマンミラー タグ | Tag | 1957

パンフレット『住宅のための家具』 | Furniture for the Home, Herman Miller | 1959

B.S.Cのパンフレット | System of Basic Components | 1949

パンフレット 『モダン家具のABC』 | ABC of modern furniture | 1954

パンフレット 『コーヒーテーブル』 | Coffee table | 1949

パンフレット 『公共エリアのための椅子』 | H.M. Seating for public areas | 1958

パンフレット 『スチールフレームの椅子』 | Steelframe Seating for H.M. | 1959

パンフレット 『ラウンジチェア』 | Lounge Chair | 1959

パンフレット 『コントラクトベンチシステムの仕組み』 | Contract Bench System | 1959

パンフレット 『ハワードミラー ズークロック』 | Howard Miller Zoo Timers | 1965

パンフレット 『ハワードミラー 時計パンフレット』 | Howard Miller Built-in electric Clocks H.M. | 1964

参考出品:

『工芸ニュース』第26巻第2号 1958年2月号

『リビングデザイン』第15号 1956年3月

1957年ネルソン来日時の写真 | 写真提供:株式会社天童木工

How to Wrap 5 Eggs Japanese Design In Traditional Packaging by Hideyuki Oka, John Weatherhill, 1967



ブックレット



B2ポスター

# ふたつの時代 ―所蔵品でたどる「パリの日本人」

## 第一部 フジタのいる街角―巴里の誘惑、1910～30年代

会期：2014年10月25日(土)～12月7日(日) 38日間

会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール

主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

入場者数：5,978人

担当学芸員：山田敦雄、佐川夕子



目黒区美術館では、「海外で学んだ画家たちとその作品」を作品収集の方針のひとつとしている。2014年度は、戦前・戦後、ふたつの時代のパリに関わった画家とその作品を紹介することを目的とし、第一部の本展では、第一次世界大戦前夜の1910年頃から1940年頃まで、パリを舞台に、研鑽をつみ、時に脚光を浴びた日本人たちの足跡を辿った。

本展の「経糸」となるのは、当館に多くの作品がある藤田嗣治である。藤田が日本を旅立った1913年、すでにパリには何人もの日本人画家たちがいた。本展では、まず「藤田以前」の作家たち(安井曾太郎、梅原龍三郎、澤部清五郎ほか)をとりあげた。続いて、第一次世界大戦を挟み1920年代後半にかけてパリに渡った多くの作家たちの中から、藤田とその周辺の画家たち(高野三三男、小柳正、岡鹿之助ほか)、さらに伊原宇三郎や児島善三郎ら1920年代半ばから数を増したパリ在住の日本人画家たちを紹介した。豊かに成熟した伝統の上で様々な価値観や交錯する華やかなパリで、古典から現代の最尖端まで、広く絵画の世界に触れた日本人たちは貪欲に知識と技術を吸収し、やがて自らの内なる日本をめぐる問題にも直面することになった。

また、当館は、海外での日本人画家たちの生活を伝える、希少な周辺資料を収集してきた。本展ではこれらの資料も展示した。エスキースや素描、画材、多種多様な印刷物、音楽や文学、バレエやオペラからキャバレーまで、彼らの興味を引いたさまざまなものにかかわるチケットやパンフレット、さらには地下鉄や水上バスのチケットやデパートの包み紙まで、戦前の日本人画家たちの生活と制作の姿、その息遣いを伝えるべく展開した。

### ●ミュージアムシート[004-141025]

サイズ：A4、4ページ

内容：ごあいさつ | フジタのいる街角から「所蔵作品展」の方法論―目黒区美術館の四半世紀(山田敦雄)

### ●広報印刷物

ポスター：B3/チラシ：A4 デザイン：山田敦雄

### ●関連催事

1. ワークショップ トラベルノート 私だけの旅物語

10月26日(日) 10:00～16:00/企画・進行：目黒区美術館トイ・コレクションボランティアチーム/参加者：18名

2. ギャラリートーク

11月2日(日)/担当：山田敦雄(当館学芸員)/参加者：23名

3. 大人のための美術カフェ

11月23日(日・祝)/担当：山田敦雄(当館学芸員)/参加者：31名



## 出品リスト

## 凡例

- ・出品番号(No.)、作家名、生没年と渡仏期間、タイトル、制作年、素材・技法、寸法(cm)の順に記載した。
- ・出品番号は原則的に渡仏した年の順番に与え、複数作品の展示があるものは枝番表記とした。
- ・記載する「渡仏期間」は、第二次世界大戦前までの時期とした。

No.	作家名	生没年	渡仏期間	タイトル	制作年	素材・技法	寸法(cm)
1. 藤田嗣治以前のパリの日本人画家たち							
1-1	川村清雄	(1852-1934)	1873-1876	水差し	1875	鉛筆・紙	29.5×48.0
1-2	川村清雄	(1852-1934)	1873-1876	幼児石膏習作	c.1873-76	コンテ・紙	12.0×11.8
2	満谷国四郎	(1874-1936)	1900-1901, 1911-1914	ブルターニュ	1913	油彩・キャンバス	46.6×55.5
3-1	鹿子木孟郎	(1874-1941)	1900-1904, 1906-1908, 1915-1918	アブニュー・オッシュ	1916-17	油彩・キャンバス	50.1×61.0
3-2	鹿子木孟郎	(1874-1941)	1900-1904, 1906-1908, 1915-1918	外国風景	(滞欧期)	パステル・紙	38.3×85.8
4-1	山下新太郎	(1881-1966)	1905-1910	素描 裸婦	1905	鉛筆・紙	25.5×17.7
4-2	山下新太郎	(1881-1966)	1905-1910	素描 婦人	1906	鉛筆・紙	29.6×24.0
4-3	山下新太郎	(1881-1966)	1905-1910	素描 靴をはく婦人	1907	鉛筆・紙	31.6×25.3
5	安井曾太郎	(1888-1955)	1907-1914	パリの公園	1911	油彩・キャンバス	33.2×41.0
6	梅原龍三郎	(1888-1986)	1908-1913, 1920-1921	パリ市庁	1908	油彩・キャンバス	35.0×43.1
7-1	小林萬吾	(1870-1947)	1911-1914	西洋婦人	1911	油彩・キャンバス	68.7×55.8
7-2	小林萬吾	(1870-1947)	1911-1914	リンゴ畑	1911	油彩・板	35.1×25.7
8-1	澤部清五郎	(1884-1964)	1911-1913	アトリエにて	1912	油彩・キャンバス	51.0×40.5
8-2	澤部清五郎	(1884-1964)	1911-1913	髪結える少女	1913	油彩・キャンバス	72.6×59.9
8-3-1	澤部清五郎	(1884-1964)	1911-1913	習作 パリの朝	1913	油彩・ボード	27.0×35.0
8-3-2	澤部清五郎	(1884-1964)	1911-1913	習作 ルクサンブルの冬	1912	油彩・ボード	35.0×27.0
8-3-3	澤部清五郎	(1884-1964)	1911-1913	習作 パリの街角	1913	油彩・板	22.0×15.2
8-3-4	澤部清五郎	(1884-1964)	1911-1913	習作 ムードンの画室街	1912	油彩・ボード	27.0×35.0
8-3-5	澤部清五郎	(1884-1964)	1911-1913	習作 セーヌ河岸	1912	油彩・板	15.2×22.0
8-3-6	澤部清五郎	(1884-1964)	1911-1913	習作 初夏のカフェ	1912	油彩・ボード	32.5×24.7
8-3-7	澤部清五郎	(1884-1964)	1911-1913	習作 ルクサンブルの人形芝居	1913	油彩・ボード	27.0×35.0
2. 藤田嗣治と周辺の日本人画家たち							
9-1	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	赤毛の女 <*旧シャーマン コレクション>	1917	水彩・紙	26.5×20.0
9-2	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	シェロン氏像 <*旧シャーマン コレクション>	1917	コンテ・紙	30.5×23.0
9-3	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	鶴 <*旧シャーマン コレクション>	1918	金箔、水彩・紙	20.0×17.0
9-4	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940	裸婦 <*旧シャーマン コレクション>	c.1923-24	ドライポイント・紙	26.5×36.5
9-5	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940	動物群	1924	油彩・キャンバス	97.0×145.5

No.	作家名	生没年	渡仏期間	タイトル	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
9-6	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	十人の子どもたち	1924	油彩・キャンパス	114.4×144.3
9-7	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	カフェ・ドゥ・ラ・ロトンド 〈*旧シャーマン コレクション〉	1925	銅版・紙	19.0×14.5
9-8	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	スカーフを巻いた女 〈*旧シャーマン コレクション〉	1925	リトグラフ・紙	13.5×13.0
9-9	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	二人の少女のプロフィール 〈*旧シャーマン コレクション〉	1925	リトグラフ・紙	20.0×17.5
9-10	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	裸婦 〈*旧シャーマン コレクション〉	1925	リトグラフ・紙	17.5×24.0
9-11	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	少女 〈*旧シャーマン コレクション〉	c.1925	鉛筆・紙	42.0×23.0
9-12	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	裸婦 〈*旧シャーマン コレクション〉	c.1925-29	リトグラフ・紙	43.0×33.0
9-13	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	静物 (インク籠) 〈*旧シャーマン コレクション〉	c.1926-1929	銅版・紙	27.0×34.5
9-14	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	静物 (糸巻) 〈*旧シャーマン コレクション〉	c.1926-1929	銅版・紙	27.0×34.5
9-15	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	自画像	c.1927 (c.1929刷り)	カルコグラフィー (ルーブル美術館 による後刷り)・紙	44.4×34.0(画面)
9-16	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	裸婦と猫 〈*旧シャーマン コレクション〉	c.1927 (c.1929刷り)	カルコグラフィー (ルーブル美術館 による後刷り)・紙	44.5×34.0
9-17	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	レスリング 〈*旧シャーマン コレクション〉	1928	鉛筆・紙	60.0×122.0
9-18	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	裸婦 (キキ・ド・モンパルナス)	1929	鉛筆・紙	71.5×128.5
9-19	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	横たわる裸婦 〈*旧シャーマン コレクション〉	1929	銅版・紙	37.0×56.0
9-20	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	立っている裸婦 〈*旧シャーマン コレクション〉	1929	銅版・紙	56.0×37.0
9-21	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	二匹の猫 〈*旧シャーマン コレクション〉	1931	リトグラフ・紙	27.0×37.5
21	小柳 正	(1897-1948)	1921-1939	虎と女	c.1920-37	油彩・キャンパス	97.0×130.0

No.	作家名	生没年	渡仏期間	タイトル	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
31	板東敏雄	(1890-1973)	1922-1973	静物		油彩・キャンバス	24.0×33.2
37-1	高野三三男	(1900-1979)	1924-1940	横たわる裸婦 I	1929	油彩・キャンバス	64.0×91.0
37-2	高野三三男	(1900-1979)	1924-1940	ヴァイオリンのある静物(コンポジション)	c.1937	油彩・キャンバス	65.5×80.5
37-3	高野三三男	(1900-1979)	1924-1940	街角風景(テルトル広場)	c.1940	油彩・キャンバス	73.0×91.0
38	高崎 剛	(1902-1932)	1924-1932	軽業師 D	1928	油彩・キャンバス	92.0×28.0
39	岡田謙三	(1902-1982)	1924-1927	セーヌ河	1936	油彩・キャンバス	46.0×61.0
43	岡 鹿之助	(1898-1978)	1924-1939	信号台	1926	油彩・キャンバス	45.7×53.2

### 3. パリの日本人画家たち、1920～30年代

10	足立源一郎	(1889-1973)	1914-1918, 1923-1925	婦人	1914-1925 (滞欧期)	油彩・キャンバス	60.5×50.0
11	矢崎千代二	(1872-1947)	1903-1909 (米・欧州各地), 1916, 1921- 1926	マルセーユ	1925	パステル・紙	72.8×53.2
12-1	長谷川 潔	(1891-1980)	1918-1980	奇術(2点の内)	1925	ドライポイント・紙	11.6×8.0
12-2	長谷川 潔	(1891-1980)	1918-1980	奇術(2点の内)	1925	ドライポイント・水 彩・紙	11.6×8.0
12-3	長谷川 潔	(1891-1980)	1918-1980	古村(シャトーアルヌー)	1927	ドライポイント・紙	19.5×27.5
12-4	長谷川 潔	(1891-1980)	1918-1980	サン・ポール・ド・ヴァンスの村	1929	メゾチント・紙	13.7×17.8
13	中川紀元	(1892-1972)	1919-1921	女と猫	1920	油彩・キャンバス	143.8×59.2
14	太田三郎	(1884-1969)	1920-1922	カナベに凭る	1928	油彩・キャンバス	53.0×65.5
15-1	田中 保	(1886-1941)	1920-1941	金髪の裸婦	1920-30	油彩・キャンバス	88.5×91.2
15-2	田中 保	(1886-1941)	1920-1941	裸婦	1920-30	木炭・紙	50.2×64.6
16-1	国松桂溪	(1883-1962)	1921-1923	婦人	c.1921-1923	油彩・キャンバス ボード	23.8×18.2
16-2	国松桂溪	(1883-1962)	1921-1923	静物	c.1921-1923	油彩・キャンバス ボード	19.0×23.9
17	辻 永	(1884-1947)	1920(欧州各 地)-1921	セーヌ川	1921	油彩・キャンバス	41.2×53.3
18-1	中村義夫	(1889-1957)	1921-1926	手押し車	1921-26	油彩・キャンバス	54.6×46.4
18-2	中村義夫	(1889-1957)	1921-1926	習作	1921-26	油彩・板	26.0×19.0
18-3	中村義夫	(1889-1957)	1921-1926	習作	1921-26	油彩・板	19.0×26.0
19	安宅安五郎	(1883-1960)	1921-1922	仏国ヴェルサイユ郊外	1922	油彩・キャンバス	31.7×40.6
20	宮本恒平	(1890-1965)	1921-1923, 1930-1935	訪問名詞	1932	油彩・キャンバス	130.4×162.4
22	青山義雄	(1894-1996)	1921-1935	リュクサンブール公園	1933	油彩・キャンバス	45.4×37.8
23	里見勝蔵	(1895-1981)	1921-1925	雪景	c.1925	油彩・キャンバス	65.4×80.6
24	坂田一男	(1889-1956)	1921-1933	浴室の二人の女	1928	油彩・キャンバス	100.1×81.0
25	坂本繁二郎	(1882-1969)	1921-1924	老婆習作	1923	油彩・板	41.1×32.2
26	木下孝則	(1894-1973)	1921-1923, 1928-1935	裸婦	c.1932	油彩・キャンバス	111.9×145.5
27	高島達四郎	(1895-1976)	1921-1928	食卓	1927	油彩・キャンバス	80.9×99.8
28	木内 克	(1892-1977)	1922-1935	裸婦	1927	油彩・厚紙	50.0×66.0
29	小寺健吉	(1887-1977)	1922-1923, 1927-1928	風景	1922	油彩・キャンバス	45.7×60.9
30	霧鳥正三郎	(1884-1982)	1922-1923	婦人	1923	油彩・キャンバス	81.3×65.2
32	三輪四郎	(1898-1924)	1922	裸婦習作	1923-24	油彩・キャンバス	73.5×60.2
33	若山為三	(1893-1961)	1922-1924	茶色い服の婦人	1922-24	油彩・キャンバス	91.7×64.2
34	大久保作次郎	(1890-1973)	1923-1927	塔のある風景	1928	油彩・キャンバス	80.3×65.4

No.	作家名	生没年	渡仏期間	タイトル	制作年	素材・技法	寸法(cm)
35	中村研一	(1895-1967)	1923-1928	モレー風景	1923-28	油彩・キャンバス	60.5×50.0
36	鈴木 誠	(1897-1969)	1923-1927	習作	1925	油彩・キャンバス	52.0×71.7
40	清水登之	(1887-1945)	1924-1926	肉屋	1926	油彩・キャンバス	80.0×65.2
41	福沢一郎	(1898-1992)	1924-1931	大砲のある静物	1931	油彩・キャンバス	88.0×115.3
42	森田元子	(1903-1969)	1924-1927	婦人	1925-27	油彩・キャンバス	72.7×60.7
44	旭谷左右	(1894-1938)	1925-1926	風景	1925	油彩・キャンバス	24.5×33.5
45	平賀亀祐	(1889-1971)	1925-1971	牡蠣のある静物	1928	油彩・板	46.0×55.0
46-1	伊原宇三郎	(1894-1976)	1925-1929	カナペの女	1926	油彩・キャンバス	90.0×145.6
46-2	伊原宇三郎	(1894-1976)	1925-1929	「室内群像」下絵	1926-28	木炭・紙	116.0×93.0
47	児島善三郎	(1893-1962)	1925-1928	窓からの風景	1925-28	油彩・キャンバス	60.6×45.5
48	佐分 真	(1898-1936)	1927-1932	男の肖像	c.1930	油彩・キャンバス	46.0×38.0
49	大橋了介	(1895-1943)	1927-1933	町外れの家	1927-33	油彩・キャンバス	60.6×73.3
50-1	荻須高德	(1901-1986)	1927-1940	パリのカフェ	1931	油彩・キャンバス	60.6×72.7
50-2	荻須高德	(1901-1986)	1927-1940	にわとり	c.1938	油彩・キャンバス	38.5×46.4
51	横手貞美	(1899-1931)	1927-1931	習作 II (裸体)	c.1929	油彩・キャンバス	55.0×46.0
52	宮田重雄	(1900-1971)	1927-1930	ヴァリエ・シュール・モラン	1929	油彩・キャンバス	60.3×73.3
53	北 蓮蔵	(1876-1949)	1927-1930	コンセルジュ	1929	油彩・キャンバス	146.3×113.8
54	木下義謙	(1898-1996)	1928-1932	ナンセル嬢	1928	油彩・キャンバス	46.3×37.9
55-1	村井正誠	(1905-1990)	1928-1932	ゴルジュ・ド・ルー	1928	油彩・キャンバス	80.4×100.4
55-2	村井正誠	(1905-1990)	1928-1932	アラブの店	1929	油彩・キャンバス	100.2×80.7
56	栗原 信	(1894-1966)	1928-1931	風景	1931	油彩・キャンバス	60.7×73.3
57	上野春香	(1896-1978)	1928-1930	キヤーニウ風景	1929	油彩・キャンバス	80.6×100.0
58	小堀四郎	(1902-1998)	1928-1933	モンシーニ老人	1930	油彩・キャンバス	71.0×59.0
59	鈴木千久馬	(1894-1980)	1928-1929	婦人半身	1929	油彩・キャンバス	73.0×60.7
60	鈴木良三	(1898-1996)	1928-1931	クラマルの寺院	1931	油彩・キャンバス	80.5×65.0
61-1	益田義信	(1905-1990)	1928-1931	コルテの家	1930	油彩・キャンバス	60.0×73.0
61-2	益田義信	(1905-1990)	1928-1931	コルシカ風景	1930-32	油彩・キャンバス	60.0×73.0
62	島村三七雄	(1904-1978)	1929-1936	セーヌの釣り	1929-36	油彩・キャンバス	53.0×65.2
63	加山四郎	(1900-1972)	1930-1933	裸体習作	1931	油彩・キャンバス	91.0×60.6
64-1	矢橋六郎	(1905-1988)	1930-1933	ボン・サン・ミッシェル	1931	油彩・キャンバス	80.4×100.0
64-2	矢橋六郎	(1905-1988)	1930-1933	風景 ミューゼリリニー、パリ	1930-31	油彩・ボード	24.0×33.0
64-3	矢橋六郎	(1905-1988)	1930-1933	風景 パリ、ルーブルにて	1930-31	油彩・板	23.9×33.1
65-1	山口 薫	(1907-1968)	1930-1933	巴里の屋根	1930	油彩・キャンバス	45.6×37.7
65-2	山口 薫	(1907-1968)	1930-1933	椅子に凭れる裸婦	1930-33	油彩・キャンバス	72.8×60.7
66	工藤信太郎	(1900-1953)	1931-1936	コロー横写	1936	油彩・キャンバス	55.5×46.0
67	山尾薫明	(1903-1999)	1932-1934	夜のノートル・ダム	1933	油彩・キャンバス	81.1×53.1
68	田崎廣助	(1898-1984)	1932-1934	パリの初夏	c.1932-1934	油彩・板	23.7×32.9
69	田中佐一郎	(1900-1967)	1932-1933	人物	1932-33	油彩・キャンバス	45.5×53.0
70-1	椿 貞雄	(1896-1957)	1932-1932	アンドレ	1932	油彩・紙	19.0×9.0
70-2	椿 貞雄	(1896-1957)	1932-1932	裸のアンドレ	1932	油彩・紙	21.3×26.6
71-1	荒井龍男	(1904-1955)	1934-1936	プラス・サンミッシェル	1935	油彩・キャンバス	60.6×50.1
71-2	荒井龍男	(1904-1955)	1934-1936	裸婦	c.1933-36	油彩・板	22.7×15.6
72	清野 恒	(1910-1995)	1935-1938	エチュード D	1938	油彩・キャンバス	73.0×61.0
73	角 浩	(1909-1994)	1937-1939	パリの屋根	1938	油彩・キャンバス	80.7×100.2
74	猪熊弦一郎	(1902-1993)	1938-1940	ノートル・ダム	1938-39	油彩・キャンバス	81.2×54.3

※上記リストの作品はすべて目黒区美術館所蔵

■作家関連資料

No.	資料名	No.	資料名
資-01	澤部清五郎関係資料(写真アルバム、スケッチブック、クロッキーほか)	資-11	列車のチケット(パリ、アヴィニヨン、ニース)
資-02	書籍(島崎藤村『エトランゼエ』、福原信三『巴里とセエヌ』、小杉未醒『画筆の跡』、サロン・ドートンヌのカタログ)	資-12	パリ市内の交通機関チケット
資-03	絵葉書(澤部清五郎旧蔵)	資-13	パリーバスティエユ時刻表 1928年
資-04	藤田嗣治の円形テーブル	資-14	フランス国有鉄道時刻表 1928年
資-05	藤田嗣治のトランク	資-15	列車時刻表 1928年
資-06	渡航時の資料(パスポート、船舶資料等)	資-16	パリを中心とする地図・交通案内
資-07	中村義夫のワードローブ・トランク	資-17	パリ市内地図 1924年頃
資-08	伊原宇三郎の旅行用トランク	資-18	パリ市内地図
資-09	伊原宇三郎のイーゼル	資-19	パリ郊外地図
資-10	絵葉書(アミアン Amlens / アヴィニヨン Avignon / プザンソン Besançon / クラマルル Clamart / エトルタ Etretat / フォンテーヌブロー Fontainebleau / リヨン Lyon / ノルマンディ Normandie / ロバンソン Robinson / ルーアン Rouen / サン=シル=シュル=モラン Saint-Cyr-sur-Morin / シュレンヌ Suresnes)	資-20	展覧会パンフレット、案内状
		資-21	サロン・ドートンヌのカード
		資-22	音楽会などのプログラム
		資-23	デパートのカタログ
		資-24	煙草のパッケージ



A4チラシ



ミュージアムシート[004]

# めぐろの子どもたち展

## 平成26年度目黒区立幼稚園・こども園、小・中学校連合展覧会

会期：2015年1月17日(土)～2月1日(日) 14日間

会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ、  
区民ギャラリー

主催：目黒区立幼稚園・こども園長会、目黒区立小学校長会、  
目黒区立中学校長会、目黒区立特別支援学級設置校長会、  
目黒区教育会、(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館、  
目黒区、目黒区教育委員会

入場者数：9,690人

担当学芸員：樽谷孝子



同時開催：米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画作品展、  
中国北京市東城区児童・生徒書画展

本展では、区立幼稚園・こども園、小学校、中学校(特別支援学級を含む)の幼児・児童・生徒が平成26年度の授業中に創作した作品を展示し、区立学校における美術教育の成果を区民の方々に紹介した。同時に本展覧会の鑑賞を通じて、子どもたちの情操を育むことを目的として開催している。

また、同時開催として、米国ジョージア州チェロキー郡の児童・生徒の絵画作品展および中国北京市東城区の児童・生徒書画展を開催した。(出品数 4,382点)

### ● 広報印刷物

ポスター：B2/チラシ：A4

内容：ごあいさつ(主催者) | 特別支援学級 | 幼稚園・こども園 | 小学校・図工 | 小学校・書写 | 中学校・美術 | 中学校・書写 | 米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画作品展 | 北京市東城区児童・生徒書画展



A4チラシ

## ふたつの時代 ―所蔵品でたどる「パリの日本人」

### 第二部 戦後世代の横顔―パリの革新、1950～60年代

#### 特集展示 「秋岡芳夫全集3―版画」

会期：2015年2月14日(土)～3月22日(日) 32日間  
 会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール  
 主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館  
 入場者数：3,097人  
 担当学芸員：佐川夕子、山田敦雄

同時開催：ワークショップ春「積み木から摩天楼まで」



秋開催の第一部(戦前編)を受けて、続く本展、第二部(戦後編)では、戦後まもない1950年頃から1960年代に焦点をあて、パリで飛躍、活躍していった作家たちをふり返った。

第二次世界大戦後、海外への渡航が可能になった1950年代、二つの世代の作家たちがパリに向かった。一つは戦前のヨーロッパを知る作家たち。戦争を機に帰国を余儀なくされたものの、敗戦と同時にパリに戻ることを望み、出国を許された者たちは、再びパリを目指してフランスに渡った。もう一つは、新たに登場した美術家としての戦後世代である。

本展は、戦前のパリを知る世代と戦後に登場した新しい世代の二世代の混在を念頭に、主に後者の戦後世代に注目し、戦後の早い時期の海外体験を中心に展示を構成し、今井俊満、堂本尚郎、菅井汲たちを紹介した。また、戦後滞仏した目黒とゆかりの深い作家、成井弘や住川忠夫もとりあげた。さらに、所蔵品の中から、当時の美術の動きや渡仏作家と関連する作品等もあわせて展示を行った。

戦前、戦後と変貌を遂げながらも変わらぬ本質を持ち続けた二つの時期を、当館のコレクションで見直すことは、明治以来、西欧に学んだ多くの日本人画家とその作品が、日本美術にどのような影響を与え、どのような動きをもたらしたのかを知るきっかけとなり、本展が取り扱う1950年代から60年代が現代の日本の美術の基盤にあることを確認する機会となった。また、同時に目黒のデザイナー 秋岡芳夫の作品、資料を紹介する特集展示のシリーズの第三弾「秋岡芳夫全集3―版画」を開催した。

#### ●ミュージアムシート [005-150214]

サイズ：A4、4ページ

内容：ごあいさつ | 所蔵品でたどるパリの日本人・戦後世代の横顔(佐川夕子) | 秋岡芳夫全集3 版画(降旗千賀子) | 会場記録

#### ●広報印刷物

ポスター：B3 / チラシ：A4 デザイン：山田敦雄

#### ●関連催事

1. 大人のための美術カフェ1

2月21日(土) 15:30～17:00 / 担当：田中晴久(当館館長) / 参加者：12名

2. 大人のための美術カフェ2

3月7日(土) 15:30～17:00 / 担当：佐川夕子(当館学芸員) / 参加者：9名

\*ワークショップ春は教育普及の項参照(p.72)

## 出品リスト

## 凡例

- ・出品番号(No.)、作家名、生没年と渡仏期間、タイトル、制作年、素材・技法、寸法(cm)の順に記載した。
- ・所蔵先欄に「\*」印のあるものは小杉放菴記念日光美術館の所蔵、印の無いものは目黒区美術館の所蔵である。
- ・出品番号は原則的に渡仏した年の順番に与え、複数作品の展示があるものは枝番表記とした。
- ・記載する「渡仏期間」は、第二次世界大戦前までの時期とした。

No.	作家名	生没年	渡仏期間	タイトル	制作年	素材・技法	寸法(cm)	所蔵先
プロローグ〜巴里の誘惑								
1	荻須高德	(1901-1989)	1927-1940, 1948-1986	サンマルタン通り	1960	水彩・紙	32.0×50.0	
2-1	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	キス・ミー	1946	彩色、木	8.5×19.0×4.5	
2-2	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	猫とねずみ	1947	陶器	20.0×33.0×6.0	
2-3	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	家族	1948	油彩・キャンバス	45×37.0	
2-4	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	眼	1948	水彩・紙	45.0×51.0	
2-5-1	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	書簡 (フランク・シャーマン宛) 1949年3月5日(誤記)	1949	インク・紙	21.2×14.0	
2-5-2	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	書簡 (フランク・シャーマン宛) 1949年3月22日	1949	インク、水彩・紙	21.2×27.7	
2-5-3	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	書簡 (フランク・シャーマン宛) 1949年3月24日	1949	インク・紙	10.5×27.5	
2-5-4	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	書簡 (フランク・シャーマン宛) 1949年3月28日	1949	インク・紙	12.8×20.2	
2-5-5	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	書簡 (フランク・シャーマン宛) 1949年3月28日 午後9時	1949	インク・紙	12.8×20.4	
2-5-6	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	書簡 (フランク・シャーマン宛) 1949年3月30日	1949	インク、水彩・紙	20.4×12.8	
2-5-7	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	書簡 (フランク・シャーマン宛) 1949年3月31日	1949	インク、水彩・紙	20.0×25.0	
2-5-8	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	書簡 (フランク・シャーマン宛) 1949年4月2日	1949	インク・紙	21.3×27.5	
2-5-9	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	書簡 (フランク・シャーマン宛) 1949年4月3日	1949	インク、水彩・紙	21.2×27.5	



No.	作家名	生没年	渡仏期間	タイトル	制作年	素材・技法	寸法 (cm)	所蔵先
2-5-10	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	書簡 (フランク・シャーマン宛) 1949年4月6日	1949	インク・紙	20.2×12.8	
2-5-11	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	書簡 (フランク・シャーマン宛) 1949年4月10日	1949	インク、水彩・紙	12.8×20.0	
2-5-12	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	書簡 (フランク・シャーマン宛) 1949年4月11日	1949	(1)インク、水彩・紙 (2)インク、水彩・紙	(1)12.8×20.2 (2)12.8×18.0	
2-5-13	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	書簡 (フランク・シャーマン宛) 1949年4月14日	1949	インク、水彩・紙	21.2×27.5	
2-5-14	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	書簡 (フランク・シャーマン宛) 1949年4月15日	1949	インク、水彩・紙	23.7×22.2	
2-5-15	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	書簡 (フランク・シャーマン宛) 1949年4月17日	1949	インク、水彩・紙	19.8×22.2	
2-5-16	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	書簡 (フランク・シャーマン宛) 1949年4月18日	1949	インク、水彩・紙	22.8×23.5	
2-5-17	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	書簡 (フランク・シャーマン宛) [1949年4月18日]	1949	インク、水彩・紙	12.5×22.2	
2-5-18	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	書簡 (フランク・シャーマン宛) 1949年4月20日	1949	インク、水彩・紙	10.2×25.0	
2-5-19	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	書簡 (フランク・シャーマン宛) 1949年4月23日	1949	インク、木版・紙	19.0×10.7	
2-5-20	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	書簡 (フランク・シャーマン宛) 1949年4月23日	1949	インク、水彩、 木版・紙	19.0×20.8	
2-5-21	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	書簡 (フランク・シャーマン宛) 1949年4月26日	1949	(1)インク、水彩・紙 (2)インク、水彩・紙	(1)19.3×13.8 (2)12.0×13.0	
2-5-22	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	書簡 (フランク・シャーマン宛) 1949年5月5日	1949	(1)インク、水彩・紙 (2)インク、水彩・紙	(1)27.0×17.0 (2)27.0×18.0	
2-5-23	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	書簡 (フランク・シャーマン宛) 1949年5月12日	1949	インク、水彩・紙	25.0×20.0	
2-5-24	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	書簡 (フランク・シャーマン宛) 1949年5月13日	1949	(1)インク、水彩・紙 (2)インク、水彩・紙	(1)25.0×20.0 (2)14.0×16.2	
2-5-25	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	書簡 (フランク・シャーマン宛) 1949年5月21日	1949	インク、水彩・紙	25.0×20.0	

No.	作家名	生没年	渡仏期間	タイトル	制作年	素材・技法	寸法 (cm)	所蔵先
2-5-26	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	書簡 (フランク・シャーマン宛) 日付不明	日付不明	インク、水彩・紙	27.0×16.5	
2-5-27	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	書簡 (フランク・シャーマン宛) 日付不明	日付不明	インク、水彩・紙	27.2×19.0	
2-5-28	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	書簡 (フランク・シャーマン宛) 日付不明	日付不明	インク、水彩・紙	20.2×12.8	
2-5-29	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	書簡 (フランク・シャーマン宛) 日付不明	日付不明	インク、水彩・紙	18.6×13.3	
2-5-30	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	書簡 (フランク・シャーマン宛) 日付不明	日付不明	インク・紙	12.5×20.0	
2-6	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	ゲッパイ・ニューヨーク	1950	木版、コラージュ・紙	21.5×22.0	
2-7	藤田嗣治	(1886-1968)	1913-1929, 1930-1931, 1939-1940, 1950-1968	人形を持った少女	1951	水彩・紙	21.0×16.0	
1. 戦後世代の横顔								
3-1	田淵安一	(1921-2009)	1951-2009	天の史	1954	油彩・キャンバス	85.1×72.8	
3-2	田淵安一	(1921-2009)	1951-2009	影の通り道	1959	油彩・キャンバス	160.3×90.4	
4-1	今井俊満	(1928-2002)	1952-1968	黒い太陽	1956	油彩・キャンバス	60.1×92.3	
4-2	今井俊満	(1928-2002)	1952-1968	新緑	1958	油彩・キャンバス	100.0×110.0	
4-3	今井俊満	(1928-2002)	1952-1968	コンポジション	1958	油彩・キャンバス	72.8×52.6	
4-4	今井俊満	(1928-2002)	1952-1968	サジテール	1961	油彩・紙	48.0×63.0	
4-5	今井俊満	(1928-2002)	1952-1968	ゴーゴーガール	1965	塗料、コラージュ・紙	65.0×50.0	
4-6	今井俊満	(1928-2002)	1952-1968	黒い太陽	1965	塗料・紙	65.0×50.0	
4-7	今井俊満	(1928-2002)	1952-1968	黒猫と少女	1965	塗料、コラージュ・紙	65.0×50.0	
4-8	今井俊満	(1928-2002)	1952-1968	男	1965	塗料、コラージュ・紙	65.0×50.0	
5	堂本尚郎	(1928-2013)	1952, 1955-1967	コンポジション	1959	油彩・キャンバス	114.3×162.2	
6-1	菅井 汲	(1919-1996)	1952-1996	風景	1953	油彩・キャンバス	45.6×60.7	
6-2	菅井 汲	(1919-1996)	1952-1996	白	1956	水彩・紙	81.1×67.2	
6-3	菅井 汲	(1919-1996)	1952-1996	山	1958	油彩・キャンバス	99.8×81.0	
6-4	菅井 汲	(1919-1996)	1952-1996	山の道	1960	油彩・キャンバス	90.2×61.8	
6-5	菅井 汲	(1919-1996)	1952-1996	黒い手帖	1963	油彩・キャンバス	100.0×81.6	
7-1	野見山暁治	(1920-)	1952-1964	パリの郊外	1953	インク・グワッシュ・紙	37.5×51.5	
7-2	野見山暁治	(1920-)	1952-1964	ジプシーの小屋	1954	油彩・キャンバス	96.6×129.5	
7-3	野見山暁治	(1920-)	1952-1964	アニタ	1955-57	インク・グワッシュ・紙	49.0×32.0	
8-1	土屋幸夫	(1911-1996)	1954-1955	抽象構成	1954	油彩・キャンバス	97.0×125.5	

No.	作家名	生没年	滞仏期間	タイトル	制作年	素材・技法	寸法 (cm)	所蔵先
8-2	土屋幸夫	(1911-1996)	1954-1955	自画像	1955	油彩・キャンバス	89.0×64.0	
8-3	土屋幸夫	(1911-1996)	1954-1955	群像	1955	油彩・キャンバス	97.0×130.5	
8-4	土屋幸夫	(1911-1996)	1954-1955	パッサージュ	1959	油彩・キャンバス	191.0×260.0	
9-1	近藤吾朗	(1911-1999)	1957-1959	サン・ミッシェル通り	1957	油彩・キャンバス	72.7×116.5	
9-2	近藤吾朗	(1911-1999)	1957-1959	パリの窓	1957	油彩・キャンバス	100.5×80.9	
9-3	近藤吾朗	(1911-1999)	1957-1959	キャーニュー・シューメールの家	1957	油彩・キャンバス	91.2×116.8	
9-4	近藤吾朗	(1911-1999)	1957-1959	ブルターニュの少女	1957	油彩・キャンバス	91.2×65.5	
10	原 精一	(1908-1986)	1957-1958, 1965, 1970	ルーブル美術館夕景	c.1966	油彩・キャンバス	65.5×91.6	
11-1	田中阿喜良	(1918-1982)	1958-1982	レモン売り	1969	油彩・キャンバス	91.4×72.9	
11-2	田中阿喜良	(1918-1982)	1958-1982	顔 (タバコ)	制作年不詳	油彩・キャンバス	33.4×41.7	
11-3	田中阿喜良	(1918-1982)	1958-1982	顔	制作年不詳	油彩・キャンバス	35.1×27.6	
12	平松 譲	(1914-2013)	1963	ノルマンディーの古寺	1963-67	油彩・キャンバス	162.0×112.0	
13-1	住川忠夫	(1936-1987)	1967-1987	アゴンのために	1971	アクリル・ キャンバス	80.5×116.6	
13-2	住川忠夫	(1936-1987)	1967-1987	アゴン-イゴール・ ストラヴィンスキー讃 (グリーン)	1972	セリグラフ・紙	48.5×63.2	
13-3	住川忠夫	(1936-1987)	1967-1987	アゴン-イゴール・ ストラヴィンスキー讃 (レッド)	1972	セリグラフ・紙	50.0×65.0	
13-4	住川忠夫	(1936-1987)	1967-1987	線形成 I	1974	アクリル・ キャンバス	32.0×180.0	
13-5	住川忠夫	(1936-1987)	1967-1987	線形成 II	1974	アクリル・ キャンバス	32.0×180.0	
13-6	住川忠夫	(1936-1987)	1967-1987	線形成 III	1974	アクリル・ キャンバス	32.0×180.0	
13-7	住川忠夫	(1936-1987)	1967-1987	空間的現象	1976	アクリル・ キャンバス	200.0×114.0	
14	田中敦子	(1932-2005)		ターゲット	1962	アクリル・塗料・ キャンバス	146×108	
15	元永定正	(1922-2011)		作品	1961	油彩・キャンバス	133.0×99.0	
16	白髪一雄	(1924-2008)		天機星一智多星	1964	油彩・キャンバス	134.0×274.5	

## 2. 目黒ゆかりの滞仏作家—井手宣通、成井弘、中村直人

17-1	成井 弘	(1910-1999)	1952-1954	静物	1951	油彩・キャンバス	46.0×53.2	
17-2	成井 弘	(1910-1999)	1952-1954	ルクサンブル公園	1954	油彩・キャンバス	45.6×38.0	
17-3	成井 弘	(1910-1999)	1952-1954	時計台のある風景	1954	油彩・キャンバス	53.5×33.3	
17-4	成井 弘	(1910-1999)	1952-1954	マロニエの花の咲く頃	1954	油彩・キャンバス	45.6×38.0	
17-5	成井 弘	(1910-1999)	1952-1954	花		油彩・キャンバス	45.3×33.2	
17-6	成井 弘	(1910-1999)	1952-1954	滞仏期の資料 (スケッチブック、油彩画ほか)	1952-54			個人蔵
18-1	井手宣通	(1912-1993)	1955-1956	モンマルトル(巴里)	1955	油彩・キャンバス	61.0×73.2	
18-2	井手宣通	(1912-1993)	1955-1956	冬のモンパルナス通り	1955	油彩・キャンバス	46.3×55.0	
19-1	中村直人	(1905-1981)	1952-1964	パリの赤い家	1953	グワッシュ・紙	65.0×80.0	*
19-2	中村直人	(1905-1981)	1952-1964	パリ風景	1955	グワッシュ・紙	67.0×73.5	*
19-3	中村直人	(1905-1981)	1952-1964	裸婦	1955	グワッシュ・紙	60.0×45.0	*
19-4	中村直人	(1905-1981)	1952-1964	巴里の白い家	1960	グワッシュ・紙	53.3×64.3	*
19-5	中村直人	(1905-1981)	1952-1964	カルナバル	1960	乾漆	h.53.3	*
19-6	中村直人	(1905-1981)	1952-1964	シャルトルのステンドグラス	1961	グワッシュ・紙	91.0×60.0	*
19-7	中村直人	(1905-1981)	1952-1964	桃のある静物	1963	グワッシュ・紙	65.0×49.0	*
19-8	中村直人	(1905-1981)	1952-1964	パリの初夏	1964	グワッシュ・紙	57.0×72.5	*

No.	作家名	生没年	渡仏期間	タイトル	制作年	素材・技法	寸法 (cm)	所蔵先
19-9	中村直人	(1905-1981)	1952-1964	ピエロと鳥	1965	グワッシュ・紙	61,0×50,0	*
19-10	中村直人	(1905-1981)	1952-1964	荒天(ノルマンディ漁夫)	1967	グワッシュ・紙	65,0×79,0	*
3. 1950~60年代、日本の銅版画								
20	長谷川 潔	(1891-1980)	1918-1980	版画本『長谷川潔の肖像』 序文:トリストラン・クリングソール 本文:ロバール・レイ出版社: マニユエル・ブルケール出版	1963	銅版画	33,0×25,2	
21-1	浜口陽三	(1909-2000)	1930-1939, 1953-1981	パリの屋根	1956	カラーメゾチント・ 紙	14,8×19,9 (イメージ寸)	
21-2	浜口陽三	(1909-2000)	1930-1939, 1953-1981	編み棒	1985	メゾチント・紙	24,3×54,6 (イメージ寸)	
22-1	駒井哲郎	(1920-1976)	1954-1955	夜の中の女	1951	インタリオ・紙	23,0×18,3 (イメージ寸)	
22-2	駒井哲郎	(1920-1976)	1954-1955	魚又は毒	1962	エッチング・紙	25,9×35,9 (イメージ寸)	
22-3	駒井哲郎	(1920-1976)	1954-1955	鎮魂歌	1965	エッチング・紙	26,5×21,0 (イメージ寸)	
22-4	駒井哲郎	(1920-1976)	1954-1955	二つの旗のある風景	1972-73	モノタイプ・紙	19,0×19,6 (イメージ寸)	
22-5	駒井哲郎	(1920-1976)	1954-1955	静物	1975	アクアチント・ ソフトグラウンド エッチング・紙	18,3×15,0 (イメージ寸)	



A4チラシ



ミュージアムシート [005]

## II 教育普及事業

\* pp.69-76掲載画像の撮影:岡川純子

### (1) ワークショップ活動

#### 【平成24(2012)年度】

#### ① ワークショップ夏 「からだのワークショップⅣ(身体で見る展覧会)」

同時期に開催された古茂田守介展を「からだ」をつかった制作を経て「見る」プログラムを展開した。新たな取り組みとして3歳以上の幼児も対象としたプログラムも実施した。

担当学芸員:降旗千賀子

関連展覧会はp.14参照

#### ア. 色にまみれる一ふわっとフワフワ

講師:榎本寿紀(美術家・ワークショップエディター)

開催日:7月15日(日) 10:30~12:30

参加者:3歳以上 22名

子どもと大人が一緒になり、色とりどりの紙テープの森を制作し、その中で身体を動かした。制作と運動によってリラックスした身体で展示室の作品を見るプログラム。



24-①-ア

#### イ. カオカオ星人で古茂田守介を見に行こう!

講師:榎本寿紀(美術家・ワークショップエディター)

開催日:7月15日(日) 14:00~16:00

参加者:3歳以上 17名

顔を真っ白に塗ることで顔の表情を際立たせ、周囲の人たちとの一体感を生み出す「カオカオ星人」に変身。展示作品中の人物と同じ表情、ポーズに挑戦しながら、じっくりと作品を鑑賞した。



24-①-イ

#### ウ. からだと遊ぼう~からだ鑑賞!

講師:榎本寿紀(美術家・ワークショップエディター)

開催日:8月2日(木)、3日(金)、11日(土) 全3日間 10:30~16:30

参加者:小中学生 6名

光や映像を身体にあてる。参加者全員が大きな紙にくるまる、といった身体の動作を通じて、新しい「からだ」に向き合った。自分の身体を意識しながら、古茂田守介展を3日間鑑賞した。

#### エ. 身体を見る・身体で見る一私と古茂田守介の世界

講師:榎本寿紀(美術家・ワークショップエディター)

開催日:8月5日(日)、12日(日) 全2日間 10:30~16:30

参加者:小学4年生以上 5名

普段使い慣れない身体を少しずつ解きほぐしながら、自分の身体を再発見するプログラム。リラックスした身体と研ぎ澄まされた感覚で、大人も子どもも同じ視線で作品を「見る」能動的な作品鑑賞を実施した。



24-①-オ

#### オ. ファミリーワークショップ からだを測って遊んでみよう

進行:TVT(トイコレクションボランティアチーム)

開催日:8月18日(土)、19日(日) 全2日間 13:00~16:00

参加者:4歳以上の二名一組の家族 2組4名

眼の幅、鼻の長さ、顔の幅。家族同士がお互いの身体の部分を測って、それぞれの表情の違いを認識した。布を等身大に切抜き、床でいろいろな構成を行い、身体を通して家族間での新たな発見を楽しんだ。

#### ② ワークショップ春 「写真と遊ぶ」

記憶写真展と連動した写真にまつわるプログラムを多彩に展開した。

担当学芸員:和田佐知子、降旗千賀子

関連展覧会は p.26参照

#### ア. 本格派写真ワークショップ 銀塩写真に挑戦しよう!撮影+現像+紙焼き

講師:内田芳孝(写真家・ノマディック工房)

開催日:2月23日(土)、24日(日)、3月2日(土) 全3日間 13:00~17:30

参加者:中学生以上 9名

デジタル化によって失われつつある、「現像」や「紙焼き」といった手作業を必要とする「銀塩写真」について、そのしくみのレクチャーや、実際に暗室での現像やプリントを行った。



24-②-ア

#### イ. 太陽さん、一緒につくりましょう!日光写真の不思議

講師:榎本寿紀(美術家・ワークショップエディター)

開催日:3月10日(日) 10:30~12:30

参加者:3歳から小学2年生まで 22名

家から持ち寄ったいろいろな物を構成しワークショップ内で太陽の力を利用した「日光写真」を行った。そのあとに、昔の目黒風景の展覧会をみんなで鑑賞した。

ウ. 写真でつくろう!でんしゃゴッコ

講師:榎本寿紀(美術家・ワークショップエディタ)

開催日:3月10日(日) 14:00~16:00

参加者:3歳から小学2年生まで 24名

展示されている目黒区内の電車やトロリーバスの写真を鑑賞し、各自が家から持ち寄った電車の写真を箱に貼るなどしてミニチュアをつくり、床に縦横にテープでつくった線路に構成した。



24-②-ウ

エ. 写真を使って遊ぼう~カメラいろいろアラカルト!アナログ編

講師:榎本寿紀(美術家・ワークショップエディタ)

開催日:3月16日(土)、17日(日) 全2日間 10:30~16:30

参加者:小学3年生以上 26名

写真の原理を学び、日光写真やピンホールカメラなどのさまざまな技法に挑戦し、デジタル世代にも写真の新たな魅力を子供たちに伝えていった。

【平成25(2013)年度】

①ワークショップ夏 「PAPER+(ペーパープラス)」

PAPER展にあわせ、紙をテーマとした7つのプログラムを開催した。特に幼児を視野に入れ、新しい体験や発見を促すように、紙との様々な触れあい方を実践した。

担当学芸員:佐川夕子

関連展覧会はp.36参照

ア. PAPER+かんじる ○△□の紙吹雪シャワーをあびる

講師:榎本寿紀(美術家・ワークショップエディタ)

開催日:8月3日(土) 10:30~12:30

参加者:3歳から小学校2年生まで 24名

幼児を中心に、カラフルな紙テープや色紙などを使用して、紙の軽やかさや形の変化を、全身でシャワーのように浴びて体験して、展示では、紙の世界を鑑賞した。



25-①-ア

イ. PAPER+ひかり ☆☆☆の下でゴロゴロする

講師:榎本寿紀(美術家・ワークショップエディタ)

開催日:8月3日(土) 14:00~16:00

参加者:3歳から小学校2年生まで 23名

展示室でのPAPER展作品鑑賞後に、大きな黒い紙に様々な穴をあけることで、室内に影と光があふれる星空をつくり出した。

ウ. PAPER+おる 折り紙ランドをつくろう

講師:榎本寿紀(美術家・ワークショップエディタ)

開催日:8月4日(日) 10:30~12:30

参加者:3歳から小学校2年生まで 26名

秋岡芳夫の「紙工作」を鑑賞し、切る、折る、立てることで立体になる紙の特性を伝えた。その後、個々の制作物をあわせて街をつくり上げた。

エ. PAPER+とどける 一枚の贈りもの

講師:榎本寿紀(美術家・ワークショップエディタ)

開催日:8月4日(日) 14:30~16:00

参加者:3歳から小学校2年生まで 15名

持ち寄った包装紙などから紙漉き体験をし、はがきを制作した。当館所蔵の「引き出し博物館」の「日本の紙」の引き出しを使用して、紙の特質や歴史についても学んだ。



25-①-エ

オ. PAPER+切・折・丸・貼 ピカピカの街・黄金都市をつくる

講師:榎本寿紀(美術家・ワークショップエディタ)

開催日:8月10日(土)・11日(日) 全2日間 10:30~16:30

参加者:小学校3年生以上 13名

協同で大きな紙の造形に取り組んだ。金と銀の厚紙を使用し、黄金都市をイメージしながら、それぞれが建物を制作し大きな都市をつくりあげた。



25-①-オ

カ. PAPER+香り 本の香りを読み解く

講師:井上尚子(美術家)、白須未香(嗅覚研究者)

開催日:8月31日(土)11:00~16:30、9月1日(日)13:30~16:30 全2日間

参加者：中学生以上 19名

美術家と嗅覚研究者の講師により考案された香り遊び「読香(よみこう)」を実施。持参した本と図書館の本を使用し、匂い当てと言葉あわせを楽しむ充実したプログラムとなった。

キ. PAPER+あそび 紙を漉こう! 紙であそぼう!

進行：TVT(トイコレクションボランティアチーム)

開催日：8月17日(土)・18日(日) 全2日間 13:00~16:00

参加者：4歳以上の二人一組の家族 10組20名

親子で紙漉き体験後に、「命の実」をイメージしたカラフルな丸い張り子を作り、スタッフが制作した大きな木に実らせた。紙を通してコミュニケーションを深めるプログラムとなった。



25-①-キ

②ワークショップ春 「色」と「絵具」

絵画材料の顔料・絵具について科学的に学ぶ連続講座と、同時開催の岡田謙三展にあわせて、「色」とその「重なり」に着目したプログラムを展開した。

担当学芸員：降旗千賀子

関連展示会はp.43参照

ア. お話と公開制作 連続4回講座 絵画の基本 絵具とメディウム

講師：植本誠一郎(日本大学非常勤講師・元ホルベイン工業株式会社研究室長)

協力・協賛：ホルベイン工業株式会社、ホルベイン画材株式会社、三吉ウエマツ

40年間にわたって絵画材料の研究に化学者として携わってきた講師をむかえ、顔料や染料などの色材、これらを練って定着させるメディウム(練り材)、絵具を支える木や紙、土壁などの基底材とその相互関係、さらに絵画と絵具をめぐる「水と油」の興味深く本質的な問題など、科学的アプローチで、実験・実演をまじえ、本格的な連続講座として開催した。



25-②-ア

1. 「東」の顔料と「西」の顔料

開催日：2月16日(日) 13:00~17:00

参加者：高校生以上 22名

2. 色材を練るもの—東西のメディウム

開催日：3月2日(日) 13:00~17:00

参加者：高校生以上 61名

3. 絵が描かれるもの—東西の基底材

開催日：3月16日(日) 13:00~17:00

参加者：高校生以上 64名

4. 植本誠一郎 40年の研究成果

開催日：3月29日(土) 13:00~17:00

参加者：高校生以上 49名

イ. 色をまとう—変身カラフルスーツ

講師：榎本寿紀(美術家・ワークショップエデュケーター)

開催日：2月23日(日) 10:30~16:30

参加者：小学1年生から大人 22名

岡田謙三作品の美しい色の重なりを鑑賞後、自分の身体を型紙にして茶紙とエアキャップで、すっぽりかぶれるカラフルスーツをつくり、色の立体的な重なりを楽しみながら学んだ。



25-②-イ

ウ. 色と色を重ねて遊ぶ—コラージュ大作戦

講師：清瀬ゆり亜(ミュージアムエデュケーター)

開催日：3月9日(日) 13:00~17:30

参加者：小学3年生から中学生 15名

岡田謙三展の色彩ゆたかな作品をじっくりと鑑賞し、どのような色が重ねられていたかを話し合った後、多様な色と手触りの紙によるコラージュを制作した。



25-②-ウ

【平成26(2014)年度】

①ワークショップ夏 「ジョージ・ネルソンとデザイン」

ジョージ・ネルソン展にあわせて、椅子やデザインをテーマに5回のワークショップを開催した。参加者はデザインとは何かを実際に自ら考え、素材を選択し、手を動かすことにより考察を深めた。

担当学芸員：降旗千賀子

関連展示会はp.51参照

ア. 小さな椅子のデザイナー 1-1

講師：清瀬ゆり亜（ミュージアムエドゥケーター）

開催日：7月20日（日） 13:30～16:30

参加者：小学校1年生から6年生まで 13名

家にある椅子をスケッチして持ち寄りみんなで見た。ジョージ・ネルソン展鑑賞後にそれぞれが椅子をデザインし、紙やワイヤーといった様々な素材で、自分だけの小さな椅子を制作した。

イ. 小さな椅子のデザイナー 1-2

講師：清瀬ゆり亜（ミュージアムエドゥケーター）

開催日：8月9日（土） 14:30～16:30

参加者：家族 9組18名

家族で好きな素材を選んで小さな椅子を制作した。親子で一緒に椅子の構造を考え、一緒にひとつの椅子を作り上げる難しさと楽しさを共有した。

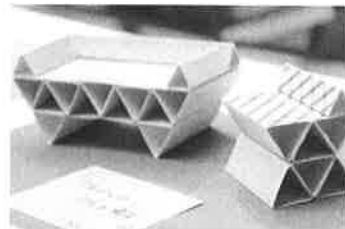
ウ. 小さな椅子のデザイナー 1-3

講師：清瀬ゆり亜（ミュージアムエドゥケーター）

開催日：8月16日（土） 13:30～16:30

参加者：高校生以上 15名

ゆっくりとネルソン展を鑑賞し、紙やストロー、シールなど、素材の質感に着目しながら、小型の家具を制作した。制作の中でバランスや構造など、家具のデザインについて考えるプログラムとなった。



26-①-ウ

エ. お菓子でつくるネルソンの家具 2-1

講師：和田菜穂子（建築史家・DA企画室室長）

開催日：7月21日（月・祝） 13:30～16:30

参加者：小学校3年生以上中学生まで 15名

ネルソンの「マシュマロソファ」や「ボールクロック」が、どのような作りをしているのか展示作品を観察し、本物のお菓子、マシュマロやチョコボールを使用して小型の家具を制作した。ワークショップルームがマシュマロの甘い匂いで満たされた。



26-①-エ

オ. お菓子でつくるネルソンの家具 2-2

講師：和田菜穂子（建築史家・DA企画室室長）

開催日：8月2日（土） 13:30～16:30

参加者：高校生以上 14名

大人を対象としたプログラム。2-1と同じ内容だが、使用のお菓子の種類を増やし、ウエハースやクッキーなど、その形状を活かした家具が制作された。

②ワークショップ春 「積み木から摩天楼まで」

当館で所蔵するスイスのネフ社による、高いデザイン性と柔軟性をあわせもつ木を素材とした玩具（トイ）、ネフスピールやリグノなどを活用したプログラム。

担当学芸員：降旗千賀子

関連展覧会はp.63参照

ア. キヨキヨワークショップ 積み木大作戦—摩天楼をつくらう

講師：清瀬ゆり亜（ミュージアムエドゥケーター）

開催日：2月28日（土）、3月1日（日） 13:30～16:30 全2日間

参加者：小学校1年生から中学生 16名

個々にトイに触れた後、徐々にグループとなり、摩天楼をイメージしてトイを組み合わせていった。多様な組み合わせが可能なトイの特性を互いの発想力に触れる中で理解し、トイの魅力が如何なく展開されたプログラム。



26-②-ア

イ. 積み木で遊ぶ建築—街づくり

講師：石田 潤（建築家・リンク建築設計工房）

開催日：3月15日（日） 13:30～17:00

参加者：小学校3年生から中学生、高校生以上 18名

ネフスピールがどのようなカットで作られているかを学び、組み方に注目しながら積み上げていった。また、各チームで建造物を制作しながら、ひとつの街を完成させていく、建築家ならではのプログラムとなった。



26-②-イ

ウ. 積み木と建築—世界をつくる

講師：石田 潤（建築家・リンク建築設計工房）

開催日：3月21日（土・祝） 13:30～17:00

参加者：高校生以上 10名

ネフ社の積み木を使用し、国内外の建築写真を手本に、積み木で近い形に再現することを試みた。その後、実在する建築と想像の建築物が共存する美しい街をつくり上げた。



## (2) アウトリーチ | トイの日

### ① アウトリーチ

目黒区美術館にとどまらず、館外に出かけてトイコレクションを使った活動を実施した。



(2)ー①

#### 【平成24(2012)年度】

##### ア. つみき動物園計画

進行: TVT(トイコレクションボランティアチーム)  
開催日: 5月26日(土) 13:30~15:00  
場所: 目黒区民センター児童館  
参加者: 74名

##### イ. ○△□の世界を作ろう~パズル編

進行: TVT(トイコレクションボランティアチーム)  
開催日: 6月23日(土) 13:30~15:00  
場所: 油面住区センター児童館  
参加者: 36名

##### ウ. サンタが街にやってきた! 積み木でつくるクリスマス街

進行: TVT(トイコレクションボランティアチーム)  
開催日: 12月15日(土) 13:30~15:00  
場所: 目黒区民センター児童館  
参加者: 50名

#### 【平成25(2013)年度】

##### ア. つみきでつくる・ひがえりバスツアー

進行: TVT(トイコレクションボランティアチーム)  
開催日: 5月18日(土) 13:30~15:00  
場所: 目黒区民センター児童館  
参加者: 77名

##### イ. トイコレクションで遊ぶ

進行: TVT(トイコレクションボランティアチーム)  
開催日: 6月20日(木) 10:30~11:30  
場所: 目黒区美術館  
参加者: 16名

##### ウ. クリスマスの森~積み木でつくるプレゼント

進行: TVT(トイコレクションボランティアチーム)  
開催日: 12月21日(土) 13:30~15:00  
場所: 目黒区民センター児童館  
参加者: 114名

#### 【平成26(2014)年度】

##### ア. パッパずるずるパズルの日

進行: TVT(トイコレクションボランティアチーム)  
協力: 目黒区民センター児童館  
開催日: 5月31日(土) 13:30~15:00  
場所: 目黒区民センター児童館  
参加者: 65名

##### イ. 目黒区美術館がやってくるよ! 子どものためのプログラム つみ木のまちのクリスマス

進行: TVT(トイコレクションボランティアチーム)  
協力: 目黒区民センター児童館  
開催日: 12月20日(土) 13:30~15:00  
場所: 目黒区民センター児童館  
参加者: 63名

### ② トイの日

美しく造形的な積み木による感性教育、造形遊びを養うために実施。目黒区美術館TVT(トイコレクションボランティアチーム)が、当館の教材であるトイコレクションでの遊びをサポートした。

#### 【平成24(2012)年度】

開催日: 7月21日(土)、22日(日) 各日13:00~16:00  
参加者: 延べ158名

#### 【平成25(2013)年度】

開催日: 7月25日(木)、26日(金) 各日13:00~16:00  
参加者: 延べ331名

#### 【平成26(2014)年度】

開催日: 2月14日(土)、15日(日) 各日13:00~16:00  
参加者: 延べ233名

## (3) ギャラリーツアー (小学校の授業と連携)

#### 【平成24(2012)年度】

総参加者数 838人

##### 古茂田守介展

1. 中根小学校	7月19日	3年生	80人
2. 江東区立深川第四中学校	7月27日	混合	24人
3. 品川区立清水台小学校	7月31日	4~6年生	15人
4. 大田区立清水窪小学校	8月3日	混合	33人
5. 下目黒小学校	8月28日	6年生	39人
6. 下目黒小学校	8月29日	1年生	50人
7. 下目黒小学校	8月30日	2年生	41人
8. 下目黒小学校	8月31日	3年生	40人

##### 川村清雄展

1. 向原小学校	11月28日	5年生	36人
2. 原町小学校	11月29日	6年生	51人
3. 油面小学校	12月4日	6年生	51人
4. 下目黒小学校	12月6日	2年生	42人
5. 下目黒小学校	12月7日	4年生	25人
6. 下目黒小学校	12月12日	5年生	50人
7. 下目黒小学校	12月13日	6年生	40人
8. 菅刈小学校	12月14日	3年生	32人

##### 記憶写真展

1. 向原小学校	2月26日	4年生	37人
2. 上目黒小学校	3月5日	5年生	34人
3. 下目黒小学校	3月14日	2年生	34人
4. 下目黒小学校	3月14日	5年生	45人

##### 引き出し博物館

1. 品川区立清水台小学校	9月14日	3年生	15人
2. 菅刈小学校	12月13日	2年生	24人

【平成25(2013)年度】

総参加者数 878名(引率74名含む)

佐脇健一展

1.五本木小学校	5月30日	4年生	62名
2.菅刈小学校	5月30日	6年生	39名
3.菅刈小学校	5月31日	3年生	30名
4.下目黒小学校	6月4日	2年生	56名
5.中根小学校	6月5日	3年生	73名
6.下目黒小学校	6月5日	6年生	55名
7.下目黒小学校	6月6日	3年生	45名
8.下目黒小学校	6月7日	4年生	53名
9.下目黒小学校	6月7日	5年生	34名

PAPER展

1.下目黒小学校	8月27日	5年生	56名
2.菅刈小学校	8月28日	5年生	33名
3.下目黒小学校	8月28日	6年生	57名
4.下目黒小学校	8月29日	2年生	32名
5.下目黒小学校	8月30日	4年生	55名
6.油面小学校	9月3日	6年生	70名
7.下目黒小学校	9月4日	3年生	44名

土屋幸夫展

1.原町小学校	10月22日	6年生	46名
---------	--------	-----	-----

岡田謙三展

1.向原小学校	2月28日	3年生	38名
---------	-------	-----	-----

【平成26(2014)年度】

総参加者数 694人(引率53人含む)

マルク・シャガール展

1.向原小学校	5月8日	5年生	42人
2.中根小学校	5月15日	3年生	72人
3.菅刈小学校	5月28日	5年生	38人
4.五本木小学校	6月4日	4年生	43人

ジョージ・ネルソン展

1.油面小学校	7月17日	5年生	59人
2.向原小学校	8月28日	3年生	45人
3.菅刈小学校	8月29日	6年生	37人
4.菅刈小学校	9月4日	3年生	50人
5.原町小学校	9月9日	6年生	47人

フジタのいる街角展

1.下目黒小学校	11月19日	3年生	57人
2.下目黒小学校	11月20日	2年生	64人
3.下目黒小学校	11月21日	1年生	60人
4.下目黒小学校	11月27日	4年生	46人
5.下目黒小学校	12月2日	6年生	34人

(4) 目黒区総合庁舎建築ガイドツアー

[共催:目黒区]

村野藤吾が設計した目黒区総合庁舎(旧千代田生命本社ビル)の見どころを、高い専門性をもつ当館建築ボランティアが案内した。通常コース、コンバージョンコース、和室集中コース、子どもコースを設けて実施した。(子どもコースは平成24年度のみ)

【平成24(2012)年度】

講師:目黒区美術館建築ガイドスタッフ

開催日:4月27日(金)、5月6日(日)、5月18日(金)、6月2日(土)

時間:13:30~15:00

参加者:268名

【平成25(2013)年度】

講師:目黒区美術館建築ガイドスタッフ

開催日:4月29日(月)、5月10日(金)、5月25日(土)、6月8日(土)

時間:14:00~16:00

参加者:273名

【平成26(2014)年度】

講師:目黒区美術館建築ガイドスタッフ

開催日:4月18日(金)、5月11日(日)、5月24日(土)、5月30日(金)

時間:14:00~16:00

参加者:292名

(5) デザインキャンプ

平成24(2012)年から、アメリカの家具会社であるハーマンミラー・ジャパン株式会社と目黒区美術館の共同企画として、デザインの本質を掘り下げ、一般のデザイン教育を目的に始めた、デザインに関するワークショップ。若いデザイナーや学生に好評を得て、継続して毎年開催している。

【平成24(2012)年度】

ア. Design Camp 紙をあそぶ 紙でつつむ

講師:山口信博(グラフィックデザイナー・折形デザイン研究所主宰)

開催日:8月4日(土)、5日(日) 全2日間 13:30~14:30

開催内容・場所:「紙をあそぶ」目黒区美術館/「紙でつつむ」ハーマンミラーストア&ショールーム

参加者:高校生以上 19名



(5)-24-ア

身近な素材であり、デザインの基本材料でもある「紙」を取り上げ、「折る」「つつむ」という造形行為から、また、日本の

伝統的な「折形」の基本技法を学ぶことを通して紙の可能性を探っていった。

イ. Design Camp #2 DRILL DESIGNのデザインドリル

講師:DRILL DESIGN(林裕輔・安西葉子)  
技術協力:FULL SWING(佐藤昇・大野雄二)  
開催日:3月16日(土)、23日(土) 全2日間  
13:00~17:00  
開催内容・場所:「新しい素材」をデザインする」ハーマンミラースタア&ショールーム/「ブロックパズル」をつくる」目黒区美術館  
参加者:高校生以上 19名

デザインスタジオDRILL DESIGNと特注家具設計製作のFULL SWINGによるプロジェクト「合板研究所」がデザインした新しい板材「Paper-Wood」のコンセプトを応用し、自分だけの素材を制作し、そこから「ブロックパズル」へ発展させていった。

【平成25(2013)年度】

ア. Design Camp #3 視ることの再発見、ネルソンの『How to See』に学んでつくるビジュアルブック

講師:藤崎圭一郎(東京藝術大学准教授・デザインジャーナリスト)  
色部義昭(グラフィックデザイナー・アートディレクター)  
開催日:10月13日(日)、26日(土) 全2日間  
13:00~17:00  
開催場所:ハーマンミラースタア&ショールーム/目黒区美術館  
参加者:高校生以上 22名



(5)ー25ーア

講師の講話と「ビジュアルコミュニケーション」の名著、ネルソンの『How to See』を参考に、編集について学んだ。各自テーマを設定し、撮りためた写真とさまざまなイメージを編集し、自分だけの大変ユニークなビジュアルブックを制作した。

【平成26(2014)年度】

ア. Design Camp #4 視ることの再発見、ネルソンの『How to See』に学んでつくるビジュアルブック パート2

講師:藤崎圭一郎(東京藝術大学准教授)  
色部義昭(グラフィックデザイナー・アートディレクター)  
開催日:8月23日(土)、9月6日(土) 全2日間  
13:00~17:00  
開催場所:ハーマンミラースタア&ショールーム/目黒区美術館  
参加者:高校生以上 15名

前年度好評を得たプログラムの第二弾として、ジョージ・ネルソン展の会期中に開催した。講師の講話を受けて、『How to See』を教科書として、各自がテーマ設定を行った上で撮影した画像を編集して、個性的なビジュアルブックを制作した。

(6)めぐろアートウィーク

目黒区、めぐろパーシモンホール、目黒区美術館の共催事業として開催。芸術文化をきっかけとした“人とのつながり”“豊かなコミュニケーション”を創造することを目的に継続している活動。(目黒区美術館が企画を担当したもののみ記載)

\*公益財団法人目黒区芸術文化振興財団めぐろパーシモンホールとの連携事業

\*共催:目黒区教育委員会

【平成24(2012)年度】

ア. 音楽と美術のワークショップ「20世紀の音楽と遊ぶ“メシアンと色彩”

開催日:11月10日(土)、11日(日) 各11:00~16:00  
講師:榎本寿紀(美術家・ワークショップエディター)、秋岡陽(音楽史家・フェリス女学院大学学長)  
参加者:16名  
\*めぐろパーシモンホール、目黒区美術館、共同企画

イ. 目黒建築めぐり塾VI 東京大学駒場キャンパス・旧前田侯爵邸コース

開催日:11月16日(金)10:00~15:00  
ナビゲーター:永井達也(建築家)、岸敏彦(建築家)  
場所:東京大学駒場キャンパス・駒場博物館、旧前田侯爵邸(洋館・和館)  
参加者:23名

ウ. 目黒建築めぐり塾VI 目黒区総合庁舎コース

開催日:11月23日(金・祝)13:30~15:30  
ガイドスタッフ:目黒区美術館建築ガイドスタッフ  
場所:目黒区総合庁舎  
参加者:28名

【平成25(2013)年度】

ア. 子どもと親のワークショップB「ふわふわ パリパリ!さわって、あつめて、つくってみよう!」

開催日:11月16日(日) 13:30~16:30  
講師:清瀬ゆり亜(ミュージアムエディター)  
参加者:4歳以上2人一組の親子 8組17名

イ. 音楽と美術のワークショップ「五色の色鉛筆で描く楽譜絵」

開催日:11月1日(土)、9日(日) 各11:00~17:00  
講師:徳永雅之(画家)、秋岡陽(音楽史家、フェリス女学院大学学長)  
参加者:19名  
\*めぐろパーシモンホール、目黒区美術館、共同企画

ウ. 身近に親しむ目黒の建築4 目黒建築めぐり塾

旧前田家本邸洋館+日本民藝館コース  
開催日:10月30日(木) 10:30~15:30  
ナビゲーター:永井達也(建築家)、岸敏彦(建築家)  
場所:旧前田家本邸洋館、日本民藝館(本館・西館)  
参加者:高校生以上 26名

エ. 身近に親しむ目黒の建築4 建築セミナー“建築の見かた、楽しみかた”

開催日:11月30日(日)、12月14日(日) 各13:00~16:30  
講師:長谷川堯(建築評論家・武蔵野美術大学名誉教授・東京造形大学客員教授)  
参加者:61名、56名

【平成26(2014)年度】

ア. 子どもと親のワークショップ「生まれるカタチ一手を広げ、見つけることから始めよう」

開催日:10月20日(日) 13:00~16:00  
 講師:榎本寿紀(美術家・ワークショップエディター)  
 参加者:2人一組の親子 8組16名

イ. 子どもと親のワークショップ「木霊のかたち一眼をつむり、触ることから始めよう」

開催日:11月17日(日) 13:00~16:00  
 講師:榎本寿紀(美術家・ワークショップエディター)  
 参加者:2人一組の親子 9組18名

ウ. 20世紀の音楽と遊ぶ 第2回「ストラヴィンスキーと形態「春の祭典」でオブジェをつくる」

開催日:11月2日(土)、3日(日) 各10:30~16:30  
 講師:榎本寿紀(美術家・ワークショップエディター)、  
 秋岡陽(音楽史家・フェリス女学院大学学長)  
 11月2日はめぐろパーシモンホールで開催  
 参加者:中学生以上 10名  
 ＊めぐろパーシモンホール、目黒区美術館、共同企画

エ. 目黒建築めぐり塾Ⅶ 旧前田家侯爵邸

開催日:10月5日(土) 10:00~16:00  
 ナビゲーター:永井達也(建築家)、岸 敏彦(建築家)  
 場所:旧前田侯爵邸(洋館+和館)  
 参加者:26名

オ. 目黒建築めぐり塾Ⅶ 大橋ジャンクション+目黒天空庭園

開催日:10月31日(木) 12:30~17:00  
 ナビゲーター:首都高速道路株式会社、目黒区みどり公園課  
 場所:大橋ジャンクション、目黒天空庭園  
 参加者:30名

(7) その他

【平成24(2012)年度】

ア. 長谷川堯の建築セミナー 10回シリーズ

「村野藤吾から20世紀建築を視る一複眼的近代建築史のこころみ」



(7)-24-ア

講師:長谷川堯(建築評論家・武蔵野美術大学名誉教授・東京造形大学客員教授)  
 協力:沢良子、佐藤健治  
 各回:14:00~16:00

■第1部

1. 複眼的近代建築史について—目黒区総合庁舎(旧千代田生命本社ビル)の魅力  
 開催日:9月1日(土) 参加者:70名
2. 戦後村野の出発点—世界平和記念聖堂をめぐる考察  
 開催日:9月16日(日) 参加者:68名
3. 村野藤吾の「現在主義」と戦後日本の「近代主義運動」の対立  
 開催日:10月21日(日) 参加者:65名
4. 村野藤吾の「和」の本質—自邸を中心に、和風建築をめぐる  
 開催日:11月3日(土・祝) 参加者:61名
5. ディテールにやどる魂  
 開催日:11月18日(日) 参加者:57名

■第2部

6. アントニオ・ガウディとチュービズム(Tubism)の系譜  
 開催日:12月1日(土) 参加者:77名
7. ル・コルビュジェと、キュービズム(Cubism)の系譜  
 開催日:12月15日(土) 参加者:66名
8. ブルーノ・タウトと、クリスタリズム(Crystalism)の系譜  
 開催日:1月12日(土) 参加者:71名
9. アーツ&クラフツ運動と、ヴァナキュラリズム(Vernacularism)の系譜  
 開催日:2月17日(日) 参加者:80名
10. 20世紀建築とは果たして何だったのか、総括  
 開催日:3月3日(日) 参加者:73名

参加者:延べ688名

村野藤吾研究の第一人者、長谷川堯による村野藤吾についてのさまざまな視点による、20世紀建築の動向をテーマとしたセミナーを実施した。

【平成25(2013)年度】

ア. おしゃべりなミュージアム2013—家庭の博物館学—

1. 近代の暮しとアート 明治以降の住居と洋画  
 担当:山田敦雄 開催日:11月10日(日) 15:30~17:00
2. 住まいにアートが入ってきた!江戸庶民の暮らしと美術  
 担当:田中靖久 開催日:11月16日(土) 15:30~17:00
3. 外国の暮しとアート  
 担当:和田佐知子 開催日:11月23日(土) ＊開催中止
4. 版画の見方、楽しみ方  
 担当:降旗千賀子 開催日:11月30日(土) 15:30~17:00
5. 身近なものも「アート」になる!?  
 担当:佐川夕子 開催日:12月7日(土) 15:30~17:00
6. きれいに飾る、きれいに保つ 展示作業体験  
 担当:田中靖久、ほか当館学芸員 開催日:12月15日(日) 14:00~16:00

参加者:延べ46名

美術館と博物館で日々行われる活動に親しんで貰う機会として、暮らしの中の「美術」と「美術作品」を出発点に、当館館長と学芸員がリレー形式で開催したシリーズ形式の講座を開催した。

イ. 目黒区総合庁舎 西口ロビー展示

開催期間:平成25(2013)年7月1日(月)~14日(日)  
 平成26(2014)年4月22日(火)~5月7日(水)

平成25(2013)年から、区民の利用が活発な西口ロビーの空間に、目黒区美術館とその活動について、デザイン性の高いパネルを制作し、広報物をあわせて掲示することで、主として区民に向けた広報活動を行った。

### III 新収蔵作品 【平成21(2009)年度～平成26(2014)年度】

凡例

- 『目黒区美術館所蔵作品目録Ⅲ 1994-2007』(2008年発行)以降、平成21(2009)年度から平成26(2014)年度に目黒区美術館収集委員会の承認を得て取得した作品を年度別に掲載した。(寄託作品も含む。)
- 各作品のデータは原則として下記の順に掲載した。
- 五十音順に分類番号、作家名(和文)、生没年(西暦)、作家名(英文)、作品名(和文)、作品名(英文)、材質・技法、寸法(縦×横/cm)、エディション、制作年、画面および裏面書込、受入方法。署名年記は、書き込みの位置を示して記した。

#### 【平成21(2009)年度】

購入・寄贈:10件/23点



あ021-001  
秋岡芳夫 1920-1997  
AKIOKA, Yoshio  
小鳥たち  
Birdies  
着彩・紙/32.0×40.8/1951年  
「ya 31」(画面左下)  
寄贈



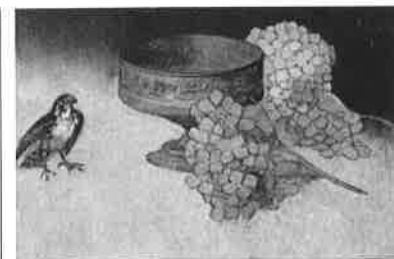
あ021-002  
秋岡芳夫 1920-1997  
AKIOKA, Yoshio  
蟻の巣みつけたよ  
Found where the Ants' are  
着彩・紙/55.7×74.4/1934年  
「yoshio 34」(画面左下)  
寄贈



あ021-003  
秋岡芳夫 1920-1997  
AKIOKA, Yoshio  
不死鳥(フェニックス)とマッチ売り  
Phoenix and the Little Match Girl  
着彩・紙/46.0×53.0/1950～1955年頃  
寄贈



か007-038  
川村清雄 1852-1934  
KAWAMURA, Kiyoo  
鸚鵡  
Parrot  
油彩・板、朱漆塗/84.5×36.3/大正から昭和9年  
寄贈



か007-039  
川村清雄 1852-1934  
KAWAMURA, Kiyoo  
静物(紫陽花とチゴハヤブサ)  
Still Life (Hydrangea and Hobby)  
油彩・キャンバス/53.0×70.0/大正から昭和9年  
寄贈



し011-001  
篠田教夫 1947-  
SHINODA, Norio  
海辺の断崖Ⅱ  
Cliff on the Shore II  
鉛筆・水彩・紙/65.0×48.0/2003～2007年  
購入



て002-001  
出島春光 1897-1940  
DESHIMA, Shunko  
金魚  
Goldfish  
絹本着色/47.0×38.0/1932年  
購入



ふ003-051  
藤田嗣治 1886-1968  
FUJITA, Tsuguharu  
10人の子どもたち  
Ten Children  
油彩・キャンバス/114.4×144.3/1924年  
購入



ふ003-052  
藤田嗣治 1886-1968  
FUJITA, Tsuguharu  
横顔  
Profile  
インク・紙/25.6×20.6/不詳  
寄贈



む003-006(01)~(14)  
村上友晴 1938-  
MURAKAMI, Tomoharu  
十字架の道 [14点組]  
The Stations of the Cross [Series of 14]  
ドライポイント、紙/22.0×15.3(シートサイズ)  
/1/7/2001年  
購入

【平成22(2010)年度】

購入・寄贈:38件/43点  
寄託:1件/1点



あ021-004  
秋岡芳夫 1920-1997  
AKIOKA, Yoshio  
(HERSHEY'S)  
(HERSHEY'S)  
水彩・紙/72.2×106.1/1951年  
「ya 31」(画面左下)  
寄贈



か007-040  
川村清雄 1852-1934  
KAWAMURA, Kiyoo  
貝あわせ  
Decorated Shells  
油彩・紙/21.0×18.0/不詳  
寄贈



か007-041  
川村清雄 1852-1934  
KAWAMURA, Kiyoo  
桜  
Cherry Blossom  
油彩・紙/21.0×18.0/不詳  
寄贈



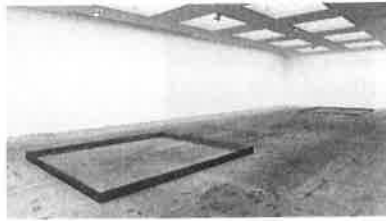
か007-042  
川村清雄 1852-1934  
KAWAMURA, Kiyoo  
梅に親子雀  
Sparrows and Plum tree  
油彩・紙/45.0×135.0/大正期  
寄託



さ007-001  
笹岡了一 1907-1987  
SASAOKA, Ryoichi  
サンボアンガ  
Zamboanga  
油彩・キャンバス/50.0×60.5/1942年頃  
「サンボアンガ/笹岡了一」(画面左下)  
寄贈



た014-001  
高崎剛 1902-1932  
TAKASAKI, Takeshi  
軽業師D  
Acrobat D  
油彩・キャンバス／92.0×28.0／1928年  
購入



た015-001  
多和圭三 1952-  
TAWA, Keizo  
景色—境界—  
Appearance-Border-  
鉄／各10.1×291.5×298.5(2点組)／2008年  
寄贈



つ007-001  
土屋幸夫 1911-1996  
TSUCHIYA, Yukio  
'75 North Alps  
'75 North Alps  
水彩、クレヨン・紙／31.8×40.3／1975年  
「Y.Tsuchiya'75 North Alps」(画面左下)  
寄贈



つ007-002  
土屋幸夫 1911-1996  
TSUCHIYA, Yukio  
残雪  
Remaining Snow  
クレヨン、水彩・紙／24.5×35.2／不詳  
「Y.Tsuchiya」白文方印(画面右下)  
寄贈



つ007-003  
土屋幸夫 1911-1996  
TSUCHIYA, Yukio  
磐梯山にて  
Viewing Mt. Bandai  
鉛筆、水彩・紙／31.0×41.0／不詳  
「Mt. Bantai Y.tsuchiya 9」(画面右下)  
寄贈



つ007-004  
土屋幸夫 1911-1996  
TSUCHIYA, Yukio  
箱根 '71  
Hakone '71  
水彩・紙／29.9×31.6／1971年  
寄贈



つ007-005  
土屋幸夫 1911-1996  
TSUCHIYA, Yukio  
(無題)  
(Untitled)  
油彩・キャンバス／50.0×60.5／1986年  
「Y.Tsuchiya '86」(画面左下)  
寄贈



つ007-006  
土屋幸夫 1911-1996  
TSUCHIYA, Yukio  
(無題)  
(Untitled)  
油彩、アクリル・木(ベニヤ)／45.3×45.5／  
1984年  
「Y.Tsuchiya '84」(画面左下)  
寄贈



つ007-007  
土屋幸夫 1911-1996  
TSUCHIYA, Yukio  
雪  
Snow  
クレヨン、紙／37.6×53.8／不詳  
「Y.Tsuchiya 雪.J」(画面右下)  
寄贈



つ007-008

土屋幸夫 1911-1996  
TSUCHIYA, Yukio

(無題)  
(Untitled)

ステーン、アクリル・木(ベニヤ) / 45.5×45.2 /  
1980年代  
寄贈



つ007-009

土屋幸夫 1911-1996  
TSUCHIYA, Yukio

木立ち  
Grove

水彩、クレヨン・紙 / 41.0×35.1 / 不詳  
「Y.Tsuchiya」(画面右下)  
寄贈

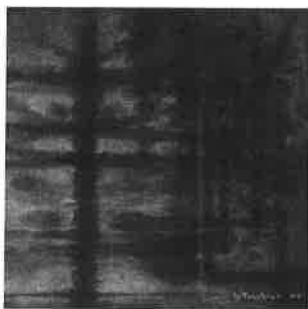


つ007-010

土屋幸夫 1911-1996  
TSUCHIYA, Yukio

(山と流れ)  
(Mountain and Stream)

水彩、クレヨン・紙 / 40.5×32.0 / 1988年  
「Y.Tsuchiya」(画面右下)  
寄贈



つ007-011

土屋幸夫 1911-1996  
TSUCHIYA, Yukio

樹景  
Tree Scape

アクリル・木 / 44.8×44.7 / 1986年  
「Y.Tsuchiya '86」(画面右下)  
寄贈



つ007-012

土屋幸夫 1911-1996  
TSUCHIYA, Yukio

晩夏  
Late Summer

水彩、クレヨン・紙 / 34.8×41.0 / 不詳  
「Y.Tsuchiya」白文方印(画面右下)  
寄贈

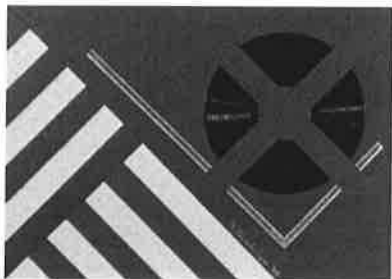


つ007-013

土屋幸夫 1911-1996  
TSUCHIYA, Yukio

山  
Mountain

クレヨン、水彩・紙 / 55.0×38.3 / 不詳  
「Y.Tsuchiya. 山」(画面右下)  
寄贈

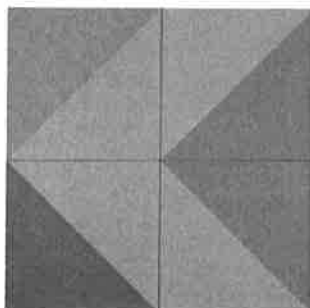


つ007-014

土屋幸夫 1911-1996  
TSUCHIYA, Yukio

(無題)  
(Untitled)

レコード、差金・紙  
51.0×72.8×1.0 / 1994年  
「Y.Tsuchiya '94」(画面右下)  
寄贈

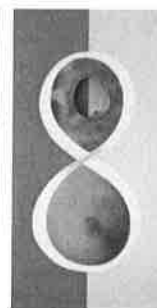


つ007-015

土屋幸夫 1911-1996  
TSUCHIYA, Yukio

(無題)  
(Untitled)

カッティングシート・板 / 61.0×60.5×5.5 / 不詳  
寄贈



つ007-016

土屋幸夫 1911-1996  
TSUCHIYA, Yukio

位相  
Phase

アクリル・キャンバス / 91.6×45.6 / 1970年代  
寄贈

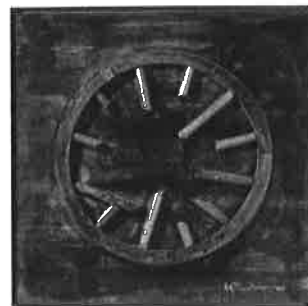




つ007-017  
 土屋幸夫 1911-1996  
 TSUCHIYA, Yukio  
 自画像  
 Self Portrait  
 油彩・キャンバス／88.9×63.6／1955年  
 寄贈



つ007-018  
 土屋幸夫 1911-1996  
 TSUCHIYA, Yukio  
 (無題)  
 (Untitled)  
 油彩・木(ベニヤ)／62.3×96.6／不詳  
 寄贈



つ007-019  
 土屋幸夫 1911-1996  
 TSUCHIYA, Yukio  
 (無題)  
 (Untitled)  
 ステン、アクリル、車輪・木／96.9×96.8×6.3  
 ／1995年  
 「Y.Tsuchiya '95」(画面右下)  
 寄贈



つ007-020  
 土屋幸夫 1911-1996  
 TSUCHIYA, Yukio  
 パッセージ  
 Passage  
 油彩・キャンバス／191.0×252.5／1959年  
 「1959 .Tsuchiya」(画面右下)  
 寄贈



つ007-021  
 土屋幸夫 1911-1996  
 TSUCHIYA, Yukio  
 死の灰  
 Shi-no-Hai (Fallout)  
 水彩、クレヨン・紙／51.0×68.0／1953-54年頃  
 白文方印(画面左下)  
 寄贈



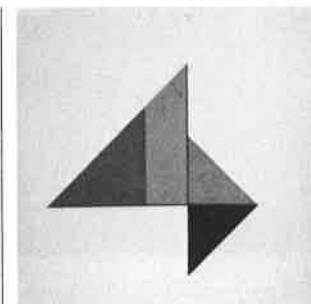
つ007-022  
 土屋幸夫 1911-1996  
 TSUCHIYA, Yukio  
 街—ニューヨークにて  
 City—New York  
 油彩、コラージュ(新聞)・キャンバス／60.6×  
 50.5／1965年  
 「'65 Y.Tsuchiya New York」(画面左下)  
 「New York.Y.Tsuchiya'65」(画面右下)  
 寄贈



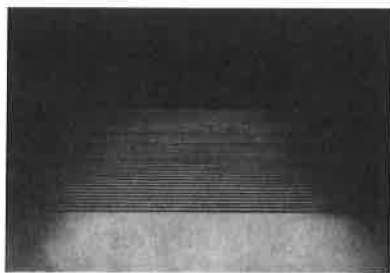
つ007-023  
 土屋幸夫 1911-1996  
 TSUCHIYA, Yukio  
 抽象構成  
 Abstract Composition  
 油彩・キャンバス／96.7×125.8／1954年  
 「Y.Tsuchiya 1954」(画面右下)  
 寄贈



つ007-024  
 土屋幸夫 1911-1996  
 TSUCHIYA, Yukio  
 群像  
 Portrait of Crowd  
 油彩・キャンバス／97.1×130.4／1955年  
 寄贈



つ007-025  
 土屋幸夫 1911-1996  
 TSUCHIYA, Yukio  
 (無題)  
 (Untitled)  
 コラージュ(サンドペーパー)・紙／48.4×48.4／  
 1970年代  
 寄贈



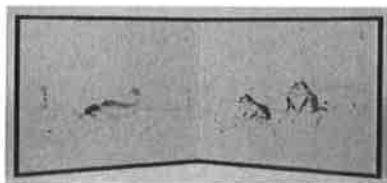
て003-001  
寺崎百合子 1952-  
TERAZAKI, Yuriko  
Borghese Garden  
Borghese Garden  
黒色鉛筆・紙／54.5×76.5／1992年  
購入



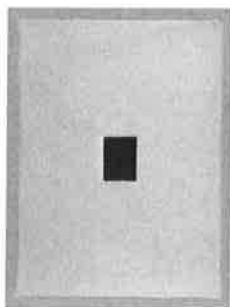
て003-002  
寺崎百合子 1952-  
TERAZAKI, Yuriko  
L'Opéra  
The Opera  
黒色鉛筆・紙／57.6×76.6／1992年  
購入



ふ003-053  
藤田嗣治 1886-1968  
FUJITA, Tsuguharu  
馬図  
Horse  
紙本墨画／168.0×169.2(二曲一隻)／1930年  
寄贈



ふ003-054  
藤田嗣治 1886-1968  
FUJITA, Tsuguharu  
鯰と蛙の図  
Catfish and Toads  
紙本墨画／63.5×163.2(二曲一隻)／不詳  
寄贈



む003-007(1)～(6)  
村上友晴 1939-  
MURAKAMI, Tomoharu  
東大寺修二会  
(晨朝・日中・日没・初夜・半夜・後夜) [6枚組]  
Shuni-e (Buddhist Mass) at Todaj Temple  
[Series of 6]  
石版・紙／42.8×31.5(シートサイズ)／6/6/  
1990年  
寄贈



や010-002  
山下新太郎 1881-1922  
YAMASHITA, Shintaro  
ナポリ港の朝  
Naples Harbor in the Morning  
油彩・板／18.8×23.6／1922年  
寄贈



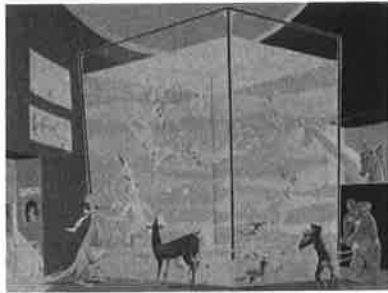
ら001-001  
ラゲーサ・玉 1861-1939  
RAGUSA, Eleonora  
(アザミ)  
(Thistle)  
油彩・板／18.8×23.6／不詳  
所管替

【平成23(2011)年度】

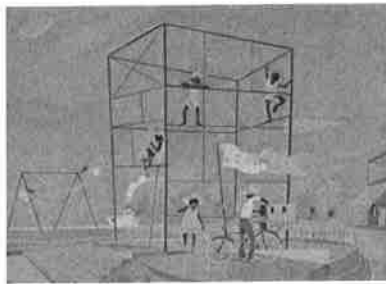
購入・寄贈:26件/84点



あ021-005  
秋岡芳夫 1920-1997  
AKIOKA, Yoshio  
大きな風  
Blast  
着彩・紙／35.4×46.8／1950年  
寄贈



あ021-006  
秋岡芳夫 1920-1997  
AKIOKA, Yoshio  
(水族館)  
(Aquarium)  
着彩・紙/35.4×47.2/1950年  
寄贈



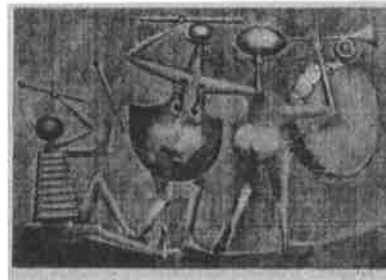
あ021-007  
秋岡芳夫 1920-1997  
AKIOKA, Yoshio  
(ジャングルジム)  
(Jungle gym)  
着彩・紙/35.4×47.7/1950年  
寄贈



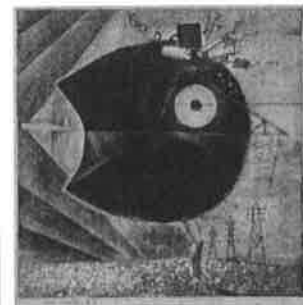
あ021-008  
秋岡芳夫 1920-1997  
AKIOKA, Yoshio  
人魚姫  
The Little Mermaid  
着彩・紙/36.0×51.4/1953年  
53 yoshio(画面右下)  
寄贈



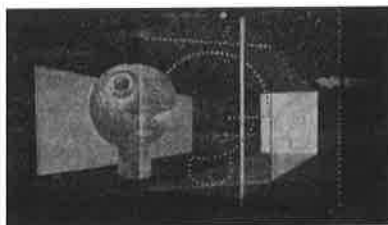
あ021-009  
秋岡芳夫 1920-1997  
AKIOKA, Yoshio  
(無題)  
(Untitled)  
メゾチント、エッチング、墨・紙/14.5×17.7/  
1952年頃  
yoshio 32.(画面右下)  
寄贈



あ021-010  
秋岡芳夫 1920-1997  
AKIOKA, Yoshio  
夜の楽士達  
Night Musicians  
メゾチント・紙/12.2×17.5/1953年  
yoshio 53.(画面右下)  
寄贈



あ021-011  
秋岡芳夫 1920-1997  
AKIOKA, Yoshio  
現代人  
Man of Today  
メゾチント、エッチング・紙/17.0×16.8/1953年  
yoshio 33(画面左下)  
寄贈



あ021-012  
秋岡芳夫 1920-1997  
AKIOKA, Yoshio  
分裂現象  
Phenomenon of Division  
アクアチント、ドライポイント・紙/12.4×21.8/  
1954年  
寄贈



あ021-013  
秋岡芳夫 1920-1997  
AKIOKA, Yoshio  
壁のある道  
Path with Walls  
アクアチント・紙/17.5×9.1/1954年  
yoshio(画面右下)  
寄贈



あ021-014  
秋岡芳夫 1920-1997  
AKIOKA, Yoshio  
銀河系の住い  
Residence in Galaxy  
アクアチント・紙/10.1×10.5/1954年  
寄贈



あ021-015  
秋岡芳夫 1920-1997  
AKIOKA, Yoshio  
アンドロメダえの旅  
Journey to Andromeda  
アクアチント・紙/16.7×10.8/1954年  
寄贈



(1)

お015-002(1)~(11)  
小川千穂 1882-1971  
OGAWA, Senyo  
滞欧期スケッチブック(11冊)  
Sketch Booklet en route to Europe  
[Series of 11]  
鉛筆ほか・紙/9.1~17.5×8.9~18.0/1913年  
寄贈



よ003-001  
淀井彩子 1943-  
YODOI, Ayako  
Block notes VI 南の時間  
Block notes VI Time of the South  
エッチング、アクアチント・紙/35.0×100.0  
1枚5面折畳/21/80/1979年  
寄贈



(1)

よ003-002(1)~(8)  
淀井彩子 1943-  
YODOI, Ayako  
緑・光 アラベスク I [8点組]  
Green・Light-Arabesque I [Series of 8]  
リトグラフ・紙/49.0×40.5/15/30/1989年  
「Ayako Yodoi」(画面右下)  
寄贈



(1)

よ003-003(1)~(5)  
淀井彩子 1943-  
YODOI, Ayako  
ネイト 光・色彩 [5点組]  
Neith Light・Color [Series of 5]  
リトグラフ・紙/38.0×57.0/9/30/1989年  
「Ayako Yodoi」(画面右下)  
寄贈



(1)

よ003-004(1)~(8)  
淀井彩子 1943-  
YODOI, Ayako  
武蔵野台地・コッド岬 [8点組]  
Musashino Plateau/Cape Cod [Series of 8]  
リトグラフ・紙/48.0×32.0/1994年  
「Ayako Yodoi」(画面右下)  
寄贈



(1)

よ003-005(1)~(6)  
淀井彩子 1943-  
YODOI, Ayako  
コンポジション [6点組]  
Composition [Series of 6]  
コラグラフ・紙/76.3~78.4×61.8~62.0/  
4/10/1996年  
「Ayako Yodoi」(画面右下)  
寄贈



(1)

よ003-006(1)(2)  
淀井彩子 1943-  
YODOI, Ayako  
武蔵野台地 [2点組]  
Musashino Plateau [Series of 2]  
コラグラフ・紙/75.9~76.9×61.4~61.8/  
8/10/1996年  
「Ayako Yodoi」(画面右下)  
寄贈



(1)

よ003-007(1)~(3)  
淀井彩子 1943-  
YODOI, Ayako  
芭蕉・夏 [3点組]  
Musa Basjoo/Summer [Series of 3]  
ソフトグラウンドエッチング、手彩色・紙/36.2~  
36.5×29.8~29.9/9/20/1996年  
「Ayako Yodoi」(画面右下)  
寄贈



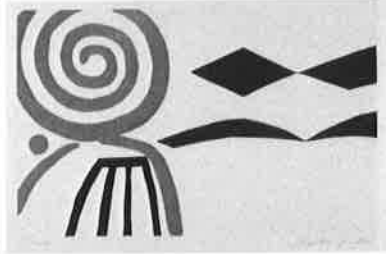
(1)

よ003-008(1)~(3)

淀井彩子 1943-  
YODOI, Ayako

庭で [3点組]  
In the garden [Series of 3]

ソフトグラウンドエッチング・紙/30.2~42.3×  
30.2~42.4/8/10/1999年  
「Ayako Yodoi」(画面右下)  
寄贈



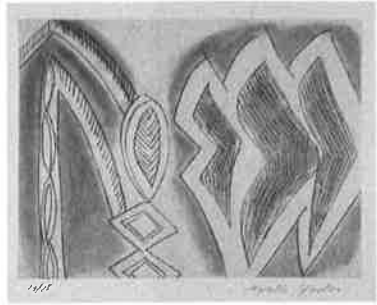
(1)

よ003-009(1)~(3)

淀井彩子 1943-  
YODOI, Ayako

土地の時間 [3点組]  
Time of the Land [Series of 3]

アクアチント・紙/36.2×57.5~57.7/6/10/  
2000年  
「Ayako Yodoi」(画面右下)  
寄贈



(1)

よ003-010(1)~(7)

淀井彩子 1943-  
YODOI, Ayako

南の時間—神話・植物 [7点組]  
Time of the south-Myth・Plant [Series of 7]

エッチング、スピットホワイト・紙/22.7~29.8×  
22.6~29.8/13/15/2002年  
「Ayako Yodoi」(画面右下)  
寄贈



(1)

よ003-011(1)(2)

淀井彩子 1943-  
YODOI, Ayako

石偶 [2点組]  
Stone figure [Series of 2]

カーボラダム・紙/41.8~42.0×29.8~30.6  
/8/10/2003年  
「Ayako Yodoi」(画面右下)  
寄贈



(1)

よ003-012(1)(2)

淀井彩子 1943-  
YODOI, Ayako

形象—Blue [2点組]  
Image-Blue [Series of 2]

カーボラダム・紙/49.6~49.8×39.4~39.6  
/6/10/2003年  
「Ayako Yodoi」(画面右下)  
寄贈



(1)

よ003-013(1)~(4)

淀井彩子 1943-  
YODOI, Ayako

芭蕉・スケッチ [4点組]  
Musa Basjoo・Sketch [Series of 4]

ソフトグラウンドエッチング・紙/25.0~26.0×  
18.8/8/10/2005年  
「Ayako Yodoi」(画面右下)  
寄贈



(1)

よ003-014(1)~(8)

淀井彩子 1943-  
YODOI, Ayako

芭蕉・時間 [8点組]  
Musa Basjoo・Time [Series of 8]

カーボラダム・紙/79.1~90.2×42.2×59.7  
/6/10/2005年  
「Ayako Yodoi」(画面右下)  
寄贈

【平成26(2014)年度】

購入・寄贈:37件/37点  
寄託:5件/5点



お015-003

小川千襲 1882-1971  
OGAWA, Senyo

(無題)  
Untitled

油彩・板/25.7×17.8/1913年  
「T. OGAWA 1913 PARIS」(画面右下)  
寄贈



お015-004

小川千襲 1882-1971  
OGAWA, Senyo

アダムヴィーユ  
Adamville

水彩・キャンバスボード/32.7×23.8/1913年  
「T. OGAWA ADAMVILLE 1913」(画面左下)  
寄贈



お015-005 (01)

小川千襲 1882-1971  
OGAWA, Senyo

(風景)  
Scenery

水彩・紙/26.2×46.1/1913年  
「23 Juin」(画面右下)  
寄贈



お015-005 (02)

小川千襲 1882-1971  
OGAWA, Senyo

セーブルの秋  
Autumn in Sèvres

水彩・紙/37.0×4.6 (35.2×20.2)/1913年  
「Sèvres T. OGAWA 1913」(画面右下)「No.6  
セーブルの秋」(裏面書込)  
寄贈



お015-005 (03)

小川千襲 1882-1971  
OGAWA, Senyo

ブルージュの尼寺  
Convent in Bruges

水彩・紙/27.0×36.5 (24.9×34.0)/1913年  
「ブルージュの尼寺 千襲」(画面左下)  
寄贈



お015-005 (04)

小川千襲 1882-1971  
OGAWA, Senyo

ハーレムにて  
At Haarlem

水彩・紙/36.2×25.9/1913年  
「T. OGAWA HAARLEM 1913」(画面右下)  
「和蘭ハーレムにて 小川生」(裏面書込)  
寄贈



お015-005 (05)

小川千襲 1882-1971  
OGAWA, Senyo

(風景)  
(Landscape)

水彩・紙/24.0×31.9/1913年  
「2 Juillet 1913」(画面左下)  
寄贈



お015-005 (06)

小川千襲 1882-1971  
OGAWA, Senyo

(風景)  
(Landscape)

水彩・紙/35.0×19.7 (33.5×17.5)/1913年  
寄贈



お015-005 (07)

小川千襲 1882-1971  
OGAWA, Senyo

〔子どもを連れての婦人〕  
Woman and a child

水彩・紙/29.0×15.5/1913年  
「千襲生 大正二年 パリにて」(画面右下)  
寄贈



お015-005 (08)

小川千襲 1882-1971  
OGAWA, Senyo

ルーブルのほとり  
At the foot of Louvre

水彩・紙/26.0×19.9/1913年  
「ルーブルのほとり 千襲」(画面右下)  
寄贈



お015-005 (09)  
小川千襲 1882-1971  
OGAWA, Senyo  
ハンブルク  
Hamburg  
水彩・紙/25.1×18.1/1913年  
「ハンブルグー九一三」(裏面書込)  
寄贈



お015-005 (10)  
小川千襲 1882-1971  
OGAWA, Senyo  
(室内)  
(Interior)  
水彩・紙/26.0×19.9/1913年  
寄贈



お015-005 (11)  
小川千襲 1882-1971  
OGAWA, Senyo  
ミュンヘン  
Munich  
水彩・紙/25.1×18.1/1913年  
「ミュンヘン エルカの畔 千襲 大正二年夏」  
(画面右下)  
寄贈



お015-005 (12)  
小川千襲 1882-1971  
OGAWA, Senyo  
ミュンヘン市外  
The suburb of Munich  
水彩・紙/24.2×17.2/1913年  
「ミュンヘン市外 千襲」(画面右下)  
寄贈



お015-005 (13)  
小川千襲 1882-1971  
OGAWA, Senyo  
セーナ川  
Seine River  
水彩・紙/23.0×16.0 (16.3×14.2)/1913年  
「セーナ河 千襲」(画面左下)  
寄贈



お015-005 (14)  
小川千襲 1882-1971  
OGAWA, Senyo  
ハンブルグ、わが下宿前にて  
(スケッチブック片)  
In front of lodgings, Hamburg (from  
Sketchbook)  
水彩・紙/22.8×14.6/1913年  
「ハンブルヒの下宿のあるホーチアレ」(画面左下)  
寄贈



お015-005 (15)  
小川千襲 1882-1971  
OGAWA, Senyo  
香港と新嘉坡の間の航海中、伊予丸船上  
(スケッチブック片)  
On board S.S.Iyomaru: Voyage from  
Hong Kong to Singapore (from Sketchbook)  
水彩・紙/22.8×14.6/1913年  
「香港と新嘉坡との間の航海中」(画面左下)  
寄贈



お015-005 (16)  
小川千襲 1882-1971  
OGAWA, Senyo  
伊予丸船上  
(スケッチブック片)  
On board S.S.Iyomaru (from Sketchbook)  
水彩・紙/22.8×14.6/1913年  
「2.May 1913」(画面左下)  
寄贈



お015-005 (17)  
小川千襲 1882-1971  
OGAWA, Senyo  
伊予丸船上  
(スケッチブック片)  
On board S.S.Iyomaru (from Sketchbook)  
水彩・紙/22.8×14.6/1913年  
「Iyomaru 16th May 1913」(画面左下)  
寄贈



お015-005 (18)  
小川千襲 1882-1971  
OGAWA, Senyo  
(スケッチブック片)  
(from Sketchbook)  
水彩・紙/22.8×14.6/1913年  
「6-21」(画面左下)  
寄贈



お015-005 (19)  
小川千襲 1882-1971  
OGAWA, Senyo  
セーヌ河畔  
(スケッチブック片)  
Bank of Seine (from Sketchbook)  
水彩・紙/22.8×14.6/1913年  
「セーヌ河畔 一九一三」(画面左下)  
寄贈



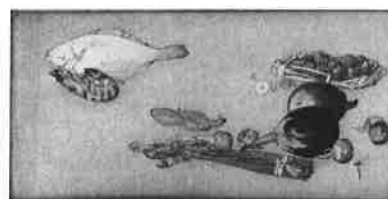
お015-005 (20)  
小川千襲 1882-1971  
OGAWA, Senyo  
パリ、オデッサホテルの客室  
(スケッチブック片)  
Room of Odessa Hotel, Paris (from Sketchbook)  
水彩・紙/22.8×14.6/1913年  
「パリ、オデッサホテルの客室 七月一日」(画面左下)  
寄贈



お015-005 (21)  
小川千襲 1882-1971  
OGAWA, Senyo  
伊予丸船上にて  
(スケッチブック片)  
On board S.S. Iyomaru (from Sketchbook)  
水彩・紙/18.2×17.0/1913年  
「甲板旅客の黒人 伊予丸にて 大正二年五月二十日 小川生」(画面左下)  
寄贈



か013-001  
香月泰男 1852-1934  
KAZUKI, Yasuo  
修理  
Repairing  
油彩・キャンバス/45.8×65.0/1948年  
寄託



か007-043  
川村清雄 1852-1934  
KAWAMURA, Kiyoo  
まな・あらな  
Mana Arana (True Food)  
絹本油彩/36.3×72.7/大正期  
寄託



か007-044  
川村清雄 1852-1934  
KAWAMURA, Kiyoo  
後鳥羽院隠岐配流の図  
Exile of Emperor Gotoba to Oki Island  
油彩・板/30.0×39.5/1919年頃  
寄託



か007-045  
川村清雄 1852-1934  
KAWAMURA, Kiyoo  
牡丹  
Peony  
油彩・板/26.3×39.0/不詳  
寄託



か007-046  
川村清雄 1852-1934  
KAWAMURA, Kiyoo  
七郷落(下絵)  
Preliminary Drawing Shichikyo-ochi  
鉛筆・紙/16.0×25.4/不詳  
寄贈





か007-047

川村清雄 1852-1934  
KAWAMURA, Kiyoo

三條橋と橋上の人『兎糞録』(口絵下絵)  
Draft of illustration for Tofunroku Man on  
Sanjo Bridge

鉛筆・紙/23.5×13.0/1913年以前  
寄贈



か007-048

川村清雄 1911-1974  
KAWAMURA, Kiyoo

風景  
Landscape

油彩・厚紙・布貼/40.6×54.8/不詳  
寄託



か007-049

川村清雄[図案] 1852-1934  
KAWAMURA, Kiyoo

(海老) 袱紗  
(Spiny Lobster)  
Fukusa: Silk Wrapping Cloth

絹(縮緬)/65.5×66.0/1922年頃  
寄贈



か014-001

郭 徳俊 1937-  
KWAK Duck-Jun

フォードと郭  
Ford and Kwak

リトグラフ・紙/57.5×34.0(イメージサイズ)/  
92/100/1974年  
寄贈



か014-002

郭 徳俊 1938-  
KWAK Duck-Jun

ブッシュ2001と郭  
Bush 2001 and Kwak

シルクスクリーン・紙/54.0×36.2(イメージサ  
イズ)/3/20/2002年  
寄贈



か014-003

郭 徳俊 1939-  
KWAK Duck-Jun

クリントンと郭  
Clinton and Kwak

シルクスクリーン・紙/54.6×41.2(イメージサ  
イズ)/25/30/2003年  
寄贈



か014-004

郭 徳俊 1940-  
KWAK Duck-Jun

クリントンIIと郭  
Clinton II and Kwak

シルクスクリーン・紙/51.8×37.0(イメージサ  
イズ)/24/30/2003年  
寄贈



か014-005

郭 徳俊 1941-  
KWAK Duck-Jun

レーガンIIと郭  
Reagan II and Kwak

シルクスクリーン・紙/53.7×39.3(イメージサ  
イズ)/5/20/2006年  
寄贈



か014-006

郭 徳俊 1942-  
KWAK Duck-Jun

カーターと郭  
Carter and Kwak

シルクスクリーン・紙/53.9×36.7(イメージサ  
イズ)/4/30/2007年  
寄贈



か014-007

郭徳俊 1943-  
KWAK Duck-Jun

レーガンと郭  
Reagan and Kwak

シルクスクリーン・紙/54.1×37.1(イメージサイズ)/12/30/2007年  
寄贈

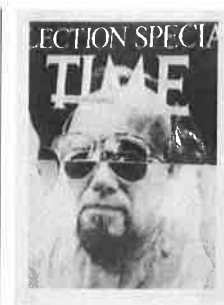


か014-008

郭徳俊 1944-  
KWAK Duck-Jun

オバマと郭  
Obama and Kwak

シルクスクリーン・紙/51.5×36.7(イメージサイズ)/24/30/2009年  
寄贈



か014-009

郭徳俊 1945-  
KWAK Duck-Jun

ブッシュ(父)と郭  
G.H.W. Bush (Bush senior) and Kwak

シルクスクリーン・紙/53.9×37.8(イメージサイズ)/3/30/2010年  
寄贈



か014-010

郭徳俊 1946-  
KWAK Duck-Jun

ブッシュ2001(Ⅱ)と郭  
G.W.Bush (Bush junior) and Kwak

シルクスクリーン・紙/52.4×36.8(イメージサイズ)/3/30/2011年  
寄贈



た003-008

武内鶴之助 1881-1948  
TAKEUCHI, Tsurunosuke

日光附近  
Nikko area

パステル・紙/41.0×53.0/不詳(1930年代か)  
寄贈

写真撮影：ノマディック工房（内田芳孝）

大谷一郎

後藤充

竹本春二

翻訳協力：寺崎百合子

## IV 入館状況

【平成24(2012)年度】

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
シャルロット・ペリアンと日本	24年4月14日～ 24年6月10日	51日間	8,224人	161人	A,B,C,E,L,W	
開館25周年記念 古茂田守介ふたたび、蘇った絵画展＋ 古茂田美津子のワンダーランド	24年7月14日～ 24年9月2日	44日間	3,118人	71人	A,B,C,E,L	
もうひとつの川村清雄展 －加島虎吉と青木藤作・二つのコレク ション	24年10月20日～ 24年12月16日	50日間	5,801人	116人	A,B,C,E,L	
めぐろの子どもたち展	25年1月19日～ 25年2月3日	14日間	9,575人	684人	A,B,C,E,L,W,G	
記憶写真展－お父さんの撮った写真、 面白いものが写ってますね＋特集展示 「秋岡芳夫全集1－秋岡芳夫とKAKの 写真」	25年2月16日～ 25年3月24日	32日間	4,007人	125人	A,C,E,L,B(秋岡 芳夫全集)	
合 計		191日間	30,725人	161人		

### 協力事業

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
区展(区民作品展)	24年9月25日～ 24年10月7日	12日間	4,103人	342人	A,B,C,E,L,W,G	

### 共催事業

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
目黒区写真美術協会展	24年4月18日～ 24年4月22日	5日間	223人	45人	G	
目黒区書作家協会展	24年5月23日～ 24年5月27日	5日間	356人	71人	G	
目黒区美術家協会展	24年6月27日～ 24年7月1日	5日間	400人	80人	G	
目黒区美芸作家協会展	25年3月26日～ 25年3月31日	6日間	714人	119人	G	

※ A = 展示室A、B = 展示室B、C = 展示室C、E = エントランスホール、L = 展示ロビー、W = ワークショップ、G = 区民ギャラリー

【平成25(2013)年度】

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
佐脇健一展 未来の記憶	25年4月3日～ 25年6月9日	59日間	3,257人	55人	A,B,C,E,L,W	
PAPER—紙と私の新しいかたち—展	25年7月20日～ 25年9月8日	44日間	10,676人	243人	A,B,C,L	
土屋幸夫展 —美術家、デザイナー、教育者	25年10月19日～ 25年12月8日	44日間	1,849人	42人	A,B,C,E,L,W	
めぐろの子どもたち展	26年1月18日～ 26年2月2日	14日間	9,328人	666人	A,B,C,E,L,W,G	
岡田謙三&目黒界隈のモダンな住人達 展—所蔵品を中心に 同時開催:特集展 示「秋岡芳夫全集2—童画とこどもの世 界展」	26年2月15日～ 26年3月30日	38日間	2,514人	66人	A,C,E,L,B(秋岡 芳夫全集)	
合 計		199日間	27,624人	139人		

協力事業

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
区展(区民作品展)	25年9月25日～ 25年10月6日	11日間	3,679人	334人	A,B,C,E,L,W,G	

共催事業

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
目黒区写真美術協会展	25年4月16日～ 25年4月21日	5日間	167人	33人	G	
目黒区書作家協会展	25年5月22日～ 25年5月26日	5日間	427人	85人	G	
目黒区美術家協会展	25年6月26日～ 25年6月30日	5日間	360人	72人	G	
目黒区美芸作家協会展	26年3月25日～ 26年3月30日	6日間	739人	123人	G	

※ A = 展示室 A、B = 展示室 B、C = 展示室 C、E = エントランスホール、L = 展示ロビー、W = ワークショップ、G = 区民ギャラリー

【平成26(2014)年度】

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
マルク・シャガールー版画の奇跡 無限大の色彩	26年4月12日～ 26年6月8日	50日間	12,218人	244人	A,B,C,E,L	
ジョージ・ネルソン展 建築家・ライター・デザイナー・教育者	26年7月15日～ 26年9月18日	57日間	17,214人	302人	A,B,C,E,L	
ふたつの時代ー所蔵品でたどる「パリの日本人」第一部 フジタのいる街角ー巴里の誘惑、1910～30年代	26年10月25日～ 26年12月7日	38日間	5,978人	157人	A,B,C,E,L	
めぐろの子どもたち展	27年1月17日～ 27年2月1日	14日間	9,690人	692人	A,B,C,E,L,W,G	
ふたつの時代ー所蔵品でたどる「パリの日本人」第二部 戦後世代の横顔ーパリの革新、1950～60年代 同時開催:特集展示 秋岡芳夫全集3ー版画	27年2月14日～ 27年3月22日	32日間	3,097人	97人	A,B,C,E,L	
合 計		191日間	48,197人	252人		

協力事業

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
区展(区民作品展)	26年9月30日～ 26年10月12日	12日間	4,106人	342人	A,B,C,E,L,W,G	

共催事業

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
目黒区写真美術協会展	26年4月15日～ 26年4月20日	6日間	216人	36人	G	
目黒区書作家協会展	26年5月21日～ 26年5月25日	5日間	396人	79人	G	
目黒区美術家協会展	26年6月25日～ 26年6月29日	5日間	300人	60人	G	
目黒区美芸作家協会展	27年3月24日～ 27年3月29日	6日間	874人	146人	G	

※ A = 展示室 A、B = 展示室 B、C = 展示室 C、E = エントランスホール、L = 展示ロビー、W = ワークショップ、G = 区民ギャラリー

## V 作品等貸出

\*展覧会の開催初日順に掲載し、掲載年度は展覧会の開催年度によるものとする。

### 【平成24(2012)年度】

#### ●作品貸出 合計点数:15点

##### 1. 高島野十郎「百合とヴァイオリン」

展覧会名: FLOWERSCAPES フラワースケープ—画家たちと旅する花の世界—/貸出館 : DIC川村記念美術館  
会期: 平成24(2012)年4月28日~7月22日/貸出期間: 平成24(2012)年4月17日~8月11日

##### 2. 小堀四郎「モンシーニ老人」

展覧会名: 生誕110年 小堀四郎展 美の生命の永遠/貸出館 : 茅野市美術館  
会期: 平成24(2012)年7月28日~8月27日/貸出期間: 平成24(2012)年6月21日~9月28日

##### 3. 東山魁夷「樹根」

展覧会名: 東山魁夷展/貸出館 : 北海道立近代美術館、宮城県美術館  
会期: [北海道]平成24(2012)年7月20日~9月9日、[宮城]平成24(2012)年9月22日~11月11日

##### 4. 岡本唐貴「先端にたつ女三態」(東京パック原画)/三浦俊(=岡本唐貴)「都会」(東京パック原画)/安本亮「ショー・ウィンドウからぬけて来た女」(東京パック原画)1928年

展覧会名: 百花繚乱 女性の情景展—生きていく私/貸出館 : 横須賀美術館  
会期: 平成24(2012)年9月15日~10月21日/貸出期間: 平成24(2012)年9月1日~10月25日

##### 5. 川村清雄「ヴェニス風景」/川村清雄「いにしへの奈良の都」

展覧会名: 維新の洋画家 川村清雄/貸出館 : 江戸東京博物館  
会期: [江戸博]平成24(2012)年10月8日~12月2日、[静岡]平成25(2013)年2月9日~3月27日  
貸出期間: 平成24(2012)年9月22日~平成25(2013)年4月9日

##### 6. 小野佐世男「銀座のはずれ」(東京パック原画)/小野佐世男「新緑の街」(東京パック原画)/小野佐世男「若さよざらば」(東京パック原画)/小野佐世男「やみの女」(東京パック原画)/小野佐世男「最後の決心」(東京パック原画)

展覧会名: 小野佐世男 モガ・オン・パレード展/貸出館 : 川崎市岡本太郎美術館  
会期: 平成24(2012)年10月20日~平成25(2013)年1月14日/貸出期間: 平成24(2012)年10月5日~平成25(2013)年1月18日

##### 7. 藤田嗣治「裸婦(キキ・ド・モンパルナス)」/藤田嗣治「横たわる裸婦」(版画) 銅版・紙[旧シャーマンコレクション]

展覧会名: 美は甦る 検証・二枚の西周像—高橋由一から松本竣介まで/貸出館 : 神奈川県立近代美術館 葉山  
会期: 平成25(2013)年1月12日~3月24日/貸出期間: 平成25(2013)年1月10日~3月27日

#### ●資料貸出 合計点数:1点

##### 1. 金坂健二 「ホップスコッチ(石けり)」1967年、時間:10分26秒、16mmフィルム

貸出館 : ニューヨーク近代美術館(Modern Museum of Art)/使用目的: 展覧会「Tokyo 1955-1970: A New Avant-Garde」(2012年11月18日~2013年2月25日)の関連催事「Tokyo: Experiments in Music and Performance」(2013年1月10日)で上映のため  
貸出期間: 平成24(2012)年12月25日~平成25(2013)年1月15日

### 【平成25(2013)年度】

#### ●作品貸出 合計点数:16点

##### 1. 桂ゆき「ふたつのオレンジ色のかたち」

展覧会名: 生誕100年 桂ゆき—ある寓話—/貸出館 : 東京都現代美術館  
会期: 平成25(2013)年4月6日~6月9日/貸出期間: 平成25(2013)年3月21日~8月中旬(予定)

##### 2. 岡田謙三「間隔」

展覧会名: ピース・ミーツ・アート!/貸出館 : 広島県立美術館  
会期: 平成25(2013)年7月20日~10月14日/貸出期間: 平成25(2013)年7月13日~10月24日

##### 3. 東山魁夷「樹根」

展覧会名: 川端康成コレクションと東山魁夷 知識も理屈もなく、私はただ見てゐる。/貸出館 : 宇都宮美術館  
会期: 平成25(2013)年9月22日~11月4日/貸出期間: 平成25(2013)年9月7日~10月15日

##### 4. 栗原忠二「ベニス」/中村義夫「習作」

展覧会名: ヴェネチア展:日本人が見た水の迷宮:一宮市三岸節子記念美術館特別展/貸出館 : 一宮市三岸節子記念美術館  
会期: 平成25(2013)年10月5日~11月24日/貸出期間: 平成25(2013)年9月25日~12月6日

5. 東山魁夷「樹根」

展覧会名： 東山魁夷 芸術創生のあゆみ—『新潮』表紙絵の世界—/貸出館： 市川市東山魁夷記念館  
会期： 平成25(2013)年11月2日～12月1日/貸出期間： 平成25(2013)年10月21日～12月6日

6. 工藤哲巳「記憶の独立」

展覧会名： あなたの肖像—工藤哲巳回顧展/貸出館： 国立国際美術館、東京国立近代美術館、青森県立美術館  
会期： [国際]平成25(2013)年11月2日～平成26(2014)年1月19日、[東京]平成26(2014)年2月4日～3月30日、[青森]平成26(2014)年4月12日～6月8日/貸出期間： 平成25(2013)年10月16日～平成26(2014)年6月19日

7. 岡鹿之助「信号台」

展覧会名： 洲之内徹と現代画廊—昭和を生きた目と精神—/貸出館： 宮城県美術館、愛媛県美術館、久万美術館、新潟市美術館  
会期： [宮城]平成25(2013)年11月2日～12月23日、[愛媛・久万]平成26(2014)年1月25日～3月16日、[新潟]平成26(2014)年4月12日～6月8日/貸出期間： 平成25(2013)年10月23日～平成26(2014)年6月18日

8. 秋岡芳夫「小鳥たち」/秋岡芳夫「蟻の巣みつけたよ」/秋岡芳夫「不死鳥(フェニックス)とマッチ売り」/秋岡芳夫「作品(HERSHY'S)」/秋岡芳夫「大きな風」/秋岡芳夫「人魚姫」/秋岡芳夫「作品(ジャングルジム)」/秋岡芳夫「作品(水族館)」

展覧会名： デザイナー秋岡芳夫の童画の世界/貸出館： イルフ童画館  
会期： 平成25(2013)年11月14日～平成26(2014)年1月27日/貸出期間： 平成25(2013)年11月1日～平成26(2014)年2月6日

●資料貸出 合計点数：6点

1. 画材と素材の引き出し博物館「顔料から絵画へ」/画材と素材の引き出し博物館「練り剤による色味の違い」

展覧会名： いろどる線とかたどる色/貸出館： ポーラ美術館  
会期： 平成25(2013)年12月1日～平成26(2014)年4月6日/貸出期間： 平成25(2013)年11月19日～平成26(2014)年4月12日

2. 画材と素材の引き出し博物館「天然顔料 天平の色—日本画」/画材と素材の引き出し博物館「天然顔料 現代の天然岩絵具—日本画」/画材と素材の引き出し博物館「筆 日本画」/画材と素材の引き出し博物館「にかわ」

貸出館： 山種美術館/使用目的： 展覧会「特別展 小林古径 生誕130年 古径と土牛」(2013年10月22日～12月23日)の関連催事「フランス語ファミリープログラム」(2013年12月14日)で使用するため/貸出期間： 平成25(2013)年12月10日～12月15日

【平成26(2014)年度】

●作品貸出 合計点数：28点

1. 木下晋「無Ⅰ」/木下晋「無Ⅲ」/木下晋「旅立ち」

展覧会名： 新紀元 革新の視座—加賀谷武、木下晋、久世建二、庄田雷寛、蓮田修吾郎の創造—/貸出先： 石川県立美術館  
会期： 平成26(2014)年4月20日～5月18日/貸出期間： 平成26(2014)年4月10日～5月27日

2. 飯田善國「戦争B」/池田永治「悪化せる労働者」/三浦俊(=岡本唐貴)「都会」/小野佐世男「銀座のはづれ」/下川凹天「銀座はうつる」/須山計一「あえぐ植民地」

展覧会名： われわれはリアルである 1920s-1950s—プロレタリア美術運動からルポルタージュ絵画運動まで：記憶された民衆と労働  
貸出先： 武蔵野市立吉祥寺美術館/会期： 平成26(2014)年5月17日～6月29日/貸出期間： 平成26(2014)年5月4日～7月2日

3. 藤田嗣治「馬図」

展覧会名： 藤田嗣治 どうぶつものがたり/貸出先： 秋田県立美術館  
会期： 平成26(2014)年9月20日～11月4日/貸出期間： 平成26(2014)年9月16日～4月11日

4. 山本 鼎「フランス風景」

展覧会名： 山本鼎のすべて展/貸出先： 上田市立美術館  
会期： 平成26(2014)年10月2日～11月9日/貸出期間： 平成26(2014)年9月11日～11月12日

5. 海老原喜之助「蹄」

展覧会名： 生誕110年 海老原喜之助展/貸出先： 鹿児島市立美術館、下関市美術館、横須賀美術館  
会期： [鹿児島]平成26(2014)年10月2日～11月9日、[下関]平成26(2014)年11月15日～12月25日、[横須賀]平成27(2015)年2月7日～4月5日/貸出期間： 平成26(2014)年9月16日～平成27(2015)年4月11日

6. 小川千麿「フランクフルト風景」/小川千麿「フランクフルト風景」/小川千麿「セーブル風景」/小川千麿 スケッチブック 計11冊

展覧会名： 小川千麿展—縦横無尽に生きる/貸出先： 福島県立美術館、泉屋博古館、京都市文化博物館  
会期： [福島]平成26(2014)年10月11日～11月24日、[泉屋]平成27(2015)年3月14日～5月10日、[京都]平成27(2015)年12月8日～平成27(2016)年1月31日/貸出期間： [福島]平成26(2014)年10月3日～12月3日、[泉屋]平成27(2015)年2月20日～5月中、[京都]平成27(2015)年12月～平成28(2016)年2月予定

7. 小林孝亘「Dish (with chopsticks)」

展覧会名： 小林孝亘展—私たちを夢見る夢/貸出先： 横須賀美術館  
会期： 平成26(2014)年11月15日～12月23日/貸出期間： 平成26(2014)年10月27日～平成27(2015)年1月12日

8. 東山魁夷「樹根」

展覧会名： 没後15年記念 東山魁夷と日本の四季/貸出先： 山種美術館  
会期： 平成26(2014)年11月22日～平成27(2015)年2月1日/貸出期間： 平成26(2014)年11月14日～平成27(2015)年2月6日

## VI 区民ギャラリー

【平成24(2012)年度】

	展覧会名	貸出期間	日数	入場者
1	第17回美芸展	4/1 ~ 4/1	1	846
2	第47回目黒区文化祭	4/3 ~ 4/8	6	1,078
3	第14回ゆらの会・徹彩会合同展覧会	4/10 ~ 4/15	6	678
4	第1回人間展グランプリ作家展 伊藤幸久展	4/17 ~ 4/22	6	132
5	目黒区写真美術協会展	4/17 ~ 4/22	6	223
6	美術サークル「だん」展	4/24 ~ 4/30	7	210
7	リヒト会水彩画展	4/24 ~ 4/30	7	151
8	コンテンポラリーアートグループ有象無象展-1	5/2 ~ 5/6	5	125
9	第30回萌画会展	5/8 ~ 5/13	6	561
10	パステル会展	5/15 ~ 5/20	6	296
11	目黒区書作家協会展	5/22 ~ 5/27	6	356
12	書展ますます	5/29 ~ 6/3	6	120
13	望の会	6/5 ~ 6/10	6	100
14	第3回祐天寺アトリエ彩屋展	6/5 ~ 6/10	6	100
15	水耀会展	6/12 ~ 6/17	6	260
16	第20回えふけい会水彩画展	6/12 ~ 6/17	6	411
17	ゆう画士囃会	6/19 ~ 6/24	6	120
18	目黒イーゼル会第21回作品展	6/19 ~ 6/24	6	220
19	目黒区美術家協会展	6/26 ~ 7/1	6	400
20	MACROTIME 奈良達雄展	7/3 ~ 7/8	6	240
21	第7回東京製本倶楽部展「本をめぐる話」	7/10 ~ 7/16	7	438
22	新人展	7/18 ~ 7/22	5	135
23	第22回勤労者美術展	7/24 ~ 7/29	6	198
24	CRAWL Vol.10「怪物」	7/31 ~ 8/5	6	500
25	17+∞展	8/7 ~ 8/12	6	463
26	第23回一樹会展	8/14 ~ 8/19	6	200
27	ウラオモテックス	8/21 ~ 8/26	6	105
28	第62回旧三商大写真展東京展	8/21 ~ 8/26	6	451
29	第26回らゆう展	8/28 ~ 9/2	6	350
30	異世界展	9/4 ~ 9/9	6	87
31	裂織アート&クラフト展2012 ~向き合う~	9/11 ~ 9/17	7	467
32	区展	9/22 ~ 10/8	14	1,919
33	目黒区文化祭	10/10 ~ 10/14	5	621
34	MEGURO INTERIOR COLLECTION 2012	10/16 ~ 10/21	6	150
35	SHIBORI EXHIBITION 2012	10/23 ~ 10/28	6	300
36	水彩画合同展	10/23 ~ 10/28	6	250
37	池田敏博遺作展	10/30 ~ 11/4	6	250
38	第14回緑ヶ丘写真クラブ作品展	11/6 ~ 11/11	6	110
39	第21回翠粋齋展	11/6 ~ 11/11	6	120
40	第8回 ATELIER EBI・OMO展	11/13 ~ 11/18	6	1,300
41	第47回目黒区文化祭参加	11/20 ~ 11/25	6	468
42	第4回園エランド展	11/27 ~ 12/2	6	500
43	第8回シャトロー会写真展	11/27 ~ 12/2	6	302
44	武蔵野美術大学造形学部映像学科写真表現コース3年学外展	12/4 ~ 12/9	6	186
45	第四十六回 駒澤大学書道部 書作展	12/13 ~ 12/16	4	200
46	松澤五男展	12/18 ~ 12/24	7	205
47	それで院?・(sorede iindesuka?)	12/18 ~ 12/24	7	200
48	平成24年度 めぐろの子どもたち展(本館と同時開催)	1/16 ~ 2/4	20	
49	新・油画三人展 一輝ける日々	2/5 ~ 2/11	7	180
50	第19回創作画人協会 東京支部展	2/5 ~ 2/11	7	583
51	第11回も・の・が・た・り展	2/13 ~ 2/17	5	350
52	写真教室アルトフォーカス第5回受講生作品展	2/19 ~ 2/24	6	324
53	SOUP	2/19 ~ 2/24	6	146
54	国公立展	2/26 ~ 3/3	6	252
55	第23回「だん展」	3/5 ~ 3/10	6	190
56	ガラスアピール 2013	3/5 ~ 3/10	6	394
57	春水会展	3/12 ~ 3/17	6	250
58	RAY ART SCHOOL ADVANCED CLASS EXHIBITION 2013	3/12 ~ 3/17	6	120
59	高潮展	3/19 ~ 3/24	6	425
60	第18回美芸展	3/26 ~ 3/31	6	714
	合計	-	359	21,030

※「めぐろの子どもたち展」は本館の入場者数に含まれるため、ギャラリーの日数、入場者の合計にカウントしていない。



【平成25(2013)年度】

	展覧会名	貸出期間	日数	入場者
1	第48回目黒区文化祭 目黒区民の華道展・呈茶席	4/2 ~ 4/7	6	401
2	第15回ゆうの会・徹彩会合同展覧会	4/9 ~ 4/14	6	561
3	ドローイング展	4/16 ~ 4/21	6	248
4	第6回目黒区写真美術協会展	4/16 ~ 4/21	6	167
5	第51回目黒区自主グループ連合会作品展	4/23 ~ 4/29	7	427
6	コンテンポラリーアートグループ 有象無象展2	5/1 ~ 5/6	6	250
7	フィオーレ絵画造形教室 第6回展覧会-ワンダーランド-	5/10 ~ 5/12	3	240
8	墨雲会作品展	5/8 ~ 5/12	5	250
9	第19回パステル会展	5/14 ~ 5/19	6	213
10	第4回祐天寺アトリエ彩屋展	5/14 ~ 5/19	6	130
11	目黒区書作家協会展	5/21 ~ 5/26	6	501
12	目黒イーゼル会作品展	5/28 ~ 6/2	6	200
13	一樹会展	5/28 ~ 6/2	6	200
14	第31回萌画会展	6/4 ~ 6/9	6	630
15	m-act 美術展	6/11 ~ 6/16	6	103
16	第6回リヒト会水彩画展	6/11 ~ 6/16	6	110
17	第14回サクラアートサロン会員展	6/18 ~ 6/23	6	300
18	目黒区美術家協会展	6/25 ~ 6/30	6	360
19	Ray Art School Exhibition 2013	7/2 ~ 7/7	6	650
20	22+∞展(22プラスムゲンダイテン)	7/9 ~ 7/15	7	530
21	東京工業大学写真研究部七月展	7/17 ~ 7/21	5	70
22	第23回勤労者美術展	7/23 ~ 7/28	6	208
23	区民ギャラリー 照明設備改修工事	7/30 ~ 8/11	13	
24	CRAWL Vol.11 「花」	8/13 ~ 8/18	6	400
25	第6回旧帝国大学合同書道展(第6回旧帝展)	8/20 ~ 8/25	6	188
26	第27回らゆう展	8/27 ~ 9/1	6	390
27	磯松法男個展	9/3 ~ 9/8	6	320
28	三商展	9/3 ~ 9/8	6	100
29	ゲッスイトリエンナーレ'13	9/10 ~ 9/16	7	900
30	区展(本館と同時開催)	9/18 ~ 10/6	18	2,053
31	TOKYO 8×10 写真展 2013	10/8 ~ 10/14	7	1,000
32	水彩合同展(むくの会・木曜会・みず糸の会)	10/8 ~ 10/14	7	350
33	こども美術教室がじゅく2013成果報告展示「がじゅくてん」	10/16 ~ 10/20	5	700
34	第5回図工ランド展	10/22 ~ 10/27	6	200
35	水曜会展	10/22 ~ 10/27	6	143
36	メタモリアル。	10/29 ~ 11/4	7	150
37	第14回孝彩会展	10/29 ~ 11/4	7	150
38	東日本大震災復興支援写真展Vol.3 ここで共に	11/6 ~ 11/10	5	260
39	第22回翠粋齋展	11/6 ~ 11/10	5	120
40	第47回駒澤大学書道部書作展	11/12 ~ 11/17	6	150
41	『TRUE COLORS - like a rainbow』	11/19 ~ 11/24	6	321
42	白木稔久個展	11/26 ~ 12/1	6	107
43	ロッキ展	11/26 ~ 12/1	6	114
44	公募 裂織:アート&クラフト2013展	12/3 ~ 12/8	6	500
45	第52回書道展	12/11 ~ 12/15	5	147
46	日本写真芸術専門学校フォトアートゼミ展	12/17 ~ 12/23	7	280
47	toomin vol.1「ローカル」	1/9 ~ 1/13	5	200
48	平成25年度 めぐるの子どもたち展(本館と同時開催)	1/15 ~ 2/2	19	
49	DRAW ING	2/4 ~ 2/9	6	165
50	日本写真芸術専門学校 卒業作品展<Ⅰ期>	2/4 ~ 2/9	6	280
51	写真教室アルトフォーカス第6回受講生作品展	2/11 ~ 2/16	6	226
52	日本写真芸術専門学校 卒業作品展<Ⅱ期>	2/11 ~ 2/16	6	250
53	第12回 もの・が・た・り展	2/18 ~ 2/23	6	317
54	東京総合写真専門学校 第54回卒業制作展	2/25 ~ 3/2	6	138
55	第60回 国公立展	3/4 ~ 3/9	6	214
56	第二十九回 私立中高美術部合同展覧会	3/11 ~ 3/16	6	200
57	第16回 ゆうの会・徹彩会 合同展覧会	3/18 ~ 3/23	6	630
58	第19回 美芸展	3/25 ~ 3/30	6	739
	合計	-	359	19,151

※「めぐるの子どもたち展」は本館の入場者数に含まれるため、ギャラリーの日数、入場者の合計にカウントしていない。

【平成26(2014)年度】

	展覧会名	貸出期間	日数	入場者
1	第49回目黒区文化祭 目黒区民の華道展・呈茶席	4/1 ~ 4/6	6	420
2	春水会展	4/8 ~ 4/13	6	300
3	リヒト会水彩画展	4/8 ~ 4/13	6	110
4	公募2014たぶろう東京展	4/15 ~ 4/20	6	401
5	平成26年度 第7回目黒区写真美術協会展	4/15 ~ 4/20	6	216
6	第52回目黒区自主グループ連合会作品展	4/22 ~ 4/27	6	322
7	第41回高潮展	4/29 ~ 5/6	8	297
8	第24回「だん展」	5/8 ~ 5/11	4	200
9	一樹会展	5/13 ~ 5/18	6	205
10	目黒区書作家協会展	5/20 ~ 5/25	6	396
11	らゆう会	5/27 ~ 6/1	6	400
12	第32回 萌画会展	6/3 ~ 6/8	6	457
13	墨雲会	6/10 ~ 6/15	6	381
14	第23回 イーゼル会展	6/10 ~ 6/15	6	200
15	有象無象展3	6/17 ~ 6/22	6	150
16	目黒区美術家協会展	6/24 ~ 6/29	6	300
17	七人展	7/1 ~ 7/6	6	120
18	新宅喜治・信子写真展 二人の旅 イタリアの祭り	7/8 ~ 7/13	6	554
19	21+∞展	7/15 ~ 7/21	7	530
20	勤労者美術展	7/23 ~ 7/27	5	213
21	レイアートスクール展	7/29 ~ 8/3	6	200
22	シルバー人材センター日本画教室	8/5 ~ 8/10	6	180
23	CRAWL vol.12「天国」	8/12 ~ 8/17	6	500
24	Japanese Art Fair "Wa"	8/19 ~ 8/24	6	101
25	第64回 旧三商大写真展	8/19 ~ 8/24	6	150
26	晩夏展	8/26 ~ 8/31	6	354
27	望の会(日本画・水彩画・アクリル絵画発表会)	9/2 ~ 9/7	6	231
28	第28回 水耀会	9/2 ~ 9/7	6	300
29	TOKYO 8×10 写真展2014	9/9 ~ 9/15	7	1,000
30	区展(本館と同時開催)	9/17 ~ 10/13	27	1,809
31	RAY ART SCHOOL Exhibition 2014レイアートスクール作品展2014	10/15 ~ 10/19	5	600
32	2014B&A美術展『平和を想う』	10/21 ~ 10/26	6	450
33	水彩合同展(むくの会・木曜会・みずゑの会)	10/21 ~ 10/26	6	260
34	マザーズキルト展	10/28 ~ 11/3	7	478
35	ル・コンテ作品展	10/28 ~ 11/3	7	202
36	NODE 写真展 vol.2	11/5 ~ 11/9	5	250
37	第6回 図工ランド展	11/11 ~ 11/16	6	850
38	第53回 ユネスコ美術展	11/18 ~ 11/24	7	322
39	第53回 書道展	11/26 ~ 11/30	5	145
40	第43回在日朝鮮学生美術展(東京展)	12/2 ~ 12/7	6	1,536
41	第9回ATELIER EBI・omo展 -前期-	12/9 ~ 12/14	6	900
42	第9回ATELIER EBI・omo展 -後期-	12/16 ~ 12/21	6	700
43	日本写真芸術専門学校 3年制写真科フォトアートゼミ2・3年生合同写真展「くものす」	12/23 ~ 12/27	5	250
44	タイムマシン・エンジン	1/6 ~ 1/12	7	230
45	平成26年度 めぐろの子どもたち展(本館と同時開催)	1/14 ~ 2/1	19	
46	第7回写真教室アルトフォーカス受講生作品展	2/3 ~ 2/8	6	346
47	第5回「緑友美術展 2015」	2/3 ~ 2/8	6	538
48	第13回も・の・が・た・り展	2/10 ~ 2/15	6	320
49	第47回全国学生書道展 併催 玄潮会役員小品展	2/20 ~ 2/22	3	320
50	日本写真芸術専門学校 卒業作品展	2/24 ~ 3/1	6	230
51	春水会展	3/3 ~ 3/8	6	300
52	DRAW ING	3/3 ~ 3/8	6	127
53	第42回 高潮展	3/10 ~ 3/15	6	233
54	第17回 ゆうの会・微彩会合同展覧会	3/17 ~ 3/22	6	632
55	第20回 美芸展	3/24 ~ 3/29	6	874
	合計	-	343	22,090

※「めぐろの子どもたち展」は本館の入場者数に含まれるため、ギャラリーの日数、入場者の合計にカウントしていない。

## VII ボランティア

生涯学習の振興に向けてボランティア活動の重要性が指摘される中、地域においても美術館を通しての社会奉仕活動を希望する人々が多く存在するようになってきている。美術館としてもそのような要望に応え、また住民のニーズを把握し、美術・文化活動の地域への振興を図っていくためにボランティア活動を積極的に援助し、活用していく必要がある。

目黒区美術館では、昭和62年11月の開館時よりボランティアを受け入れ、現在はラウンジ(喫茶コーナー)の運営、ワークショップ、アウトリーチ、目黒区総合庁舎建築ガイドツアー、広報活動補助等を中心に幅広い活動が行なわれている。

1 ボランティア数 95名 平成26(2014)年3月31日現在

### 2 活動内容

#### (1)ラウンジ運営ーラウンジ営業部

活動時間: 展覧会会期中の12:30~16:30

(ラウンジの営業時間は、13:00~16:00)

当番: 原則として毎日2名

#### (2)ワークショップ活動ー学芸部トイコレクション班

##### 【平成24(2012)年度】

###### ①トイの日

開催日: 7月21日(土)、22日(日) / 参加者: 158名

###### ②「古茂田守介ふたたび、蘇った絵画展」展

ファミリーワークショップ からだを測って遊んでみよう

開催日: 8月18日(土)、19日(日) / 参加者: 2組4名

##### 【平成25(2013)年度】

###### ①トイの日

開催日: 7月25日(木)、26日(金) / 参加者: 331名

###### ②「PAPERー紙と私の新しいかたちー」展

ファミリーワークショップ Gコース PAPER+あそび 紙を漉こう! 紙であそぼう!

開催日: 8月17日(土)、18日(日) / 参加者: 10組20名

##### 【平成26(2014)年度】

###### ①トイの日

開催日: 2月14日(金)、15日(土) / 参加者: 233名

###### ②「ふたつの時代ー所蔵品でたどる「パリの日本人」第一部

フジタのいる街角ー巴里の誘惑、1910~30年代」展

ファミリーワークショップ トラベルノート 私だけの旅物語

開催日: 10月26日(日) / 参加者: 10組20名

#### (3)アウトリーチ活動(出張美術館)ー学芸部トイコレクション班

\* 詳細は、教育普及の項参照(p.73)

##### 【平成24(2012)年度】

###### ①つみき動物園計画

進行: トイコレクション・ボランティア・チーム(TVT) / 開催日: 5月26日(土) / 場所: 目黒区民センター児童館 / 参加者: 74名

###### ②○△□の世界を作ろうーパズル編

進行: トイコレクション・ボランティア・チーム(TVT) / 開催日: 6月23日(土) / 場所: 油面住区センター児童館 / 参加者: 36名

###### ③サンタが街にやってきた! 積み木でつくるクリスマスの街

進行: トイコレクション・ボランティア・チーム(TVT) / 開催日: 12月15日(土) / 場所: 目黒区民センター児童館 / 参加者: 50名

##### 【平成25(2013)年度】

###### ①つみきでつくる・ひがえりバスツアー

進行: トイコレクション・ボランティア・チーム(TVT) / 開催日: 5月18日(土) / 場所: 目黒区民センター児童館 / 参加者: 77名

###### ②トイコレクションで遊ぶ

進行: トイコレクション・ボランティア・チーム(TVT) / 開催日: 6月20日(木) / 場所: 目黒区美術館 / 参加者: 16名

###### ③クリスマスの森ー積み木でつくるプレゼント

進行: トイコレクション・ボランティア・チーム(TVT) / 開催日: 12月21日(金) / 場所: 目黒区民センター児童館 / 参加者: 114名

##### 【平成26(2014)年度】

###### ①パッパずるずる パズルの日

進行: トイコレクション・ボランティア・チーム(TVT) / 開催日: 5月31日(土) / 場所: 目黒区民センター児童館 / 参加者: 65名

②目黒区美術館がやってくるよ!子どものためのプログラム つみ木のまちのクリスマス

進行:トイコレクション・ボランティア・チーム(TVT)/開催日:12月20日(土)/場所:目黒区民センター児童館/参加者:63名

(4)目黒区総合庁舎ガイドツアー—学芸部建築班

\*詳細は、教育普及の項参照(p.74)

【平成24(2012)年度】	開催日	4月27日	5月6日	5月18日	6月2日
	参加者	41名	73名	77名	77名
【平成25(2013)年度】	開催日	4月29日	5月10日	5月25日	6月8日
	参加者	73名	71名	65名	64名
【平成26(2014)年度】	開催日	4月18日	5月11日	5月24日	5月30日
	参加者	61名	70名	84名	77名

(5)学芸資料、図書整理作業—学芸部学芸班

【平成26(2014)年度】

毎月2回程度書庫整理/1名

(6)チラシなどの発送作業—広報部

【平成24(2012)年度】

「古茂田守介」展ほか、ポスター・チラシ等発送作業3回

【平成25(2013)年度】

「PAPER—紙と私の新しいかたち—」展ほか、ポスター・チラシ等発送作業2回

【平成26(2014)年度】

「ジョージ・ネルソン」展、ポスター・チラシ等発送作業1回

(7)バスツアー

【平成24(2012)年度】

実施なし

【平成25(2013)年度】

開催日:2月6日(木)/場所:山梨県立美術館、山梨県立文学館/参加者:39名

【平成26(2014)年度】

実施なし

(8)その他

曜日別見学会、総会実施

## VIII 博物館実習

学芸員資格取得単位修得のため、当館において実習を希望したい旨の依頼が多くあることから、検討の結果、平成8年度を初年度としてこれを受け入れている。実習期間、実習内容等については、担当学芸員との面接により決定する。

(提出書類)履歴書、アンケート、学長からの依頼書等。

【平成24(2012)年度】 12名

武蔵野美術大学3名、東京学芸大学2名、青山学院大学、学習院大学、共立女子大学、東京造形大学、日本女子大学、明治学院大学、城西国際大学、各1名

【平成25(2013)年度】 13名

武蔵野美術大学4名、学習院女子大学、共立女子大学、聖心女子大学、多摩美術大学、東海大学、東京学芸大学、東京女子大学、日本女子大学、武蔵大学各1名

【平成26(2014)年度】 15名

多摩美術大学3名、学習院大学、学習院女子大学大学院、金沢美術工芸大学、京都造形美術大学、聖心女子大学、成城大学、東京女子大学、東北芸術工科大学、武蔵大学、武蔵野美術大学、立教大学、和光大学、各1名

## IX 名簿

### 公益財団法人目黒区芸術文化振興財団 評議員・理事・監事名簿

(平成27年3月31日現在)

#### 評議員

	役職	氏名	備考
1	評議員(議長)	あらい あつみ 新井 篤美	早稲田大学招聘研究員
2	評議員	いとう ますあき 伊藤 昌明	目黒信用金庫理事相談役
3	〃	かしわや ひでお 粕谷 秀男	弁護士
4	〃	たぶら やすお 田淵 保夫	目黒区書作家協会会長
5	〃	しおだ じゅんいち 塩田 純一	美術評論家(新潟市美術館館長)
6	〃	いのうえ ゆかこ 井上 裕佳子	音楽関係通訳・翻訳家
7	〃	きつた えみこ 橘田 恵美子	目黒区クラシック音楽家協会副会長
8	〃	はこもり えいいち 箱守 栄一	慶応義塾大学院アートマネジメント分野非常勤講師
9	〃	まきの まさこ 牧野 雅子	童謡の里めぐろ保存会
10	〃	すぎおか あけみ 杉岡 明美	目黒区合唱連盟

(以上10名)

#### 理事

	役職	氏名	備考
1	理事長	しみず みちお 清水 美知雄	ワッティー株式会社代表取締役
2	副理事長	やました なおずみ 山下 直純	山下寝具株式会社会長
3	常務理事	ほんだ こういち 本多 浩一	(公財)目黒区芸術文化振興財団事務局長
4	理事	いまなか みゆこ 今中 美耶子	弁護士
5	〃	たなか はるひさ 田中 晴久	目黒区美術館館長
6	〃	あきやま てるふみ 秋山 光文	放送大学足立学習センター客員教授
7	〃	なかや ききこ 中屋 早紀子	声楽家(桐朋学園芸術短期大学音楽科講師)
8	〃	みき りゅうじろう 三木 隆二郎	公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構特任研究員
9	〃	わたべ ひろし 渡部 弘	行政経験者
10	〃	みなみ ふじえ 南 富士江	めぐろパーシモンホール館長

(以上10名)

#### 監事

	役職	氏名	備考
1	監事	ます ひでお 増 秀夫	税理士
2	〃	おおたけ いまお 大竹 勲	行政経験者

(以上2名)

# X 施設

## ●工事概要

### 建築

所在地:東京都目黒区目黒二丁目4番36号  
地域・地区:住居地域・準防火地域・第3種高度地区  
敷地面積:2,033.53㎡  
建ぺい率:66.45%  
容積率:199.61%  
構造・規模:鉄骨鉄筋コンクリート造  
地上3階・地下1階  
建物高さ:17.89m  
延床面積:4,059.21㎡

### 構造

主体構造:鉄骨鉄筋コンクリート造  
その他:外壁花崗岩貼りジェットバーナー仕上げ(乾式工法)  
工期:着工昭和60年12月2日  
竣工昭和62年3月31日  
設計・監理:株式会社日本設計事務所  
建築:株式会社竹中工務店東京本店  
空調設備:株式会社朝日工業社本店  
衛生設備:足立工業株式会社東京支店  
電気設備:中国電気工事株式会社東京支店  
昇降機設備:横浜エレベーター株式会社

## ●面積表

### 展示・教育普及

展示室A:319.10㎡  
展示室B:170.46㎡  
展示室C:65.80㎡  
展示ロビー:44.80㎡  
ワークショップ:148.47㎡  
廊下・階段・その他:203.17㎡  
小計:951.8㎡

### 区民ギャラリー

区民ギャラリー:379.53㎡  
控室:14.5㎡  
区民ギャラリーエントランス・階段・その他:198.82㎡  
小計:592.85㎡

### 研究調査

資料室:102.79㎡  
修復室:46.09㎡  
小計:148.88㎡

### 収蔵

収蔵庫A:408.36㎡  
収蔵庫B:53.85㎡  
前室:48.53㎡  
荷解室:62.58㎡  
搬出入口:56.57㎡  
展示用具室:73.40㎡  
エレベーター・倉庫・その他:229.63㎡  
小計:932.92㎡

### 管理

事務室:58.05㎡  
館長室:32.47㎡  
理事長室:24.58㎡  
中央管理室:20.64㎡  
休養室:24.29㎡  
ワークショップ準備室:31.36㎡  
映像準備室:14.40㎡  
廊下・階段・その他:178.18㎡  
小計:383.97㎡

### ホール等

エントランス:169.85㎡  
ラウンジ:55.84㎡  
ベビーコーナー:5.27㎡  
廊下・その他:343.58㎡  
小計:574.54㎡

### 機械室等

機械室:277.14㎡  
電気室:67.59㎡  
エレベーター機械室・自家発電気室・その他:129.52㎡  
小計:474.25㎡

合計:4,059.21㎡

## XI 沿革

昭和45年	長期計画基本構想で「芸術文化の振興の拠点として総合文化施設の設置」を決定	昭和60年3月	目黒区美術館(仮称)実施設計策定
昭和54年7月	長期計画実施計画で「美術館の設置」を決定	6月	目黒区美術館開設準備委員・臨時委員設置
12月	美術館開設準備室設置	8月	目黒区美術館開設準備顧問就任
昭和55年3月	目黒区美術博物館建設検討委員会設置		目黒区美術館マーク制作
4月	「東京都目黒区博物館資料取得基金条例」施行	11月	「プレビュー・目黒区美術館」展開催(11/12-11/17)
昭和56年1月	目黒区美術博物館建設検討委員会答申「目黒区が建設する美術博物館の基本構想のあり方について」	12月	目黒区美術館(仮称)新築工事起工式(12/12)
3月	目黒区美術博物館建設専門委員設置	昭和61年7月	美術館管理運営の財団委託方針決定
4月	目黒区美術博物館(仮称)設置の方針策定	9月	「プレビュー・目黒区美術館2」展開催(9/9-9/15)
11月	目黒区立美術館(仮称)資料収集委員会要綱を制定	12月	目黒区美術館(仮称)新築工事定礎式(12/5)
昭和57年2月	博物館併設構想から美術館単独構想へ変更	昭和62年3月	「目黒区美術館条例」公布
3月	第一回資料収集委員会開催-資料収集を開始	4月	目黒区美術館新築工事落成式(4/14)
10月	区制施行50周年記念事業に位置づけ	10月	財団法人目黒区芸術文化振興財団設立(10/1)
昭和59年2月	目黒区美術館(仮称)基本構想策定(58年6月策定開始)	11月	目黒区美術館開館(11/15)
10月	目黒区美術館(仮称)基本設計策定	平成23年4月	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団認可(4/1)

## XII 案内

観覧時間：午前10時～午後6時

(ただし入館は午後5時30分まで)

休館日：月曜日(祝日・休日の場合はその翌日)

年末年始

観覧料：展覧会ごとにその都度定める



交通案内：

●JR山手線目黒駅(西口)、東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線 目黒駅より徒歩10分

●バス、渋谷駅より東急 渋41-大井町駅行、田道小学校入り口 下車3分

目黒駅より東急、都営  
 黒01-大岡山小学校行  
 黒02-二子玉川駅行  
 黒06-三軒茶屋行  
 黒07-弦巻営業所行  
 東98-等々力行  
 権之助坂下車  
 下車5分

目黒区美術館年報 平成24(2012)・25(2013)・26(2014)年度

平成28年(2016)年3月24日発行

編集・発行—(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36

TEL. 03-3714-1201(代)